

# 官報號外

明治四十五年三月十三日 水曜日

印刷局

## ○第二十八回 衆議院議事速記録第十九號

明治四十五年三月十二日(火曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第十八號 明治四十五年三月十二日  
午後一時開議

質問

一 神社併合獎勵ニ關スル質問(中村啓次郎君提出)

二 電氣事業ニ關スル質問(大橋賴摸君提出)

三 物價騰貴ニ關スル質問(早瀬整爾君提出)

四 商工政策ニ關スル質問(三谷軌秀君外二名提出)

五 對米外交ニ關スル質問(服部敏雄君提出)

第一 権太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 煙草專賣法中改正法律案(請願委員長提出)

第四 新聞紙法中改正法律案(外五名提出)

第五 登記ニ關スル法律案(阿部知和君提出)

第六 災害地地租特別處分法案(國井庫君外十名提出)

第七 刑事訴訟法中改正法律案(阿部德三郎君提出)

第八 酒造稅法中改正法律案(黃金井爲造君外二名提出)

第九 七尾灣築港ニ關スル建議案(月水寛人君外五名提出)

第十 直江津開港ノ建議案(水品平右衛門君外四名提出)

第十一 鐵道建設ニ關スル建議案(齋藤二郎君委員長報告)

第十二 鐵道速成ニ關スル建議案(大久保弁太郎君外一名提出)

第十三 鐵道速成ニ關スル建議案(佐々木文一君外二名提出)

第十四 鐵道急設ニ關スル建議案(町田旦龍君外二名提出)

第十五 鐵道建設ニ關スル建議案(伊東祐賀君外五名提出)

第十六 鐵道速成ニ關スル建議案(江原節君外三名提出)

第十七 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外八名提出)  
(委員長報告)

第十八 飛驒鐵道建設ニ關スル建議案(古井山之君外二名提出)  
(委員長報告)

第十九 國稅徵收法中改正ニ關スル建議案(外七名提出)  
(星一君外四名提出)  
(委員長報告)

第二十一 小名濱港改良ニ關スル建議案(星一君外五名提出)  
(委員長報告)

第二十二 千葉縣立園藝專門學校ニ關スル建議案(庄一耶君外三名提出)  
(委員長報告)

第二十三 酒造稅法改正ニ關スル建議案(黃金井爲造君外二名提出)  
(委員長報告)

第二十四 (特別報告第一〇七號)在外國賣淫婦取締法制定ノ請願  
(委員長報告)

第二十五 (特別報告第一〇八號)民屬金下付ノ請願  
(委員長報告)

第二十六 (特別報告第一〇九號)稅務署設置復舊ノ請願  
(委員長報告)

第二十七 (特別報告第一一〇號)酒造稅法及大藏省訓令改正ノ請願  
(委員長報告)

第二十八 (特別報告第一一一號)網走開港ノ請願  
(委員長報告)

第二十九 (特別報告第一一二號)復族ノ請願  
(委員長報告)

第三十 (特別報告第一一三號)巡查看守退隱料及遺族扶助料法改正ノ請願  
(委員長報告)

第三十一 (特別報告第一一四號)郡界變更ノ請願  
(委員長報告)

第三十二 (特別報告第一一五號)阿武隈川ノ河川法第一期川ニ編入ノ請願  
(委員長報告)

第三十三 (特別報告第一一六號)本坂峠開鑿ノ請願  
(委員長報告)

第三十四 (特別報告第一一七號)官有堀敷民有復舊ノ請願  
(委員長報告)

第三十五 (特別報告第一一八號)矢作川河身改修工事  
(委員長報告)

第三十六 (特別報告第一一九號)安倍川改修工事ノ請願  
(委員長報告)

第三十七 (特別報告第一二〇號)信濃阿賀野兩川治水  
(委員長報告)

第三十八 (特別報告第一二一號)湯澤區裁判所ニ判檢事常置ノ請願  
(委員長報告)

第三十九 (特別報告第一二二號)區裁判所出張所設置  
(委員長報告)

第四十 (特別報告第一二三號)登記所設置ノ請願  
(委員長報告)

第四十一 (特別報告第一二四號) 区裁判所裁判事務復 (委員長報告)

第四十二 (特別報告第一二五號) 区裁判所出張所設置 (委員長報告)

第四十三 (特別報告第一二六號) 区裁判所管轄區域擴 (委員長報告)

第四十四 (特別報告第一二七號) 登記所設置 (委員長報告)

第四十五 (特別報告第二二八號) 畜產品研究所設置 (委員長報告)

(請願)

第四十六 (特別報告第一二九號) 郵便局設置 (請願)

第四十七 (特別報告第一三〇號) 無集配局設置 (請願)

第四十八 (特別報告第一三一號) 郵便局設置 (請願)

第四十九 (特別報告第一三二號) 郵便局設置 (請願)

第五十 (特別報告第一三三號) 郵便局設置 (請願)

第五十一 (特別報告第一三四號) 郵便局設置 (請願)

第五十二 (特別報告第一三五號) 無集配郵便局設置 (請願)

第五十三 (特別報告第一三六號) 郵便局設置 (請願)

第五十四 (特別報告第一三七號) 板倉郵便局ニ電信架 (請願)

第五十五 (特別報告第一三八號) 四見郵便局ニ電信架 (請願)

第五十六 (特別報告第一三九號) 郵便局設置 (請願)

第五十七 (特別報告第一四〇號) 郵便局設置 (請願)

第五十八 (特別報告第一四一號) 郵便局設置 (請願)

第五十九 (特別報告第一四二號) 三等郵便局設置 (請願)

第六十 (特別報告第一四三號) 郵便局設置 (請願)

第六十一 (特別報告第一四四號) 郵便局設置 (請願)

第六十二 (特別報告第一四五號) 郵便局設置 (請願)

第六十三 (特別報告第一四六號) 停車場設置 (請願)

第六十四 (特別報告第一四八號) 鐵道線路起工 (請願)

第六十五 (特別報告第一四九號) 鐵道速成 (請願)

第六十六 (特別報告第一五〇號) 鐵道敷設 (請願)

新聞紙法中改正法律案 提出者 松田 源治君  
 關和知君 山田珠一君 加瀬禧逸君  
 登記ニ關スル法律案 提出者 齋藤珪次君 高木益太郎君  
 中川改修工事速成ニ關スル建議案 提出者 齋藤珪次君 岡崎邦輔君  
 災害地地租特別處分法案 提出者 國井 庫君 齋藤三郎右衛門君  
 荒谷桂吉君 添田飛雄太郎君 加藤正夫  
 高木正年君 才賀藤吉君  
 近江谷榮次君 平島松尾君 齊藤宇一郎君  
 海外貿易振興ニ關スル建議案 提出者 恒松隆慶君 齋藤宇一郎君  
 刑事訴訟法中改正法律案 提出者 阿部德二郎君 東江覺治君  
 癸兵優遇ニ關スル建議案 提出者 齋藤珪次君 堀江覺治君  
 提出者 齋藤珪次君 武君 才賀義雄君  
 山際敬雄君 齋藤珪次君 齋藤宇一郎君  
 癸兵優遇ニ關スル建議案 提出者 齋藤珪次君 齋藤宇一郎君  
 一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ  
 對支那外交問題ニ關スル質問主意書 (石本陸軍大臣)  
 一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ  
 國家的精神ノ根本觀念ニ關スル質問主意書 (荒川五郎)  
 在郷軍人團並地方青年團ニ關スル質問主意書 (石本陸軍大臣)  
 海外輸入品防止ニ關スル質問主意書 (武藤金吉)  
 鐵政策ニ關スル質問主意書 (君提出)  
 在郷軍人團並地方青年團ニ關スル取締ニ關スル質問主意書 (君提出)  
 一事務簡捷ニ關スル質問主意書 (君提出)  
 一去九日及十二日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ本院提出案ニ對シ第二讀  
 會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ  
 未成年者飲酒取締ニ關スル法律案  
 群馬縣下郡界變更ニ關スル法律案  
 一病氣ノ爲委員辭任ノ申出テ左ノ如シ  
 第七部選出 決算委員 原岡永江君  
 第八部選出 決算委員 藏内治郎作君  
 一部選出 決算委員 川眞田徳三郎君  
 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
 一松島港修築ニ關スル建議案  
 關稅定率法中改正法律案  
 朝鮮醫院及濟生院特別會計法律案  
 提出者 大久保弁太郎君  
 中川虎之助君

○議長 (大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ致シマス  
 (書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
 樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

小松島港修築ニ關スル建議案

關稅定率法中改正法律案

朝鮮醫院及濟生院特別會計法律案

提出者 大久保弁太郎君

川眞田徳三郎君

板東勘五郎君

一去九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案外一件

ノ程度ニ在リヤ特ニ其ノ近キ將來ニ期待セラレツ、アル價値ハ幾何ナリヤ

答

村上	先君	古野	孫太郎君	駒	小次郎君			
根岸	嶋太郎君	高橋	直治君	藤井	善助君			
大内	暢三君	山田	珠一君	川	大吉郎君			
養老	法案	齊藤	珪次君	田	和一君			
福	本	中龜之助君	渡邊	千冬君	樂山	雄君		
井	上	彦七君	向坂	弘志君	花井	卓藏君		
坪	田	彦七君	宮古	啓三郎君	庄野	金十郎君		
津	久居	彦七君	駒田	小次郎君	佐藤	嘉一郎君		
銚子	港修築ニ關スル建議案	浅羽	靖君	津	喜君			
水間	此農夫君	町田	旦	根津	庫			
阿部	政太郎君	川越	龍君	嘉一郎君	喜君			
藤代	市之輔君	進君	加瀬	和知君	佐藤	嘉一郎君		
翠川	鐵三君	鷲田	土三郎君	品平	右衛門君			
伊東	祐賢君	橋本	次六君	佐次郎君	嘉一郎君			
西能	源四郎君	森	肇君	岡崎	佐次郎君			
木戸	豊稜	吉君	花村	覺二郎君	高橋	義信君		
鈴木	辰次郎君	丹尾	馬君	河井	重藏君			
村上	先君	八束	可海君	阪	光暉君			
齋藤	珪次君	可海君	駒田	小次郎君	岡崎	佐次郎君		
養老	法案委員會	田中	龜之助君	高橋	義信君			
委員長	齋藤珪次君	鷲田	土三郎君	井	右衛門君			
裁判所	事務開始復舊ニ關スル建議案(名村忠治君提出)外一件委員會	中	龜之助君	河	重藏君			
委員長	翠川鐵三君	龜之助君	覺二郎君	井	重藏君			
製茶試驗場設立ニ關スル建議案委員會	理事	駒田	小次郎君	阪	光暉君			
委員長	鈴木辰次郎君	田中	龜之助君	駒田	小次郎君			
(左)	答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス	鷲田	土三郎君	中	龜之助君			
衆議院議員田川大吉郎君	提出空中飛行機ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進	中	龜之助君	鷲田	土三郎君			
候也	明治四十五年三月九日	理事	八束	可海君	中	龜之助君		
(別紙)	衆議院議員田川大吉郎君	八束	可海君	駒田	小次郎君	中	龜之助君	
第一質問	空中飛行機就中軍用飛行機ノ種類ハ凡ソ幾何ニシテ其實用上ノ價値ハ今如何	可海君	駒田	小次郎君	中	龜之助君	中	龜之助君

二屬スル凡ノ原理ヲ應用セルモノニシテ飛行機中最モ發達シ現ニ各國ニ於テ熾ニ試用シツ、アリ。上記第一種ノ飛行機ハ其翼ノ數ニ依リ更ニ一層式(單葉式)、二層式(複葉式)及多層式(多葉式)ノ三式ニ分類セラル而シテ民間立軍事上主トシテ試用セラレ、アルモノハ目下一層式、二層式ノ一層ニ止マレリ右ノ外此種飛行機ヲ水上ニ發著セシメントスル考案ノモノアルモ未タ試用ノ域ニ達セス飛行氣球及飛行機ハ概ね以上ノ如ク分類セラル、モ更ニ創造者ノ氏名ヲ冠シテ某式ト稱呼スルヲ以テ現ニ歐洲各國ニ行ハル、飛行機關ノ名稱ハ多數ニシテ概々附表第一ニ示スカ如シ實用上ノ價值ニ關シテハ歐洲ニ於テ旅客運搬郵便物搬送ノ爲利用スルノ企畫アリ已ニ一二回ノ實驗ヲ行ヒタルコトアルモ未タ投機的若ハ好奇的ノ程度ニ止マリ獨リ軍事上ニ於テハアニ機動演習等ニ參加セシメ實用的試驗實行ノ域ニ在リ又昨年米墨葛藤ノ際米軍ハ飛行機ヲ國境附近ニ應用シ尙「トリボリ」ニ於テ伊軍モ亦之ヲ實戰ニ應用シ兩者共ニ偵察上多少ノ效果アリシモノ、如ク傳フルモ一說ニハ「トリボリ」ニ於テ飛行者ハ綠地ト其附近ニ集團セル軍隊ト判然分別シ能ハサリシト謂フ勿論偵察者ノ熟否ニ依リ大ナル差異アルヘシ特現今ノ狀態ニ在リテハ其ノ實際上ノ效果ハ世人ノ信スル如キ程度ニ大ナラサルモノト認メラルモ今ヤ飛行機關ハ日進月歩ノ盛況ニシテ研究漸ク著實ノ境ニ入ラントシ他方ニ於テハ秩序的ニ飛行家ヲ養成セラル、狀況ナルヲ以テ近キ將來ニ於テ軍事上ニ諸偵察勤務及通信連絡ニ實用スルニ至ルヘキコトヲ期待ス。

## 第一 質問

我カ政府ハ現ニ幾何ノ飛行機ヲ有シ將ニ有セムトシ既ニ幾何ノ修練ヲ積ミ而シテ將來ニ幾何ノ希望ヲ繋ケツ、在リヤ竝我カ發明界ノ之ニ對スル近況如何

## 答

我カ政府現ニ小飛行機氣球一箇(日本製)及一層式飛行機二箇(ブライアード式一、代價約六、七〇〇圓)、二層式飛行機三箇(ライト式、代價約一五、四〇〇圓)日本式一(代價約一五、六〇〇圓)所有シ尙近キ將來ニ於テ大飛行氣球一箇ヲ所有セムトス右ノ内小飛行氣球ハ我國ニ於テ試驗的ニ試製セルモノ又ニ層式飛行機ノ内一箇ハ外國品ノ缺點ヲ補ヒ我國人ノ體格ニ適應シ且繰縦容易ナル如ク設計ノ上我國ニ於テ試製セルモノトス参考ノ爲歐洲諸強國政府ノ所有セル飛行機關ノ數ヲ掲クレハ附表第一ノ如シ

政府ハ從來臨時軍用氣球研究會ニ於テ我國ニ於ケル軍用ニ適スヘキ飛行氣球及飛行機ヲ研究セシム、アリ然ルニ第二質問ニ對シテ答フルカ如ク我國ニ於テハ民間ノ飛行機界發達セサルニ先チ政府ニ於テ研究ヲ開始スルノ止ムラ得サル狀況ナリシヲ以テ同會ニ於テハ先ツ埼玉縣下所澤町東北端附近ニ適當ノ土地ヲ買收シテ飛行試驗場ヲ設ケ尙本試驗場ニ必要ナル附屬設備例令ハ氣象測定所飛行機格納庫氣球格納庫水素瓦斯發生所同壓搾所飛行機組立及同修理工場並瓦斯罐車等ヲ施設シテ研究ノ準備ヲ爲スノ旁ラ設備全カラサルモ實行シ得ル範圍内ニ於テ各國ノ飛行機關町之ニ伴フ必要ナル設備等ヲ調査研究シ前述ノ如ク當時最モ進歩シタル外國製飛行機四箇ヲ購入シ同時ニ歐洲ニ於テ其練習者二名ヲ養成シテ我國ニ於ケル飛行試驗ヲ容易ニシ以テ二層式飛行機ハ已ニ我國ニ於テ一箇ヲ試製シ試験ノ結果好成績ヲ得タリ又一層式ノモノモ目下圖案設計中ニ在リト雖設備不完全ノ爲局部每ノ試驗ヲ完

フル能ハス從テ製作ノ上飛行試驗ヲ行フヘキ時期ハ尙若干ノ日月ヲ要スヘシ又飛行氣球ハ同會員ノ圖案設計ニ基キ先ツ小形ノモノ一箇(氣囊ノ容積ニ九三〇立方メートル、米價格約三三、五〇〇圓)ヲ試製シ其飛行試驗ノ結果ト各國既製品ノ試驗成績ヲ斟酌シテ實用的大飛行氣球一箇(氣囊ノ容積七三〇立方メートル、米價格約二〇四)ヲ製作ヲ歐洲製造家ニ命シ今ヤ其ノ大半ヲ竣工セリ而シテ本氣球ノ操縱者四名ハ目下歐洲ニ在リテ右製作監督ノ旁ラ操縱術練習中ナルヲ以テ遲クモ本年八九月ノ頃ニハ雄大ナル飛行氣球ノ飛行試驗ヲ行フニ至ルヘシ

上述ノ如ク我國ハ從來設備等ノ準備ニ專ラニシテ進歩遲タリシモ今ヤ主要ナル設備モ漸ク整ハントスルニ至リシヲ以テ之カ完成ニ伴ヒ專ラ研究ノ進捗ヲ期スヘシ將來軍事上偵察勤務及連絡用トシテ實用ニ供シ得ルコトハ歐洲諸強國ノ現況竝我國目下ノ研究ニ照シテ殆ント疑フ容レスト雖モ更ニ海上ニ於ケル艦隊ノ如ク飛行機關ヲ以テ空中艦隊ヲ組織スルニ至ルコトハ近キ將來ニ於テハ實現セサルモノト思考ス就中平時ノ飛行練習ニ於テ飛行氣球ハ最大限半日行程以上ニ遠距離ニ飛行スルコトハ困難(能ナルノミナラス天候ヲ豫知スルコトハ某程度以上困難ナレハナ)ナルヲ以テ強テ之ヲ實行セントスルニハ所ニ氣球ヲ膨脹シタル儘格納シ得ヘキ高大ナル氣球庫ノ建築ヲ要シ且概ニ一週間毎ニ代價約四千圓ニ(依リ變化ス)ニ相當スル多量ノ水素瓦斯ヲ交換填充セサルヘカラサル等研究上多額ノ經費ヲ要シ又飛行機ニ在リテハ氣球ニ比シ安價ナルモ其地上ニ發著スル爲平坦ニシテ周圍ニ樹木建築物等無ギ土地ヲ要スルヲ以テ之亦所々ニ降下ニ適スル廣キ土地ヲ有セサレハ遠距離飛行ヲ企圖シ難シ其ノ他歐洲諸強國ニ在リテハ第三質問ニ對スル答辯ニモ記載セルカ如ク民間飛行界ノ發達著シキヲ以テ右等ノ施設ハ政府ノモト否ラサルモノト併セテ利用スルコトヲ得ルノ外牧場所々ニ散在シ良好ナル道路ハ四通八達セルヲ以テ飛行機ノ發著ニ之等ヲ應用スルノ便利アルモ我國ニ於テハスル利便ナキノミナラス山岳相連リ地形錯雜セルヲ以テ氣流ノ變化極リナク操縱宜シキヲ得サレハ忽チ山谷水田ニ墜落スルノ危險アリ且氣象ノ關係上練習日數少キ等概シテ不利多キヲ以テ歐洲諸強國ニ比シ研究上一層ノ困難ヲ伴フモ政府ハ一朝有事ノ日ニ當リ此ノ新式機關ニ依ツテ生スル利益ヲ敵ニ壟斷セシメサランコトヲ期シ世界ノ進運ニ伴フテ本機關ノ研究進歩ニ努ムルト同時ニ漸次必要ナル空中偵察者竝空中飛行機關ノ操縱者ヲ養成スルノ考案ヲ有ス

我カ發明界ノ本機關ニ對スル近況ヲ述フレハ我カ民間ニ於テモ頗ル熱心ニ研究シテ、アリ即チ本機ニ關シ特別出願數ハ漸次増加シ既ニ特許ヲ得タルモノ五十一件ニ達セリ然レトモ我國ニ於テハ未タ空中飛行機關ニ缺クヘカラサル飛行機關ノ製作場ハ勿論組立工場ヲモ有セス就中發動機ヲ廉價ニ製造販賣スル適當ノ工場ナキヲ以テ勢ヒ高價ナル外國品ニ待ツノ外ナク從ツ二三ノ發明家ヲ除ク外多クハ單ニ發明ニ苦心スルノミニシテ實物ヲ試製飛揚セサルヲ以テ其實績ヲ知リ難キノミナラス幸ニ發明ハ合理的ニシテ且實物ヲ試製スルモ適當ナル操縱者ヲ缺ク場合ナキニアラス此ノ如キ諸種ノ關係ニ由リ我カ民間飛行界ハ極メテ寥々タル景況ニシテ歐洲ニ於ケルカ如ク民間飛行界ノ發達ヲ待ツテ軍用ニ選用スルカ如キハ到底我カ國目下ノ状態ニ於テ期待シ難キトコロナリ然リト雖モ民間飛行界ノ發達ハ政府ノ最モ希望スルコロナルヲ以テ從來事情ノ許ス限リ民間發明者ニ諸種ノ便宜ヲ

與へ以テ其獎勵發達ヲ企圖シツ、アリ

第三 質問

佛獨英等ノ諸國ハ此等ノ機器ニ對シ今如何ナル程度ノ研究設備ヲ爲シツ、アリヤ凡ソ幾何ノ經費ヲ投シツ、在リヤ或ハ千九百十四年ノ佛國ハ能ク一千餘隻ノ空中飛行大艦隊ヲ具有スヘシト傳フ真ナリヤ

答

歐洲諸強國ハ概シテ民間飛行界ノ發達ニ依リ政府ハ直ニ採テ以テ軍用ニ供スルヲ得タルノミナラス現ニ民間ニ於テ多數ノ飛行俱樂部或ハ同協會ノ如キモノ組織セラレ之等ノ部會ハ各若干ノ飛行練習場並其附屬設備ヲ有ス就中飛行機、同用發動機ノ製造、修理工場其ノ他氣流試驗場等ヲ有シ空中飛行ニ關スル學術雜誌、飛行用地圖ノ出版、飛空學校ニ於ケル飛行家ノ養成或ハ多額ノ賞金ヲ懸賞シテ屢々飛行競技會ヲ開催スル等政府ニ先シテ飛行界ノ發達ヲ圖リ政府ニ於テモ之等民間ノ研究發達ヲ利用スルノ外特別ノ保護例令ハ獨國皇帝「チエツペリン」伯ニ當籤發行權ヲ與ヘタル、露國皇帝ノ飛行機關特別資金ヲ一般人民ヨリ募集スル件ニ關シテ裁可セラレタルカ如キ或ハ優良ナル飛行氣球若ハ飛行機ヲ軍用トシテ買收スル等ノ手段ニ依リ民間ノ發達ヲ補助獎勵シ他方ニ於テハ専門家ヨリ委員ヲ選定シテ研究セシメ或ハ飛空隊ヲ編成シテ同隊ニ於テ實地練習ノ旁ラ研究セシムモノアリ即各國最近ノ施設ハ左ノ如ク又飛行練習場ハ附表第二ノ如シ

左記

一、英國ニ於テハ昨年四月一日ヲ以テ從來現存セシ氣球研究所ヲ改稱擴張シテ陸軍飛空大隊一隊ヲ編成シ外ニ陸軍飛空器製造所一箇所<sup>(四十四年度預算八十五萬圓)</sup>ヲ有ス又同國海軍ニ在リテモ別ニ昨年一大飛行氣球ヲ製造シテ試運轉ヲ爲セリ  
二、佛國政府ニ於テハ在來ノ氣球隊ノ外未タ新飛空隊ノ編成アリシヲ聞カサルモ多數ノ陸海軍將校ヲ民間航空學校三派遣シテ操縱術ヲ練習セシメ飛行氣球及飛行機ヲ大演習ニ參加セシメタル外現ニ飛行氣球及飛行機ノ設計製造ヲ爲ス工廠ノ新設並其ノ用法訓練ノ爲敎習所ヲ設クリ計畫アリ  
三、獨國ニ於テモ佛國ト等シク操縱者ノ養成ニ努メ一方ニ於テハ既ニ陸軍飛空學校ノ創設著手シ又陸軍氣球隊ニ於テ多數ノ飛行氣球並飛行機ヲ購入研究中ナルモ新ニ飛空隊ヲ編成シタルヲ聞カス  
四、埃及國陸軍ニ於テモ昨年九月下旬飛空隊ノ編成ヲ發表シ專ラ同隊ニ於テ研究セシムル方針ヲ採レリ  
五、露國ニ於テハ陸軍部内ニ飛行委員會ヲ組織シ今ヤ將校飛空學校擴張ノ企アルノ外全露國ヲ若干ノ飛行管區ニ分チ飛行機關ノ統一並戰時徵發等ノ關係ヲ整ヘントスルノ計畫アルモノ、如シ  
六、米國陸軍ニ於テハ本年度ニ於テ更ニ二十箇ノ飛行機ヲ購入シ海岸ニ約六箇ノ飛行機隊ヲ配置スルノ計畫アリ  
次ニ各國ノ空中飛行ニ關シテ支出セル經費中其ノ明カナルモノヲ揚クレハ概ね左表ノ如シ

國名 年度 政府支<sub>(豫算)</sub>額

民間獻出額

備

英國 一九〇九 七六六六五九一

一九一〇 一四六四四五〇

不<sub>明</sub> 獻納セラルモノアリ

考

外ニ新聞社ニ於テ大飛行氣球一箇ヲ政府ニ

空中飛行機關ノ發達ハ軍事上有利ニ之ヲ使用セラルニ至ルヘシト雖之カ爲戰術上一大革命ヲ來スコトナカルニ就中現今ノ狀態ニ於テ然リトス即前記ニ述ヘシカ如ク諸偵察勤務例令ハ敵軍兵力ノ分配就中其ノ主力所在地ヲ偵知シニ應シテ我軍ヲ適當ニ部署シ海軍ニ在リテハ敵艦隊ノ所在地就中其根據地ヲ偵察シテ之ニ策應スル如ク我艦隊ノ行動ヲ律シ又電信電話ヲ以テハ充分意思ヲ通シ難キ場合ニ於テ飛行機關ノ媒介ニ依リ連絡將校ヲ迅速ニ一地ヨリ遠隔セル他ノ地點ニ送致シテ其目的ヲ達スル等ノ利益ヲ享有シ得ヘシ然レトモ現今ノ飛行機關ハ未タ幼稚ナルヲ以テ平時熟知セル土地ニ於テモ尙飛行不確實ニシテ動モスレハ飛行途中ニ於テ墜落シ塔乗者ハ殆ト必然のニ落命ノ不幸ヲ見ルカ如キ景況ナルヲ以テ以上ノ利益ヲ確實ニ獲得スルニ至ル迄ニハ一段ノ研究進歩ヲ要ス我力臨時軍用氣球研究會ニ於テモ多クハ所澤飛行練習場ノ周圍ヲ飛行スルニ止マリシモ漸次場外飛行ヲ練習スルノ必要ヲ認メ昨年所澤町及川越町間ノ往復飛行數回ヲ實驗シ其ノ第二回飛行ニ於テ川越町南方畠地ニ降下スルノ止ムナキニ至リ終ニ搭乗者二名ハ負傷シ飛行機ハ翼ノ後部ヨリ半折スルノ不幸ニ遭ヒタルコトハ當時ニ新聞紙上ニモ記載セラレタルトコロナリ此ノ如ク近々約二里半ヲ隔ツル熟地ニ於テ然モ良好ナル天候ヲ選ヒテ飛行スルモ尙此ノ災厄アリ況ヤ熟知セサル生地ニ於テ然モ敵彈ヲ冒シテ飛行機ヲ敢テスルノ困難ナルニ於テオヤ又飛行氣球ニ火砲ヲ裝置シ(附表第一參照)或ハ飛行機上ヨリ爆烈彈ヲ投下シテ敵ノ集團部隊ニ損害ヲ與ヘ若ハ造物ヲ破壊スルノ目的ヲ以テ研究中ノモノアリ即トリボリ三於テ伊國某陸軍中尉ハ飛行機上ヨリ士軍ノ集團ヲトコロナリ此ノ如ク飛行機上ヨリ投下スル爆烈彈ノ命中ハ頗ル不確實ナルノミナラス現今ノ飛行機ニハ大ナル重量ヲ搭載スル能ハス又飛行氣球ニハ比較的大ナル重量物ヲ搭載シ得ルモ目下ノ狀態ニ在リテハ氣球上リスル射擊ハ氣球自體ノ危険ヲ伴フノミナラス命中極メテ不精確ナルヲ以テ本目的ヲ稍確實ニ達シ得ルハ前途甚悠遠ナルモノト認ム

サリシモ綠地内ニ落下シタリト想フ頃敵ノ四散スルヲ觀タリトノ報告ヲ爲セルカ如シ此ノ如ク飛行機上ヨリ投下スル爆烈彈ノ命中ハ頗ル不確實ナルノミナラス現今ノ飛行機ニハ大ナル重量ヲ搭載スル能ハス又飛行氣球ニハ比較的大ナル重量物ヲ搭載シ得ルモ目下ノ狀態ニ在リテハ氣球上リスル射擊ハ氣球自體ノ危険ヲ伴フノミナラス命中極メテ不精確ナルヲ以テ本目的ヲ稍確實ニ達シ得ルハ前途甚悠遠ナルモノト認ム

上來述フルカ如ク現時ノ飛行機關ハ幼稚ノ域ニ在ルヲ以テ戰術上ノ革命ヲ來スコトナキハ勿論假リニ前記ノ各理想ヲ實現スルニ至ルモ戰術上ノ根本原則ニ一大革

命ヲ來スコトアルモノト認メ難シ

右及答辯候也

明治四十五年三月六日

陸軍大臣男爵石本新六

與ヘ以テ其獎勵發達ヲ企圖シツ、アリ

第三 質問

佛國ニ於テハ飛行氣球ノ研究ヲモ怠ラスト雖寧口安價ナル飛行機ニ重キヲ置クカ如ク從テ飛行機ノ數ハ目下諸強國中其ノ第一位ヲ占ムルモ一千九百十四年ニ至レハ能ク一千餘隻ノ空中飛行大艦隊ニ所有スヘシトノ說ハ疑ハシ

答

第四 質問

質問

歐洲ノ軍事専門家中ニハ現ニ空中飛行機ノ發達ヲ以テ戰術上ノ一大革命ナリト稱スル者アルカ如シ當局ノ所見如何

答

佛國ニ於テハ飛行氣球ノ研究ヲモ怠ラスト雖寧口安價ナル飛行機ニ重キヲ置クカ如ク從テ飛行機ノ數ハ目下諸強國中其ノ第一位ヲ占ムルモ一千九百十四年ニ至レハ能ク一千餘隻ノ空中飛行大艦隊ニ所有スヘシトノ說ハ疑ハシ

第五

佛國 一九〇九 四五六六九五  
一九一〇 七六一〇四〇 不明 但シ本金額ハ飛行機ノミニ應スル金額トス  
米國 一九一一 四六六六三四 二五〇〇〇〇 不明 但シ本金額ハ飛行船及飛行機ノ兩者ニ對スルモノニシテ内ニ九六七、九五二圓ハ單ニ飛行機ノミニ應スル金額トス

〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕  
神社併合獎勵ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也  
明治四十五年二月二十八日

提出者 中村 啓次郎

賛成者 早川 龍介  
外六十二人

神社併合獎勵ニ關スル質問主意書

一 政府ハ何故ニ神社併合ヲ獎勵シテ神社ノ撲滅ヲ强行スルヤ

一 政府ハ何故ニ神社併合ヲ獎勵シテ國民ノ敬神思想ヲ滅失セシメ供セテ國民ノ有スル憲法上ノ自由ヲ強奪スルヤ

一 政府ハ何故ニ神社併合ヲ獎勵シテ國民ノ 皇室尊敬思想ヲ潰敗シ及ボシテ帝國固有ノ臣民道徳(忠道)ヲ撲滅セムトスルヤ

一 政府ハ何故ニ神社併合ヲ獎勵シテ祖先崇拜思想ヲ破壊シ我國人ノ子孫道徳(孝道)ヲ紛更セムトスルヤ

一 政府ハ何故ニ神社併合ヲ獎勵シテ我國體ヲ破壊シ我國由ヲ破壊シ我國風俗學、考古學ノ資料ヲ滅失シ以テ我國民ノ愛國心ヲ喪失セシメトスルヤ

一 神社併合ヲ獎勵スル政府ノ主意ハ社樹伐採、社地整理等物質的利益ヲ以テ精神性利益ニ代ヘムトスルニ在リト果シテ然ル乎然ラヘ則チ政府ハ神社併合ノ爲貴重ナル植物ヲ絶滅シ又益鳥跡ヲ絶チ害蟲益猖獗ヲ極ムルニ至リ却テ永久ニ物質的不利益ヲ國民ニ與ノルヲ知ラサル乎又前號ノ理由ニ依リ質素ヲ尚フ國風ヲ喪ヒ徒ニ拜外思想ヲ熾ナラシメ益貿易ノ不權衡ヲ來シ財政經濟ノ不利ヲ招クヲ知ラサル乎政府ハ果シテ神社併合ヲ獎勵シテ物質的利益ヲ獲得シ得ベシト思ヘル乎要之神社併合ノ獎勵ハ百害アリテ一利ナキコト此ノ如シ政府ハ速ニ之カ中止ヲ地方ニ嚴達スルヲ刻下ノ急務ト認メサル乎所見如何

右及質問候也  
電氣事業ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

提出者 大橋 賴摸  
明治四十五年二月二十九日

賛成者 小久保 喜七  
外四十五人

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キ、御諮リ致シマス、唯今報告ノ常任委員ノ辭任ハ之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ之ヲ許可致シマス、其補闕ハ其部ニ於テ選舉ノ上御宿アランコトヲ望ミマス、神社崇敬ニ關スル建議案外一件ノ委員有田源一郎君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマシタ、之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ之ヲ許可シ、更ニ築山和一君ヲ指名致シマス、日本刀劍鍛冶法維持ノ爲ニ刀劍師養成ニ關スル建議案委員庄野金十郎君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ之ヲ許可致シマス、其補闕トシテ高森新君ヲスルコト少カラズ政府ハ此ノ場合ニ於テ治水當局者ノ意見ヲ徵シ之ヲ許可スル乎

第五 電氣事業ハ市町村法人團體ニ於テ經營スルトキハ政府ハ之ヲ許可スルノ方針スル乎  
第四 電氣事業ヲ出願スルニ際シ河川中ニ電柱等ヲ建設スルトキハ治水上ニ關係スルコト少カラズ政府ハ此ノ場合ニ於テ治水當局者ノ意見ヲ徵シ之ヲ許可スル乎

第六 電氣事業ヲ既ニ市町村營ニ許可セントキハ他ヨリ出願アルモノヲ許可セサル乎  
第七 電氣事業ヲ市町村營若ハ或ル會社ニ獨占セシムルトキハ電燈料ヲ貪ルノ弊害ナシトセス市街又ハ町村部落ニ於テ相當ノ點燈戸數ヲ有スルノ場合ハ一箇以上之ヲ許可スル乎  
右及質問候也

物價騰貴ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也

提出者 早速 整爾  
明治四十五年二月二十九日

賛成者 花井 卓齋  
外三十一人

物價騰貴ニ關スル質問主意書

一 物價ノ騰貴ニ關シ本員ハ本月十二日ノ豫算本會議ニ於テ大藏大臣ニ質問スル所アリタリ之ニ對シテ大藏大臣ハ止メルヤ否ヤト云フコトニアリ

今日物價が騰貴スルガ、其趨勢ヲ大藏大臣ハ止メルヤ否ヤト云フコトニアリマシタガ、是ハ又意外ナ御尋ニアリマシテ、此商賣上ノ物價ノ高低ナルモノハ、自然ニ來ルモノニアリマシテ、唯上ヲ徒ツニ大藏大臣或ハ政府ノ役人ト云フモノガ之ヲ人爲テ使此スルト云フコトハ考フベキモノニアリマス云々

ト答辯セリ乃チ政府ハ物價騰貴ヲ自然ニ放任セムトスルノ意ナル乎  
三 敢テ問フ政府ハ我國近時ノ物價騰貴ヲ以テ果シテ何ニ原由スルト微スソ  
四 更ニ將來ニ於テ此ノ物價ハ如何ナル趨勢ヲ有スヘシト思惟スルヤ  
五 通貨ノ膨脹ガ物價ノ騰貴スルハ勿論アリ尙政府ハ通貨ノ膨脹ヲ制スヘキ具體的成案ヲ有セサル乎  
右及質問候也

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キ、御諮リ致シマス、唯今報告ノ常任委員ノ辭任ハ之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ之ヲ許可致シマス、其補闕トシテ高森新君ヲスルコト少カラズ政府ハ此ノ場合ニ於テ治水當局者ノ意見ヲ徵シ之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

本陸軍大臣ヨリノ空中飛行機ニ關スル答辯書ハ頗ル活幹ナモノニアリマスカラ、朗讀ヲ省略シテ速記録ニ載セタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ其通ニ取計ヒマス——茲ニ御誥リスル件ガアリマス、ソレハ請願委員長ノ報告デアリマス、從來委員長ハ件名ト呈出者ト、紹介議員ノ氏名ヲ報告ラシテ、請願ノ内容ハ多クハ文書表ニ譲シテ、其請願ノ意味ヲ報告スルコトハ實際ニ於テハ甚ダ少ナイ例ニナシテ居リマス、ソレデ今回ヨリハ請願委員長ニ於テ必要ト認ムル場合ヲ除クノ外ハ、一々其報告ヲ略シマシテ、請願ノ件名、呈出者及紹介議員ハ勿論、意見書ノ全文ヲモ速記録——官報ノ附録ノ上ニ明カニ載セルコトトシテ、此議場ニハ受理シタル件數及審査ノ結果等ヲ一列ニ報告スルコトニ致シタリト思ヒマス、而シテ日程ニ入ルトキハ議長ヨリ日程ノ番號又ハ件名ヲ讀上げ、反對ナキモノハ採擇シタルモノトシテ、次ニ移ルコト、シ、諸君ニ於テ御異論ノアル者ノミヲ討論ニ付スルト云フ程度ニ致シマシタナラバ、議場ノ整理モ宜カラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ其事ニ計セマス、尙モウ一件御注意ヲ申シマシテ諸君ノ御勵勵ヲ希望致シタイコトガゴザイマス、會期モ追々切迫致シ、議案モ輻湊シテ參ツテ居ルコトニアリマスカラ、十分諸君ノ御勵勵御出席ヲ希望シテ已マヌノデアリマス、然ルニ過ル土曜日ノ如キハ定數ヲ缺イテ、流會ノ已ムヲ得サルニ至シタヤウナコトモアリマシテ、頗ル遺憾ヲ感ズル、次第ニアリマス、何卒一層御奮勵ヲ以テ、此會期ノ終リニ於ケル總てノ職務ヲ十分ニ盡サレシコトヲ望シテ已マサル次第ニアリマス、尙請暇ノ許可ヲ得ズシテ缺席ノ御方モアリ、或ハ請暇ノ期限が過ぎテ御出席ノ奈イ御方モアルヤウデアリマスガ、ソレハ成規モアルコトニアリマスカラ、是等ノ邊モ御守リニナシテ、御出席ノ益々多カラシコトヲ希望致シマス、是ヨリ質問ニ入リマス、神社併合獎勵ニ關スル質問、中村啓次郎君

(中村啓次郎君登壇)

○中村啓次郎君 神社併合ノ獎勵ハ、明治三十九年時ノ内務大臣ガ地方官ニ訓達致シタコロニアリマシテ、其要旨ハ一町村ニ一神社ヲ存置スルコトヲ條件ト致シマシテ、其餘ハ縱令如何ナル特別ノ由縁理由ヲ有シテ居ル神社デモ、即チ皇室ノ崇敬致シテ居リマスル神社デモ、武門、武將ノ崇敬致シテ居ル神社デモ、延喜式内社ニアラウトモ、六國史所載社ニアラウトモ、亦勅祭社ニアラウトモ、准勅祭社ニアラウトモ、如何ナル神社デモ、其維持ノ確實ナラザルモノハ悉ク併合ヲ獎勵スルト云ノアリマス、無格社ノ如キハ勿論、村社以上ノ神社ニ併合スルト云ノアリマス、若モ其併合ヲ肯ゼナイモノガアリマシタ時分ニハ、責道具ト致シマシテ、或ハ龐大ナル神社ノ境内ヲ有ベシト強ヒ、或ハ鳥居トカ、拜殿、本殿、神職ノ舍宅ト云フヤウナ建築物ヲ要スルコト、強ヒ、或ル地方ニ於キマシテハ二千圓乃至五千圓以上ノ墓本金ヲ積立ツルコトヲ強ヒ、此ノ如ク致シテ、地方ノ疲弊シテ居リマスルニ乘シテ、無暗ニ神社ヲ併合スベシト云フ嚴達ヲ下シタノアリマス、ソレテ地方官ハ得タリ賢シト致シマシテ、一社モ神社ノ多く併合スルコトヲ以テ功績ト致シマシテ、競ウテ神社ヲ破壊シ、神樹ヲ伐採シ、名所舊蹟モ、稀代ノ神林モ、概ネ皆其災禍ニ罹ルアリマス、是ニ於テ本員ハ第一十六議會ニ於テ當演壇ニ立チマシテ、政府者ノ暴虐ヲ詰責シテ未ダ撲滅セラレナイ神社ヲ保存致シタリト云フ、意味ノ質問ヲ致シマシタ、時ノ内務大臣平田男爵ハ本員ノ説明ヲ聽キマシテ、恐

懼惧ノ能ハズト致シテ、直ニ其年ノ四月地方官會議ニ於テ本員質問ノ趣意ヲ地方官ニ訓令致シタトノコトニアリマス、ソレテアリマスカドウカ知リマセヌガ、其頃ヨリ神社合祀ノ火ノ手ハ段々鎮靜致シマシテ、又第二十七議會ニ於テハ貴族院ニ於テ徳川侯爵、三宅博士等が名所舊蹟ヲ保存スベシト云フ建議案ヲ提出サレマシタシ、當院ニ於テ神社合祀ハ危險思想ヲ誘致スルモノナリトノ村松君ノ演説トナリマシタシ、又院外ニ於キ

宅博士等が名所舊蹟ヲ保存スベシト云フ建議案ヲ提出サレマシタシ、當院ニ於テ神社合祀ノ聲が各地方カラ起シテ參ツタノデアリマス、最モ其甚シモノハ埼玉縣、和歌山縣、長野縣、福島縣等ニ起シテ參ツタノデアリマス、神社ノ合祀ヲ追窮督勵スベシナド、云フヤウ當局モ稍悔悛ノ色が見エマスルシ、又地方ノ人民モ多少考慮ヲ要シタル有様アリマスノデ、本員極メテ安心ラ致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ近頃ニ至リマシテ又々神社合祀ノ聲が各地方カラ起シテ參ツタノデアリマス、最モ其甚シモノハ埼玉縣、和歌山縣、長野縣、福島縣等ニ起シテ參ツタノデアリマス、本員ハ期セズシテ百万ノ後援軍ヲ得タル感ガアツタノデアリマス、斯ラト云フ程度ニ致シマシタナラバ、議場ノ整理モ宜カラウト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ

アリマス、第一問ノ説明ヲ致シマスルガ、神社ノ併合ト謂フコトハ併合ト謂フ故ニ且障リモシナインデアリマスケレドモ、其實神社ノ併合ハ神社ノ撰減デアルノデアリマス、内務當局ハ神社ノ真意義ヲ解シナシテ、神社ト謂フモノハ單ニ鳥居ダノ、拜殿ダノ、本殿ダノ、ト云フヤウナ、建築物等ヲ神社ト心得ア居ルノカモ知レナイト思フノテアリマス、併ナガラ神社ト謂フモノハ決シテ寺院ノ如ク建築セラレタル物デハナノデアリマス、神社ノ古制ハ神林ニアリマス、神ノ林ガ即チ神社アルノデアル、樹林ハ悉ク神社アルノデアリマセヌケレドモ、神社ト謂フモノハ必ズ樹林ニ在ルノアル、樹林ノナニ神社ハ神社ノ古制ナリノデアル、萬葉集ニ卯名手神社ダノ、或ハ哭澤ノ神社ダノト云フノ此モリフコトヲ附ケテ居リマス、「モリ」ノ字ハ——哭澤ノ神社ト書イテアルノデアリマス、又石田ノ杜或ハ浮田ノ杜卯名手ノ杜ト申シマスノハ「社」ノ字ヲ書イテアルノデアリマス、尤モ萬葉集ニハ「社」ノ字ヲ「杜」ノ字ト誤テ書イテアル——木扁ニ土ノ字ヲ書イテアル、邦人ハ木扁ニ土ノ字ヲ書ケバ皆モリト云フコトヲ知シテ居ル、ケレドモ「社」ノ字ハ「杜塞」ノ「杜」ノ字デアリテ決シテ森デハナイ、新井白石ハ萬葉集「杜」ノ字ハ「社」ノ字ノ誤寫デアリマセウ、併ナガラ斯ウ云フ詳解ナサレテ居リマス、此「杜」ノ字ハ「社」ノ字ノ誤寫デアリマセウ、在マサザル林ハ單純ニ「林」ト云フ字ヲ書クシ、神ノコトモ言ハレナイコトハナシ「杜」ノ字ハ作り字デアリマシテ、林ノ半分ト社ノ字ノ半分トヲ抱合ハセタモノデアリマス故ニ、神ノ在マサザル林ハ單純ニ「林」ト云フ字ヲ書クシ、神ノ在マス林ハ「杜」ノ字ヲ書イタトモ言ヒ得テルノデアリマス、何レニ致シマシテモ神林ノナシテ内務ノ當局ハ栗材ダケ、或ハ檜材ダケ、或ハ松材ダノヲ以チマシテ神社ヲ造ツタリトハ、ヨモヤ私ハ言ヒハシマイト思フ、此等ハ皆樹木ヲ立テテ神社ト致スノデアリマス、神社ニハ樹木、樹木ト云フモノガ主要ナル物デアルト云フコトヲ知ラケレバナラナイ、然ラバ此神社デアルトコロノ樹林ヲ伐滅シテ何物ヲ併合シャウトスルノアル、又何物ニ併合シシャウトスルノデアル、實ニ神社併合ヲ名ト致シマシテ神林ヲ伐盡スト云フコトハ神社併合ニアラズシテ、神社ノ樸滅デアル、是意義ニ於キマシテ建築物ハ如何ニ矮小ニアツテモ亦建築物ハナクトモ、苟モ挺々トシテ天ニ聳ユル大木アリ、其境ニ臨ミマシタナラバ、自ラ神威身ニ沁ムト云フガ如キ神林ニアラバ假令神職が常ニ之ヲ祭ラナイデモ拜殿モ本殿モナクテモ、古制ニ則レル神社ハ儀トシテ存スルノデアリマス、實例ヲ申シマスレバ彼ノ大和ノ官幣大社ニ輪神社ノ如キハ社殿ガナインデアル、又官幣中社ノ信州ノ誠訪神社ノ如

キ、ヤハリ社殿がナイノデアル、唯神林ノミノ神社デアル、是ハ神社ノ古制デアル、唯今ハ最モ大ナルモノヲ提ケタノニアリマスカ、其他小ナル神林ノミヲ以テ神社ト致シテ居ルモノガ澤山アルノデアル、神社ガナシトシテ——木ヲ捨ヘタトコロノ神社ガナシトシテ、其神社ガ小サイトカ毀レカ、<sup>シテ</sup>居ルトカ<sup>シテ</sup>、神林ガアルニモ拘ラズ之ヲ合併スルト云<sup>フ</sup>ヤウナコトハ、全ク神社ヲ撲滅スルノデアル、又神社併合ニハ二ツノ方法ガアリマシテ、合社スルノト合祀スルノトアリマス、甲神社ト乙神社ヲ丙ノ或ル所ニ一ツノ社ヲ設ケマシテ、之ニ合ハスカ如キハ稱シテ合社ト申シテ居リマス、又甲ノ神社ヲ乙ノ神社ニ遷シマスルモノハ合祀ト言<sup>フ</sup>テ居リマスガ、何レニ致シマシテモ此神社ヲ撲滅スルト云<sup>フ</sup>コトニ至<sup>テ</sup>ハ即チ一つアリマス、神林ヲ保有スルト云<sup>フ</sup>上ニ於キマシテハ、甲神社ヲ乙神社ニ遷シタルガ如キハ甲神社ガ無クナリマスルケレドモ、乙神社ガアル故ニ尙忍フベシト雖モ、神ヲ人間ノ如ク人格視致シマスル時分ニハ合社ノ如キハ共ニ俱ミ甲乙ノ二神ガ自分ノ神社ガ無クナシタケレドモ、新ナル一神社ヲ得テ其神社ニ於テハ對等ノ祭祀ヲ受ケルノデアルカラ忍ビ得ラレルガ、合祀ノ如キハ甲神社ニ居ル神ハ自分ノ神社ト云<sup>フ</sup>モノヲ無クナサレテシマツテ、而シテ乙神社ニ寄食スルノデアル、居候ニ參ルノデアル、神社靈アラバ誠ニ自分ノ家ヲ仰壌ハサレテ、他人ノ家ニ寄食スルト云<sup>フ</sup>ガ如キハ忍ビ得ラレルコトアリマシ、其神ノ氏地ニ居リマス人民ハ自分ノ祖宗ノ神ノ住ヒフ無クシテ、他人ノ神社ニ寄食サスト云フヤウナコトハ忍ビ得ラル、コトデナイト思<sup>フ</sup>ノアリマス、又神社ト云<sup>フ</sup>モノハ概ネ其土地ニ深キ縁故、深キ由緒ヲ持<sup>テ</sup>居ルノデアリマス、譬ヘテ申セバ、冰川神社ハ武藏ノ守護神デアリマシテ、日枝神社ハ皇城ノ守護神デアルガ如クアリマス、其神ニ於テ京都ニ遷シ、日枝神社ヲ以テ長崎ニ移スト云<sup>フ</sup>コトニナレバ、其神ノ祭<sup>フ</sup>モノハ概ネ其土地ニ云<sup>フ</sup>モノハ失ハレルノデアル、神力モ自ラ薄クナルノデアリマス、是ハ一例アリマスルガ、多クノ氏神、產土神ト云<sup>フ</sup>モノハ其土地ニアリテコソ初メテ正當ナル祭祀ヲ饗ケラレ、然ルニ甲ノ氏神ノ神ヲ乙ノ氏地ニ遷シテ以テ祭<sup>フ</sup>レタ時分ニハ其神ハ正當ナル祭祀ヲ饗ケルコトが出來ナイノアリマス、氏神ニ對シ產土神ニ對シ云<sup>フ</sup>モノモ更ナリ、其他ノ神ニ對シマシテモ、無暗ニ其安置サレテ居ル土地ヲ動カスト云<sup>フ</sup>コトハ甚ダ不敬無禮ノ行動ト言ハナケレバナラナイノアリマス、以上申ストヨコニ依リマシテ神社ノ併合ト云<sup>フ</sup>コトハ神社ノ撲滅デアルト云<sup>フ</sup>本員ノ意見ヲ説明シ得ラレタ時分ニハ其神ハ正當ナル祭祀ヲ饗ケルコトが出來ナイノアリマス、第一ノ説明ヲ申シマスルが、凡ソ一國ノコト、一家ノコト、一身上ノコトデモ我國民ハ苟モ芽出度コトガアリマシタナラバ吉祥ノコトガアッタナラバ、神社ニ奔<sup>フ</sup>テ之ヲ祝スルノアリマス、又一旦禍ニ際會致シマシタナラバ、又神社ニ奔<sup>フ</sup>テ之ヲ祈ルノアリマス、故伊藤博文公ハ歐化主義ノ人ト言ハレタ人アリマス、此歐化主義ノ伊藤博文公ハ近キ十數年ノ間に公式ニ——公ケニ伊勢ノ大廟ニ參拜セラレタコト五回アリマス、其第一回ハ何ノタメニ參拜セラレタト言<sup>フ</sup>コトヲ古谷久綱氏ノ著シタ藤公餘影ニ依<sup>テ</sup>讀立アマス「此參拜ノ目的ニ就テハ久シク何人ニモ語ラザリシガ實<sup>シ</sup>」殿<sup>下</sup>ノ御病氣ニ就アハ兩陛下モ頗ル御軽念アラセラレ予モ臣子ノ分座視スル能ハズ宮内當局者ニ注意シ治療上ノ事ハ現代文明ノ及ブ限リ<sup>ト</sup>盡サシタルモ所謂人事ヲ盡シタル上ハ天助ヲ乞フノ外ナキ<sup>ト</sup>感<sup>シ</sup>伊勢ニ赴キテ神前ニ訴ヘタリ其節神官ヨリ所願ノ趣意ヲ承ルヲ得バ心ヲ合セテ祈願スベシト申出タルモ予ハ貴君ノ厚意ハ深謝スル處ナレドモ所願ノ筋<sup>ト</sup>自ラ直接ニ大神ニ訴<sup>フ</sup>奉リタシト述<sup>フ</sup>テ之ヲ辭シ數分間神前ニ跪キテ熱誠ヲ込メ所思ヲ披瀝シ口管殿<sup>下</sup>ノ御病氣御恢復ヲ祈願シ若シ斯ク無遠慮ニ祈

願ヲ披瀝スルコト神威ヲ冒瀝スルニ當ラバ此場ヲ去ラズ神罰ヲ與<sup>フ</sup>ヘト念シタリ固ヨリ此所願ハ予一人ノ祈願ニアラズ殿<sup>下</sup>ノ御病氣ヲ聞知セル我臣民ハ孰モ予ト其念ヲ一ニシタルヲ疑ハザリシガ大神ハ幸ニ我等臣子ノ祈願ヲ容レラレ其後殿<sup>下</sup>ハ御全快今ヤ御成婚モ濟ミ三皇子ノ御誕生モアリ皇室益<sup>ム</sup>御繁榮ノ徵ヲ見ルヲ得ルハ予ノ國家社稷ノ爲メ欣喜措<sup>ク</sup>能ハズ日夕伊勢大神ニ感謝シツ、アル所ナリ」即チ歐化主義ノ伊藤公モ斯ル大切ニ臨ミマシテハ直ニ伊勢大神宮ニ奔<sup>フ</sup>テ祈願ヲ致シタ一人アリマス、第二回ハ明治二十五年十一月立憲政友會ノ總裁トシテ時ノ内閣ニ反對セザルベカラザル境遇ニ立チマシタ時分ニ陛下ノ内閣ニ反對セザルベカラザル至誠ヲ天祖ニ報告シ憲政ノ前途ヲ圓滿ニ發展セシメラレタキコトヲ祈<sup>フ</sup>タノデアリマス、第三回ハ明治二十七年ノ二月日露戰爭ノ初メアリマス、振古未曾有ノ國難ニ方リマシテドウカ皇軍ノ克捷ヲ得ルヤウニト云<sup>フ</sup>祈願ヲ致シタノデアル、第四回ハ韓國統監トシテ任ニ臨ム時分ニ其任ヲ完クセラル、コトヲ祈願シタノデアル、第五回ハヤハリ韓國ニ歸任致シマス、時分ニ韓國ノ前途ニ付テ祈願ヲ致シタモノノヤウアリマス、第六回ハ古谷氏ガ伊藤公カマツテ、而シテ乙神社ニ寄食スルノデアル、神社靈アラバ誠ニ自分ノ家ヲ仰壌ハサレテ、他人人ノ家ニ寄食スルト云<sup>フ</sup>ガ如キハ忍ビ得ラレルコトアリマシ、其神ノ氏地ニ居リマス人民ハ自分ノ祖宗ノ神ノ住ヒフ無クシテ、他人ノ神社ニ寄食サスト云<sup>フ</sup>ヤウナコトハ忍ビ得ラル、コトデナイト思<sup>フ</sup>ノアリマス、又神社ト云<sup>フ</sup>モノハ概ネ其土地ニ深キ縁故、深キ由緒ヲ持<sup>テ</sup>居ルノデアリマス、譬ヘテ申セバ、冰川神社ハ武藏ノ守護神デアリマシテ、日枝神社ハ皇城ノ守護神デアルガ如クアリマス、其神ニ於テ京都ニ遷シ、日枝神社ヲ以テ長崎ニ移スト云<sup>フ</sup>コトニナレバ、其神ノ祭<sup>フ</sup>モノハ概ネ其土地ニ云<sup>フ</sup>モノハ失ハレルノデアル、神力モ自ラ薄クナルノデアリマス、是ハ一例アリマスルガ、多クノ氏神、產土神ト云<sup>フ</sup>モノハ其土地ニアリテコソ初メテ正當ナル祭祀ヲ饗ケラレ、然ルニ甲ノ氏神ノ神ヲ乙ノ氏地ニ遷シテ以テ祭<sup>フ</sup>レタ時分ニハ其神ハ正當ナル祭祀ヲ饗ケルコトが出來ナイノアリマス、氏神ニ對シ產土神ニ對シ云<sup>フ</sup>モノモ更ナリ、其他ノ神ニ對シマシテモ、無暗ニ其安置サレテ居ル土地ヲ動カスト云<sup>フ</sup>コトハ甚ダ不敬無禮ノ行動ト言ハナケレバナラナイノアリマス、以上申ストヨコニ依リマシテ神社ノ併合ト云<sup>フ</sup>コトハ神社ノ撲滅デアルト云<sup>フ</sup>本員ノ意見ヲ説明シ得ラレタ時分ニハ其神ハ正當ナル祭祀ヲ饗ケルコトが出來ナイノアリマス、第一ノ説明ヲ申シマスルが、凡ソ一國ノコト、一家ノコト、一身上ノコトデモ我國民ハ苟モ芽出度コトガアリマシタナラバ吉祥ノコトガアッタナラバ、神社ニ奔<sup>フ</sup>テ之ヲ祝スルノアリマス、又一旦禍ニ際會致シマシタナラバ、又神社ニ奔<sup>フ</sup>テ之ヲ祈ルノアリマス、故伊藤博文公ハ歐化主義ノ人ト言ハレタ人アリマス、此歐化主義ノ伊藤博文公ハ近キ十數年ノ間に公式ニ——公ケニ伊勢ノ大廟ニ參拜セラレタコト五回アリマス、其第一回ハ何ノタメニ參拜セラレタト言<sup>フ</sup>コトヲ古谷久綱氏ノ著シタ藤公餘影ニ依<sup>テ</sup>讀立アマス「此參拜ノ目的ニ就テハ久シク何人ニモ語ラザリシガ實<sup>シ</sup>」殿<sup>下</sup>ノ御病氣ニ就アハ兩陛下モ頗ル御軽念アラセラレ予モ臣子ノ分座視スル能ハズ宮内當局者ニ注意シ治療上ノ事ハ現代文明ノ及ブ限リ<sup>ト</sup>盡サシタルモ所謂人事ヲ盡シタル上ハ天助ヲ乞フノ外ナキ<sup>ト</sup>感<sup>シ</sup>伊勢ニ赴キテ神前ニ訴ヘタリ其節神官ヨリ所願ノ趣意ヲ承ルヲ得バ心ヲ合セテ祈願スベシト申出タルモ予ハ貴君ノ厚意ハ深謝スル處ナレドモ所願ノ筋<sup>ト</sup>自ラ直接ニ大神ニ訴<sup>フ</sup>奉リタシト述<sup>フ</sup>テ之ヲ辭シ數分間神前ニ跪キテ熱誠ヲ込メ所思ヲ披瀝シ口管殿<sup>下</sup>ノ御病氣御恢復ヲ祈願シ若シ斯ク無遠慮ニ祈



麺ヲ嗜シテ路傍ニ眺メテ羨シサウニ見テ居ル貧人ノ顔ヲ見タリヤ、我質業ナル神社ノ前ニハ草鞋掛ノ老農モ、金冠綾羅ノ貴公子モ、共ニ俱ニ參拜シ得ルノアリマス、彼ノ路傍ニ羨シゲニ黒麵炮ヲ嗜シテ紳士、淑女ノ禮拜堂ニ參リマスノヲ眺メテ居ル此貧人ハ既ニ忌ハシキ社會主義者ナリ、又繼テ社會主義者ニナントシツ、アル者デアリマセウカ、我邦ノ神社ヲ併合シテ社殿ヲ廣大ニシ民ノ負擔ヲ重カラシム如キハ我國民ヲ驅テ彼ノ異國ノ風ニ奔ラシメントスルモノアリマセヌカ、本員ハ實ニ神社合併策ハ百害アツテ一利ナシト思フノアリマス、故ニ政府ハ速ニ地方ニ令シテ神社合併ノ訓令ヲ取消シ、未ダ神林又ハ社殿ヲ滅却セザルモノニシテ村民ノ請願ニヨリテ速ニ復社セシヌラ、ト云フコトハ時宜ニ適シタル行動ナリト思惟スルノアリマス、甚ダ長キニ至リマシテ諸君ニ對シテ御氣ノ毒デアリマスガ私ハ神社ヲ併合スルヲ以テ我帝國ノ盛衰興亡ニ關スルコトナリト信ジマスルガ故ニ、至誠ヲ披瀝致シタノアリマス、之ニ對シテ内務大臣タルモノハ諄シイ答辯ハ要ラヌノアリ、本員ノ質問シタル趣旨ニ對スル神社併合ノ令ヲ取消スト云フ一言ヲ戴ケバ、ソレテ満足致スノアリマス

○議長(大岡育造君) 質問者ニ申シマス、内務大臣ハ本日出席答辯ノ用意ヲ致シテ居リマシタカ、貴族院ニ於テ選舉法ノ委員會開會中ニアリマシテ、茲ニ出席シ得ザルコトヲ甚ダ遺憾トシマスガ、追テ書面ヲ以テ答辯スルト云フコトデアリマス  
○中村啓次郎君 參照トシテ速記ニ之ヲ添付致シテ置キタイト思ヒマスカラ御許ヲ願ヒマス

## (參照)

周禮大司徒 一十五家爲社各樹其土所宜之木。周書節註彼三代所都異處。所宜之木不同。夏居平陽宜松。殷居毫宜柏。周居鎬京宜栗。白虎通曰社稷所以有樹何。尊而識之。使民人望見而敬之。又所以表功也。故周官曰司社。而樹之。各以土地所生。尙書亡篇曰大社唯松。東社唯柏。南社唯梓。西社唯栗。北社唯槐。

## 社稷

論語十

子路使子羔章

疏云社稷者。蓋先王立五土之神祀以爲社。立五穀之神祀以爲稷。以古推之。自顓帝以、用句龍爲社。柱爲稷。及湯之旱。以堯易柱。是知社稷之變置。官曰司社。而樹之。各以土地所生。尙書亡篇曰大社唯松。東社唯柏。南社唯梓。西社唯栗。北社唯槐。

## 神社ヲ「モリ」ト訓セシ例

哭澤之神社爾三輪須惠雖禱祈我王者高日所知奴

(萬葉集第二卷三十六丁)

(同上第七卷三十三丁)

(同上第十二卷三丁)

(同上第八卷十四丁)

(同上第七卷三十九丁)

神社合祀ニ關スル再質問演說  
一神社ノ合祀ハ規模歟ナルモノニシテ、格別ノ由緒ナク、社殿廢頽シ氏子又ハ崇敬者ニ於テ其維持ニ堪ヘス隨テ神社ノ體面ヲ保チ難ク崇敬ノ實ヲ舉クル能ハザルモノニ在リテ行ハル、モノニシテ之ニ由リ却テ敬神ノ念ヲ厚カラシメ又之ニ由リテ神社ノ隆興ヲ期セムトスルニ外ナラストハ政府ノ答辯スル所ナレトモ從來行ハレツ、アル神社合併ノ事實ハ全ク之ニ反シ、社殿廢セバ、氏子又ハ崇敬者ガ切ニヨラ維持セムト易メツ、アルニ拘ハラス。政府ハ地方吏員ヲシテ強テ神社合併ヲ行ハシメツ、アリ政府ハ何ソ速ニ這般ノ真實ヲ調査シ之ガ非行ヲ匡正セザル乎右及再質問候也

## 神社合祀ニ關スル再質問演說

曩ニ本員カラ神社合祀ニ關スル質問題趣旨書ハ提出シテ置キマシタトコロガ、政府ハ唯今是ニ對シマシテ神社ノ合併ハ規模歟ナルモノニシテ、格別ノ由緒ナク、社殿廢頽シ、氏子、又ハ崇敬者ニ於テ其維持ニ堪ヘズ、隨テ神社ノ體面ヲ保チ難ク、崇敬ノ實ヲ舉ケル能ハザルモノニシテ、之ニ由リ却テ敬神ノ念ヲ厚カラシメ、又之ニ由リテ神社ノ隆興ヲ期セントスルニ外ナラズ、云々ト云フ辯解が參ッタノデザイマス、此答辯ハ全ク眞事實ヲ知ラナイカ、或ハ之ヲ知ツテ其非ヲ掩フトコロノ答辯アル、曩ニ政府ハ地方ニ令シテ無格ノ神社又ハ基本金ノ乏シキ神社ノ合併ヲ強井マシテ地方ノ吏員ガ其旨ヲ受ケマシテ或ハ民人ヲ強制シ、或ハ誦詐誘導致シマシテ、一ツテモ神社合祀ノ多キコトヲ誇ト致シテ居ルノアリマス、此間本員ガ此質問趣意書ヲ提出セントシテ、贊成者ヲ求メマシタ砌、贊成者ノ多クノ人ハ本員ニ多大ノ材料ヲ會期切迫ノ折柄御遠慮申スベキ筋合ノモノト信シマスルガ、其上ゲルト云フコトハ會期切迫ノ折柄御遠慮申スベキ筋合ノモノト信シマスルガ、其中植場平君ガ私ニ與ヘタノアリマス、併ナカラ其多大ノ材料ヲ唯今諸君ノ前ニ申クカ、然ラザレバ眞事實ヲ知ラナイト云フコトガ分ルノアリマス、植場平君ハドウ云フコトヲ本員ニ言シタカ、是ハ大阪府下ニ澤山アル事例アルサウデ、甲乙ノ神社ヲ併合シヤウトスル前ニ當リマシテ、下準備ノ仕事トシテ乙ノ神社ノ神官ヲ罷免シムト云フ事實、既ニ乙ノ神社ニハ神官ナルモノ、存在シテ居ルト云フ事實ガアル、即チ立派ニ村民ガ之ヲ維持スルトコロノ力アリ、維持シツ、アルトコロノモノデアル而シテ其問題が起ルヤ否ヤ植場君ヲ煩ハシタト云フ事實ニ於テ、將來ニ於テモ立派ニ維持シ得ラレルトコロノ力ガアルノデアル、此ノ如ク立派ニ維持シ得ラレルトコロノ神社ヲ政府ガ本員ヲ欺クニ格別ノ由緒ナク、社殿廢頽シ、氏子又ハ崇敬者ニ於テ其維持ニ堪ヘズ、隨ツテ神社ノ體面ヲ保ツコトガ出來ナイト云フ理由テ神社合併ヲ行フノアリト云フ言フニ至テハ本員ヲ誣ニルノ甚シイモノデアル、今各地方ニ此ノ如キ怨嗟ノ聲ハ充チテ居ルノアリマスガ、僅ニ本員ノ選舉區アル和歌山縣西牟婁郡ニ於キマシテノ一一ノ事實ヲ當時ノ新聞ニ依シテ申上ゲマシテ、而シテ質問ノ趣意ヲ明ニ致シタイト思フノアリマス、新聞ノ記事ニ斯ウニ云フコトガアル、「本郡三川豐原村ノ如キハ山嶽重疊ノ難路ナルが故ニ一村ノ行程ヲ積レバ其徑ハ伊都郡ニ等シト云フ其二十大字三十二社ヲ滅シテ悉ク面川ノ春日社ニ合セ、宮木ヲ伐悉シテ一千餘圓ニ賣リナガラ、本社ヘハ實際八百圓ノ基本金シカ入レズ、他ハ誰カガ著服トカ聞及ブ又川添村ノ竹垣内ハ一社共ニ他ノ十大字十二社ト一緒ニ市栗野ノ熊野社ヘ合祀サル往復十里ヲ歩マスバ自家ノ產土神ニ詣テ得ズ」ソレカラ「又栗栖川村ニテハ十一大字十二社ヲ盡ク瀧尻王子ニ合セ、遠路難險ノ爲メ參社シ能ハザル舊各私カニ廢社跡ニ遙拜所ヲ設ケ日夕參詣シテ昨ノ昔ヲ忍ビ居ル状慘傷ニカクシテヤナノアラシモオアラキノモリノシツニアラナクヨ如是爲哉猶八成牛鳴大荒木之浮田之社之標爾不有爾

ハ他ニ澤山アルト云フコトヲ先ツ御承知置フ願ヒタイノアリマスガ、聊カ此事柄ノ事實ニ依リマシテ質問ノ理由ヲ明カニ致シタト思フノニアリマス、陳ブル本員ハ學淺ク、才乏シク言葉ノ達シナイトコロモゴザイマセウカ、ナレドモ申上ケル事柄ハ、神聖ナル神社ト云フ事柄デアル爲メ暫ク少シク此場合長談議ニ過ギルカモ知レマセヌガ、御清懶アラムコト願ヒマス

第一神社合祀ヲ強ユルハ、國民ノ敬神思想ヲ損傷スルモノナリ、政府ハ何ゾ速ニ此舉ヲ中止セザル、神道ノ宗教デアルカ否カト云フヤウナコトヲ申上ケルコトハ此質問書ノ主ナル目的デハアリマセヌカラ、成ルベクサウ云フコトノ詳論ハ避ケマス、併ナガラ諸君御互ニ躋ノ緒ヲ切りマシテ呱々ノ聲ヲ舉ゲマスルヤ否ヤ、先ツ氏子ト云フモノニナリマシテ、氏神ノ神籍ニ入り、然ル後ニ國籍ヲ天皇ニ得テ茲ニ臣民ノ關係ガ、生ズルノデアル、右ヤウナ次第アリマスカラ、我國民ノ敬神思想ノ深厚ナルコトハ實ニ偶然デナイト思フノアリマス、農民ガ田畠ヘノ出掛け歸掛けニ駆ノ切レタル垢切レノ手ヲ拍チマシテ、國家安全家内息災ヲ祈リマスル此聲ハ廳テ我帝國ノ太平ヲ來シツ、アルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌノアル、高僧智識ノシチムツカシイ講釋ヤ、或ハ傳道師ノ鹿爪ラシイ演説テハ宗教トシテ毫モ國民ノ性格ヲ涵養スルニハ足リナノアル、一人ノ僧侶左右ニアラズ、一人ノ神官前後ニアラズ、而モ半バ朽チタル眞木作ノ小サナ祠ノ前ニ跪キテ合掌瞑目致シマスレバ、唯森トシテ神樹ノ天籟ヲ聞クノミ、此時ニ方リテ無學ノ者モ、有文ノ人モ心悠々トシテ覺ズ天地ニ參スルノニアリマス、這般ノ消息ハ都地ニ栖息シテ、或ハ姪祠邪教ヲ奉ジ空理空論ノミヲ聞イテ居ル者ノ接シ得ベキ境遇デハナノアリマス、想起ス、日露戰役ノ當時一旦從軍令下リマシテ、以テ農民ハ飼ヲ授ジテ戎軍ニ就キ、此氏神ニ詣デテ何ト言フテ居ルカト云ヘバ、「縱令此身ハ戰場ニ參リマシテ屍ヲ暴ストモ、祖先代々尊崇セル此產土神ニ對シ恥ヲ御見セ申ヤウナ死様ハ致シマセム、今此祠前三惱哭スル妻女ノ懷中ニ餘念ナク乳房ヲ握シテ微笑ヲ湛エテ居ル此頭兒ガ、ドウカ神ノ加護ヲ以チマシテ成長致シテ、此者モ他日不幸ニシテ國難ニ遭フヤウナコトアリマシタラバ、ヤハリ某ノ如ク潔ク戰場ヘ參リマシテ討死ヲシテ、國ノタメニナルヤウ育上ヶヲ願ヒタ」ト云ウコトヲ神ニ祈リテ、從容トシテ死ニ就クコト歸ルガ如ク戰場ヘ赴イタト云フヤウナ事實ハ、諸君ト共ニ之ヲ眼ニ見、又耳ニ聞イタコトハ澤山アルデハアリマセヌカ、是等ノ安心立命ト云フモノハ、七十歲八十歲マデ如意棒テ頭ヲ叩カレテ、ヤット死際ニ大悟ヲシタト云フヤウナモノトハ非常ニ其四儀ヲ異ニシテ居ルノアリマス又其夫ヲ戰場ヘ出シ遣り見送ル妻女ハ夫ノ爲メニ髪ヲ斬シテ氏神ニ供ヘ、無事凱旋ヲ祈シタト云フヤウナ事實ハ、隨分ニ新聞紙上其他ニ於テ噴々トシテ聞キ得タ事實デアリマス、此様ナ麗シキ宗教心ヲ何者ノ迂儒カ敢テ神道ヲ宗敎ニアラズト之ヲ疑フノデアル、神道宗教論ヲ外ニシテモ、日露戰役ニ於ケル戰捷ハ實ニ國ノ農民ノ力多キニ居ルト云フコトハ何人モ争ナキ事實アリマス、此農民等ノ克勝ヲ得マシタ所以ハ——大原因ハ實ニ氏神ノ功德多キヲ思ハナケレバナラヌノアル、然ルニ日露戰爭が熄ミ、論功行賞至ラザルナク、諸君ノ中ニモ勳四等ヲ頂戴シタ八モアル、是ハ當然頂戴スルノガ宜シノデアルガ、論功行賞至ラザルナキトキニ方リテ單リ此恩典ハ氏神ニ及バズ却テ今ヤ此災厄ニ遇ウテ居ル、何ゾ其恩ヲ謝シ德ヲ頌スベキシテ、而シテ却テ酷待スルノ太甚シキヤ、吾輩甚ダ疑ナキ能ハヌノアリマス、敬神ノ思想ヲ涵養セントスルニハ、神威ヲ崇高ナラシメナケレバナラナイノアル、然ルニ一行政官ノ意思ノ儘デ神社ヲ興廢シ得ベシトセバ、是レ一行政官ヲシテ、神以上ニ置イタモノアル、神ヲシテ一行政官ニ如カザラシムノデアル、

此ノ如クニシテ神威ヲ失墜セシメ、國民敬神ノ心ヲ失ハシメタナラバ、他日贖ヲ噬ムトモ及び難イ時期ニ來ルコトヲ恐ル、ノデアリマス、今ヤ我邦實ニ東西ノ文物錯綜シテ未タ調和セズ、宗教思想ノ如キ將ニ混沌ノ秋アル、此ノ時ニ一方リ政府ハ敢テ我國固有ノ渾然タル敬神思想ヲ打破セントス、我輩痛憂ニ堪エヌノアリマス、森有禮氏ハ明治閣臣ノ中有爲ノ人物アリタト云フコトハ誰シモ申ストコロデアル、而モ伊勢大廟ニ於テ敬意ヲ失シタル行爲アリトシテ、大憲發布ノ當日終ニ西野某ノ毒刃ノタメニ毙ナレタノデハアリマセヌカ、本員ハ決シテ閣臣ヲ呪フ者アヘナ、決シテ閣臣ヲ呪フ者アヘアリマセケレドモ、此神社合祀ト云フ舉ニ依ツテ帝國ノ神ノ威信ヲ傷ケテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾トセザル得ナイ、觸ラヌ神ニ崇リナシ、敬神ノ思想ノ如キハ誠ニ測ルベカラザルモノガアリマス、電車賃一錢ノタメニスラ燒打事件ガ起ツタデハアリマセヌカ、是ハ江戸ノ子ノ鼻先バカリ強イ人ノヤルコトアル、村落敬神ノ徒ハ斯ル空ヲ騒ギハシナイテ、唯泣イテ居ルハカリアリマス、茲ニ一ツ新聞ニ斯ウ云フ記事ガアル、之ヲ申上ケルト南都雨水ト云フノ人俳句ノ小引ニ「一月七日神社合祀ノ令嚴ニシテ背クベクモアラズ、遂ニ決シテ此夜ヲ期トシ、大字ノ神ヲ、村社ニ送ル一戸二三人送ラザルナク神燈長ク續キテ外觀賑ヤカナリト雖モ人々寂トシテ疊無シ門ノ外辻ノ邊婦女童男庭上ニ跪キテ見送ル惜別ノ情禁シ兼テカ時ニ嗚咽ヲ聞ク」如何デアリマスカ、神社合祀ニ關スル地方人民ノ怨嗟ノ聲ハ到ル處ニアルノデアリマス又本員ハ此神社合祀ハ國民ノ愛國心ヲ損傷スルモノノデアル、即チ之ヲ第二ノ質問ト致シマス我國民敬神ノ心ハ愛國心ト一致イタシテ居ルト云フコトハ唯今申上ニ至大ノ關係ヲ有シテ居リマスル此氏神ヲ鄉里ニ失ヒ、其氏神ノ藩屏タル宮木ヲ研ゲル事例ニ依リマシテ之ヲ知ルコトが出來マス、誠ニ我邦ノ神ハ多クハ我等ノ祖先ニアリマス、我國又ハ我郷里固有ノ神アル、然ルニ今此愛國心ノ一分子タル愛郷心第三ニハ神社合祀ヲ強ユルハ國民ノ慰安ヲ奪フモノナリ、政府ハ何ゾ速ニ此舉ヲ中止セシテ居ル事柄アリマスガ、既ニ前段詳述シマシタノテ此件ハコレデ止メマス若シ此鎮守ノ森ヲ伐毀シテシマタナラ、我等故郷ノ天然ノ景色ヲ保チ、以テ神社佛閣ノ壯嚴、畏敬ノ念ヲ増サシムルト云フコトハ即チ其軌一アリマス、昨年一月刊行ノ「コンテンポラリーレビュー」ニ「エリス民ノ天然景色編アリマシタ、マタ御覽ニナラヌ方ハ御覽送ツテ居ルモノハ實ニ鎮守ノ森アリマセヌカ、我等が故郷ニ歸リマシタキニ一番先キニ我ノ目ヲ迎ヘルモノハ鎮守ノ森アリマセヌカ、本員ノ如ク多年異域ニ流浪致シテ居リマスル者ハ、此故郷ノ天然景色ニ對シマシテ一層感懷ヲ深ク致シテ居ルノデアリマス、而モ今ヤ其森林ノ主人公タル氏神ハ他ニ移サシテ趾ナク、其氏神ノ從者デアルトコロノ森林ハ悉ク研伐サレテ形跡ダモ留メナインデアル、我輩タルモノ豈悄然タラザルヲ得シヤテアリマス、今ヤ公園ノ必要ヲ認メマシテ、或ハ公園ヲ設ケル處モアレバ、又公園ヲ擴張致シテ居ル處モアルノデアル、然ルニモ拘ラズ村落ニ於ケル唯一ノ公園タル鎮守ノ森ヲ研伐シ盡サクト企テ、居ルノデアリマセヌカ、人間ハ苦勞バカリセントテ生キテ居ル者アヘナ、精神ノ慰安ナク、民何ヲ樂シテ耕種漁牧ゼン、富者ガ一年ニ七八日優遊セントメニスラ別荘ダノ施設ダノト云フモノヲ私有シテ居ルノ、勞苦骨ヲ粉ニ致シテ居リマスル小民ハ僅ノ手間ヲ以テ其土著ノ氏神、及鎮守ノ森ニ向テスラ慰安ヲ求ムルコトが出來ナイト云フコトハ、豈又殘酷ノ極ミテアリマセヌカ、

鎮守ノ森ノ天然景色ハ終ニ久シク村人ノミノ慰安ノ料ニ止マルモノデナインデアリマス、軀ヲ都人モ枝ヲ曳イテ之ニ來リ、紅塵ヲ吐イテ清氣ヲ吸ヒ、以テ慰安ヲ求ムルト云ノ日ガ近キニアラウト思ヒマス、御承知ノ通り英吉利ノ倫敦ノ近郊一時間ヲ汽車テ走ラセマシタ處ニ「エッピング」ト云フ森ガアル、此大都ノ近キ處ニ物琳シキ天然林ガ太古ノ儘テ保存セラレテアルト云フコトハ、觀ル者ノ一驚スルトコロデアリマス、是ハ實ニ「アヴェブリー」卿ヲ總裁ニシテ朝野ノ名士ヲ網羅シタ此森林ノ保護會ト云フモノガアツテ、一本ノ落チタル枝モ一本ノ枯レタル幹モ、之ヲ取除クニハ必ズ其會ノ審査ヲ經ナケレバナラスト云フコトニナツテ居ルノデアル、田舎ガ都會ニ移リ行ク有様ハ、過日尾崎君ガ外國人土地所有ノ問題ニ付キマシテ説明セラレタ通りアリサレハ我國ノ都人モ軀テハ此天然景色ヲ鎮守ノ森ニ求ムルニ至ルト云フコトハ必要ノ次第アル、サレド今ノ如ク研伐シ盡セバ後ノ世ニ至リ將タ何レニカ之ヲ求ムルコトが出來マセウカ、サレバ鎮守ノ森ノ研伐ハ單リ村人ノ慰安ヲ奪フモノミニアラズ、國民一般ノ慰安ヲ奪フモノデアル、何ヲ以テ政府が國民ノ慰安ヲ奪フト云フコトヲ行フノデアルカ、而シテノラ中止スベシト云フ本員ノ警告ヲ容レナインデアルカ

第四ハ神社合祀ハ科學、考古學、歴史學ノ参考ノ資料ヲ滅失スルモノナリ、政府ハ何ゾ速ニ此舉ヲ中止セザル、本員ノ選舉區アル近畿地方ノ如キ、日本ノ中デモ最モ早く開ケタル土地ノ神社ノ陵墓ノ上ニ築カレタルモノガ澤山アルノアリマス今神社ノ合祀ヲ輕忽ニ行ヒマス結果ハ、科學、考古學、歴史學ノ好資料ヲ失ヒツ、アルノデアル、和歌山縣ニ於ケル神社ヲ見マスルニ、多クハ太古其地ヲ司シテ居リマシタ貴人ノ塚ノ上ニ建立セラレタ神社が多イノデアル、東京邊ノ如ク僅ニ二三百年前平地ニ勸請シテ來タヤウナ神社デハナイノデアル、而モ其中ニハ所謂陵墓制ナルモノ少ナカラズ、又遺品ヲ伏藏致シテ居ルモノガ澤山アルノデアル、現ニ天智天皇即位七年初メテ蘿見セラレタト云フ銅鐸ノ如キモノモ間々熊野地方ノ古塚ヨリ發見セラル、コトガアルノアリマス、耶蘇教ガ歐羅亜ニ入り弘マル時分ニ、一切ノ古社舊蹟ヲ滅却シテ顧ミナイ、ソレガタメニ今ヤ英吉利獨逸ノ如キハ、自然遺蹟保護獎勵會ト云フモノヲ盛ニシテ、以テ有史以前ノ史蹟ヲ還原保存スルニ昂メテ居ルノアリマス、然ルニ吾々ハ折角立派ナ昔カラノ此史蹟が存在致シテ居ルニモ拘ハラズ、却テ之ヲ破壊シツ、アルノデアル、何ゾ其用意ノ甚ダ異ナレ、今ノ神社合祀ヲ強ニルモノ、中ニハ或ノ基本金ナキモノ、又ハ少ナキモノ、或ハ又社格ナキモノラ以テ神社ノ合祀ヲ行シテ居ルノデアル、即チ此答辯書ニ由緒ノ無イ神社ヲ壞シテ居ルト云フコトヲ言シテ居ル、ケレドモ此神社ノ社格ヲ定ムルト云フコトハ、ドウ云フコトテ神社ノ社格ヲ定メタカ、實ニ凡庸ノ選擇杜撰ノ檢定ヲ以テ此社格ヲ定メタモノデアル、古ケレバ古イ程、古イ書キ物ダトカ、或ハ古イ由緒アル品物ガ兵燹ニ罹ルトカ、或ハ水難ニ罹ルトカ云フ譯テ古イ物、由緒アル書附ハナクナシテ居ルノデアル、故ニ社格ノ選ノ如キハ誠ニ至難ノ業アル近例ハ神田明神ニ見テモ、此神社ノ社格ト云フモノヲ選定スルノハ極メテ困難アルト云フコトガカル、此神田明神ハ太田道灌が房州ノ洲崎神社ヲ勸請シタルモノデアル、命ヲ祀シテ居ルノデアルト、斯ウ云フヤウナコトヲ言シテ居ルノデアル、今ノ神社ノ社格ノ如キモノハ決シテ重キヲ置クコトハ出來ナイ、無格ノ小社必シモノ今ノ官幣大社ニ劣ラザルモノ絶テ無シト断言スルコトハ出來ナイノアリマス、豈容易ク撲滅スルコトが出來マセウカ（論旨甚ダ宣シ、願クハ簡單ナレト呼フ者アリ）今ヤ政府ハ各地方ニ令シテ郷土史ノ編纂ヲナサシメツ、アル、郷土史中氏神ノ事蹟ヲ除イアシマツタナラバ誠ニ落寞ノ感

ガアラウト思フノデアル、政府ハ文書ノ歴史ヲ求ムルニ切ニシテ何ゾ事實ノ活歴ヲ保存スルト云フコトニ緩慢アルノデアルカ、況ヤ此無格ノ神社ノ森林ニハ既ニ世界ニ紹介セレテ居ルトコロノ植物ノアルニモ拘ハラズ、之ヲ研伐シテ科學ノ資料ヲ滅失シ、學者ヲシテ大ニ歎息セシメテ居ル事例ガアルノデアリマス、即チ牟婁郡糸田ノ日吉神社ノ境内ノ樟樹ヨリ、菌學ノ大家南方熊楠氏ガ世界稀有ノ粘菌ヲ採取シテ大英博物館ヘ送ラレタルクメ神社ハ縱令無格アルテモ、學者ノ間ニハ此糸田日吉神社ハ極メテ著名ニナツテ居ルノデアリマス、サレバ學術ヲ尊重スル方面ヨリ考ヘマシテモ、此伐ト云フ厄ニ遭遇シタノアリマス、此樟木ニ靈ガアルナラバ泣クベク人モ亦心アルナラバ哭サナケレバナラスト思ノアリマス、昔三十三間堂ノ棟ニスルト云フテ柳ノ木ヲ伐ツク時分ニ其柳が歎イタト云フコトガアル、ソレガ戲曲ニナツテ大様大隅ノ演技ニ依テ聽衆ヲ泣カシメテ居ツノデアル、此老樟ノ事實ハ熊野ノ地アル、彼ハ狂言綺語ナリ、是ハ事實ナリ、狂言綺語且人ヲ泣カシム若夫レ本員ノ質問ノ主意當局ノ情緒ノ琴線ニ觸ル、コトヲ得バ、豈單リ樟樹ノミノ喜ビハカリテハナインデアリマス、終ニ臨テ「言スベキハ、本員ハ必シモ絕對ニ神社合祀ニ反對スルノデハナイ、神社合祀ノ如キハ天下ノ一大事アル故ニ之ヲ行ハントスルニハ先づ學者専門家ヲシテ慎重ナル調査ヲ爲サシメ、徐ロニ之ヲ行フベシト云フノテ、由緒モ民情モ、學問上ノ一切ノ關係ヲ顧慮シナシイテ恰モ「マホメット」ガ異教國ヲ征服シテ改宗シテ在來ノ祠堂ヲ壞ツカシテ我輩ニ咎めシテ居ル、斯ウ云フコトハ一日モ速ニ廢止セラレシコトヲ望ムノアリマス、我國古來政治ヲ「マツリゴト」ト云シテ居ル、敬神ハ實ニ政治ノ要アル、若夫レ民ノ敬神ノ自由ヲ妨ゲ、敬神ノ思想ヲ損傷スルアラバ爾餘ノ行政如何ニ善美ナルヲ以テモ功罪相償フニ足ラヌノアリマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 宜シウゴザイマス、電氣事業ニ關スル質問、大橋賴摸君

（大橋賴摸君登壇）

○大橋賴摸君 本員ハ電氣事業ニ關スルコトニ付テ七箇ノ條目ヲ舉ゲマシテ、政府三問ハントスルノアリマス、併シ其事柄ハ極メテ簡単ニ、極メテ簡明ナルコトデアリマスガ、聊其質問ノ條項ノ要旨ダケフ、其質問ノ要旨ダケフ茲ニ述ヘタメテ第一ハ電氣事業者ニ於テ主務大臣ノ指定セル期限内ニ或ル一部ノ事業ヲ開始スルモ、全部ノ事業ニ著手セザルトキ、又ハ豫定ノ事業ヲ爲スコトヲ得ザルモノト認ムルトキハ其許可ヲ取消スベキ乎、斯ウ云ノハ、近頃電氣ノ事業ハ益々發展ヲ各所ニ其出願ヲサレテ居ル、又之ニ從事スルモノモ競ウテ此敷設ヲ競爭シテゴザル、然レドモ其許可ハ得タケレドモ、容易ニ此電燈ノ事業ニ著手シナインテ、著手セザルノミナラズ許可ヲ得テ居ナイ、一年若クハ二年ニナツテモダ其事業ト云フモノヲ更ニ致サヌノデ、然ルニ後ニ又之ニ優ツタル出願者ガ來テモ、一度其許可ノ範囲ヲ得テ居ルト後ノ電氣事業者ハ之ニ著手スルコトガ出來ヌ、ソコデ競ウテ此敷設ヲ競爭シテゴザル、然レドモ其許可ハ得タケレドモ、容易ニ此電燈ノ事業ニ著手シナインテ、著手セザルノミナラズ許可ヲ得テ居ナイ、一年若クハ二年ニナツテモアル、所謂權利ダケラ占有シテ、是ミダケハ自分ノ領地アルト云フ旗ハ立て居ルケドモ、實際ニ其仕事ヲセスガタメニ地方ノ人民ハ非常ニ不便ヲ感スルノミナラズ、需用者ハ困難ヲ致シテ居ルノデアル、故ニ斯様な場合ニアツテ申譯的ニ一部ノ仕事ヲシテ居テ、全部ニ著手シナイン場合ニハ勿論、之ヲ中止スル、又之ヲ取消シテシマウノデアルカドウアルカ、今日ノヤウテアツテハ唯或山師ノ權利ヲ得ルガタメニ、此敷設権ヲ取シテ之ニ

著手シナイノデアルカラ、斯様ナ場合ニハ相當ナル事業家ガアッタナラバ、ドシノク之ニ  
許スコトニシタラ宜カラウト思フ、是ガ第一ノ質問デアリマス、ソレカラ第一ハ電氣ノ光燭  
ハ一定スベキコト勿論デアル、然ルニ實際ニ於テハ各電燈會社ニ依リ、其光燭ヲ異ニシテ  
居ルノデアルガ、政府ハ何故ニ之ヲ勵行セザル乎、斯ウ云フノデ電燈ノ光燭ハ五燭、十  
燭、十六燭、二十何燭、是ハ何レノ地モ同様デアル譯デアル、何所テモ一尺ノ尺金ハ  
東京デモ田舎デモ尺金ニ相違ノアル筈ガナイ、然ルニ此電燈光力ハ是ハ十燭ナリト云  
テモ、僅ニ五燭位シカナイ、十六燭ト稱ヘテモ十燭ノ光力シカナイノデアル、シテ見ルト  
何故サウ云フモノアルカト云フト、一體二千燈ナラ二千燈ノ力ノナイモノガ、ソレニ二  
千五百燈トカ三千燈マテ利益ヲ得ルガタメニ會社ガ應ズルノデアルカラ、其光燭ガ  
薄クシテ甚シキハ「ランプ」ノ光ヨリ劣シテ居ルモノガアリマス、諸君、私ハ何ガ故ニ斯ウ  
云フコトハ一定スベキモノアルノニ一定シナイノデアルカラ、諸君、人ノ物ヲ盜ムモノハ之  
ヲ竊盜罪ト申ス、人ヲ欺イテ詐欺ヲ致シタナラバ、是ハ詐欺取財デザル、然ルニ電燈  
會社自ラガ光燭ヲ盜ミ、需用者カラ料金ヲ十六燭ナリトシテ取シテ、事實ハ十燭ノ價ノ  
スルダケノモノヲ與ヘテ居ル、シテ見ルト詐欺取財、竊盜罪ハ刑法ノ罪人デアル、電燈會  
社ハ竊盜兼詐欺取財ノ免許ヲサレテ居ル、是ハ何故ニ此ノ如キハ厲行シナイノデゴザ  
イマセウカ、一體竊盜ト云フコトヲナスハ闇黒デヤルモノアルガ、電氣會社ナルモノハ煌々  
タル白晝ヲ欺ク中ニ其詐欺取財兼竊盜ヲ致シテ居ルト云フコトハ、實ニ大膽不敵、  
不埒千萬デアルト私ハ思フ、第三ニハ電燈會社ハ電氣事業ノ獨占ヲ奇貨トシ電燈料  
ヲ高價ニ規定スルノ傾向アリ、政府ハ電燈會社が一割以上ノ配當ヲ爲スモノニ對シ、料  
金ヲ制限スルノ意思ナキ乎斯ウ云フノテ、是モ讀ンデ字ノ如ク明瞭デゴザイマスガ、近頃  
各電燈會社ノ配當率ヲ見マスルト電燈ハ一割以上若クハ一割五分ノ配當ヲシテ居ル  
ナリナガラ、表面ノ上ニ於テハ何タ積立金アルトカ、特別配當トカ云フ表面ハ指ヘテ  
アルガ、優ニ一割以上ノ配當ヲシテ居ルモノガアル、一體電氣ナルモノハ「ランプ」ノ代リニ  
スルモノナラバ、或ル石油ノ程度マデハ是ハ下ゲナケレバナラヌ、然ルニ自己ノ獨占ヲ主ト  
シテ會社が暴利ヲ貪リテ、一割以上ノ配當ヲシテ居ルノデアル、今日他ノ銀行會社若ク  
ハ公債證書ヲ得テ居ルモノデモ、五朱若クハ六朱ノ配當ヲレバ澤山デアルガ、此電  
燈會社ニ付テハ現ニ此會社内容ヲ調ヘテ見ルト其會社ノ配當ヲシテ居ルトコロヲ  
見レバ、優ニ一割以上ノ配當ヲシテ居ルモノガアルト思フ、斯様ナルモノニ獨占ヲ許シテ  
中流以下ノ電燈需用者ヲシテ高價ヲ拂ハシテ爲スト云フ、事柄ハ元々之ヲ獨占セシムル  
趣意ニ於テモ背戾シテ居ルト思フ、故ニ斯様ナ一割以上ヲ配當ヲシテ居ル電燈會社ニハ  
相當ニ之ヲ六朱ナリ四朱ナリニ引下グテ、ソレタケノモノハ電燈ヲ廉ク使用セサルト云フ  
方法ヲ取ラナケレバ私ハ本當デナイト考ヘル、是ハ政府ハ斯様ニ制限スルノ意思ハナイ  
カ、斯ウ云フ意味デゴサイマス、第四ニハ電氣事業ヲ出願スルニ際シ、河川中ニ電柱等  
ヲ建設スルトキハ治水上ニ關係スルコト少ナカラズ、政府ハ此場合ニ於テ治水當局ノ意  
見ヲ徵シ、之ヲ許可スル乎電燈ヲ出願スルニ付、河ノ中ヘ電柱若クハ鐵塔ヲ建設ス  
ル、僅カ一本ノ柱デアル一本ノ鐵塔デアレドモ、是ハ治水上カラスルト非常ナ關係ヲ持ツ  
モノノアル、例ヘバ河ノ中ニ左様ナモノヲ立て、其鐵塔電柱が轉覆シタル場合ニハ是ハ  
流材が掛ル、流材が掛けタ時、分ニハ必ズソレガ水勢ヲ激セシメテ、土砂ヲ堆積セシメ  
見ヲ徵シ、之ヲ許可スル乎電燈ヲ出願スルニ付、斯様ナルモノニ獨占ヲ許シテ居ル  
内務省ノ意見ヲ徵サムト、一方ニ於テ折角治水ヲ叫シテ政府ガ多大ノ金ヲ徵シテ  
改修工事ヲ施行シ、アルニ拘ラズ、一方ニ唯自分ノ電氣事業ヲ本位トシテ、河ノ中  
ニ電柱ヲ立て、鐵塔ヲ立て、其結果、治水上少カラズ結果ヲ及ボス、平水ニ於テ一本  
ノ柱ハ害ナキニ似タリ雖モ、洪水ノ際ニ當ツテ是が轉覆スルト漸々ニ其前ヲ横断シテ、ソ  
レニ以テ往々流材等が掛リマスルト、其結果ハ堤防ヲ潰缺スルコトモアリ、人命ニ關係

スルコトガアルカラ、斯ル場合ニ於テハ須ラク内務省ノ意見ヲ問ヒ、此構造費其設計等  
ニ至ルマテ治水上ニ差支ナク、治水上ニ支障ナキ點ニ至ラシムルノデアルカラ、此點ニ付テ  
政府ノ所見ハ如何デアルカト云フノデアリマス、第五ハ電氣事業ハ市町村法人團體ニ  
於テ經營スルトキハ、政府ハ之ヲ許可スルノ方針ナル乎、是ハ取りモ直サズ近頃ハ大分  
地方テ電氣事業ヲ町營又ハ市營、斯ウ云フ目的ヲ以テ出願スルモノガアリマスガ、内務  
當局者ハ之ヲ市町村營トシテ許可スルノ方針ヲ執シテ居ルノデアルカラ、承レバ前内閣ノ  
アリマスガ、是等ノモノニ向シテハ政府ハドシく之ヲ許可スル方針ヲ執ラル、ヤ否ヤ、是  
マスガ、是ガ市營町營トナシタキハ需用者ニ於テハ、高キ所ノ料金ヲ拂ヒ、無益ナル干  
涉ヲ受ケ、大ニ迷惑スルコトモアルノデアルガ、市町村ハ表面公共團體ノ公利公益ヲ名ト  
シテ、其實ハ市町村ノ財産ヲ増殖スルガタメニ、市營ナドト云フコトヲ持出シテ來ルノデ  
アリマスガ、是等ノモノニ向シテハ政府ハドシく之ヲ許可スル方針ヲ執ラル、ヤ否ヤ、是  
ガ第五デアリマス、第六ハ電氣事業ヲ既ニ市町村營ニ許可セシトキハ他ヨリ同一ノ事  
業ヲ出願シテモ、一方ニ町營ナリ若クハ市營ヲ許可シタラバ、絕對ニ之ヲ許サナイノデア  
リカ否ヤ、第七ハ電氣事業ヲ市町村營若ハ或ル會社ニ獨占セシムルトキハ、電燈料ヲ貪  
ルノ弊害ナシトセズ、市街又ハ町村部落ニ於テ相當ノ點燈戸數ヲ有シテ居ル場合ニハ  
斯ウ受ケ、大ニ迷惑スルコトモアルノデアルガ、要スルニ第七ノ問ハントスルトコロノモノハ、市營ナリ市營ナリハ横暴ヲ逞  
シテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ケレドモ、或ル程度マテハ競爭ト云フコトハ、需用者ニ取シテ甚ダ必要ナコトデアル、然ル  
ニ至一戸以上アツテ、相當ノ點燈者ガアル時分ニハ、他ニ之ヲ許可スルカ否ヤ、  
ルノ弊害ナシトセズ、市街又ハ町村部落ニ於テ相当ノ點燈戸數ヲ有シテ居ル場合ニハ  
斯ウ云フノデアリマス、之ヲ若シ許可セントシタナラバ、益々町營ナリ市營ナリハ横暴ヲ逞  
シテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ケレドモ、或ル程度マテハ競爭ト云フコトハ、需用者ニ取シテ甚ダ必要ナコトデアル、然ル  
ニ之ヲ市營トシ、又或ル會社ガ之ヲ壟斷致シタルトキハ、需用者ノ迷惑ハ少ナカラヌコト  
デアリマス、元來此電燈ノ事業ハ或ハ點燈ニシロ、又電燈ヲ使用スルトコロノ動力ニシ  
テアリ若クハ或ル會社が其電氣事業ヲ獨占シテ居ラクガ、例ヘバ戸數が五千戸以上ア  
ル、乃至一万戸以上アツテ、相當ノ點燈者ガアル時分ニハ、他ニ之ヲ許可スルカ否ヤ、  
ルノ弊害ナシトセズ、市街又ハ町村部落ニ於テ相当ノ點燈戸數ヲ有シテ居ル場合ニハ  
斯ウ云フノデアリマス、之ヲ若シ許可セントシタナラバ、益々町營ナリ市營ナリハ横暴ヲ逞  
シテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ケレドモ、或ル程度マテハ競爭ト云フコトハ、需用者ニ取シテ甚ダ必要ナコトデアル、然ル  
ニ之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、宿  
ガ、之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、カリ點ケテ居ル  
ウシテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ガ多ノノデアル、ソレ故ニ此町テアルトカ、市テアルトカ、市テアルトカ、  
ニ之ヲ市營トシ、又或ル會社ガ之ヲ壟斷致シタルトキハ、需用者ノ迷惑ハ少ナカラヌコト  
デアリマス、元來此電燈ノ事業ハ或ハ點燈ニシロ、又電燈ヲ使用スルトコロノ動力ニシ  
テアリ若クハ或ル會社が其電氣事業ヲ獨占シテ居ラクガ、例ヘバ戸數が五千戸以上ア  
ル、乃至一万戸以上アツテ、相當ノ點燈者ガアル時分ニハ、他ニ之ヲ許可スルカ否ヤ、  
ルノ弊害ナシトセズ、市街又ハ町村部落ニ於テ相当ノ點燈戸數ヲ有シテ居ル場合ニハ  
斯ウ云フノデアリマス、之ヲ若シ許可セントシタナラバ、益々町營ナリ市營ナリハ横暴ヲ逞  
シテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ケレドモ、或ル程度マテハ競爭ト云フコトハ、需用者ニ取シテ甚ダ必要ナコトデアル、然ル  
ニ之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、宿  
ガ、之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、カリ點ケテ居ルノニ、  
モ一月モアルカラ電燈料ヲ拂シテ居ラヌ、斯様ナル中流以下ノ需用者ガ點ケテ居ルノニ、  
ロ、如何ナル人、如何ナル部分ニ多イカト云ヘバ、何レモ此點燈スルモノハ中流以下ノ人  
ガ多ノノデアル、ソレ故ニ此町テアルトカ、市テアルトカ、市テアルトカ、  
ニ之ヲ市營トシ、又或ル會社ガ之ヲ壟斷致シタルトキハ、需用者ノ迷惑ハ少ナカラヌコト  
デアリマス、元來此電燈ノ事業ハ或ハ點燈ニシロ、又電燈ヲ使用スルトコロノ動力ニシ  
テアリ若クハ或ル會社が其電氣事業ヲ獨占シテ居ラクガ、例ヘバ戸數が五千戸以上ア  
ル、乃至一万戸以上アツテ、相當ノ點燈者ガアル時分ニハ、他ニ之ヲ許可スルカ否ヤ、  
ルノ弊害ナシトセズ、市街又ハ町村部落ニ於テ相当ノ點燈戸數ヲ有シテ居ル場合ニハ  
斯ウ云フノデアリマス、之ヲ若シ許可セントシタナラバ、益々町營ナリ市營ナリハ横暴ヲ逞  
シテ、電燈料ヲ貪ルノ弊害ガアルカラ、斯様ナ場合ニハ總テ競爭モ極端ニ達シテハナラヌ  
ケレドモ、或ル程度マテハ競爭ト云フコトハ、需用者ニ取シテ甚ダ必要ナコトデアル、然ル  
ニ之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、宿  
ガ、之ヲ市營ニスル、町營ニスル、町營ニスル時、ケテ居ルモノハ、カリ點ケテ居ルノニ、  
モ一月モアルカラ電燈料ヲ拂シテ居ラヌ、斯様ナル中流以下ノ需用者ガ點ケテ居ルノニ、  
ラガ錢ヲ出シテサウ云フコトヲセバナラヌノニ、此中流以下ノ膏血ヲ絞タル電燈料ヲ  
多額ノ電燈料ヲ取シテサウシテ自分ガソレヲ獨占ナルヲ奇貨トシテ、益々中流以下ノ膏  
血ヲ絞シテ、ソレデ以テ曰ク、道路ノ改良ヲ致ス、曰ク、溝渠ノ改良ヲ致ス、口ニハ教育  
ノ必要ヲ唱へ、衛生ノ必要ヲ唱ヘルケレドモ、一體町ナリ市ナリト云フモノハ、富豪家自  
ノ必要ヲ唱へ、衛生ノ必要ヲ唱ヘルケレドモ、一體町ナリ市ナリト云フモノハ、富豪家自  
ノモノナラバ、一方ノ會社が四十錢ナリ二十五錢アルトスレバ、需用者ハ廉イモノヲ點  
取シテ、ソレデ以テ溝渠ノ改良ヲスルトカ、教育衛生——名ハ美ナルケレドモ、此ノ如  
ケルコトが出來ル、然ルニ之ヲ絶對ニ市營ナリ若クハ會社が經營シテ居ル以上  
ハ、他ニ之ヲストスルト、實ニ此文明ノ利器タル電燈業ハ富豪ノ者ガ之ヲ獨占スルト同  
時ニ、中流以下ノ需用者ハ益々困難スル次第アリマスカラ、政府ハ是等ノモノニ對シ  
テハ絶對的許サナイ方針アルカラ、許スノテアルカラ、我ミノ希望スルトコロハ五千戸若ク  
ハ一万戸以上ノ市街若クハ相當ノ部落ニ於テ點燈戸數ヲ有シタナラバ、之ヲ許可シテ

差支ナイガ、若モ今日執ラレルヤウナ方針デアレバ、中流以下ノ者ハ實ニ嘆ハシイ次第アル思ヒマスカラ、以上七項目ヲ見ケテ政府ノ所見ヲ問ハントスル次第アル

〔政府委員小松謙次郎君登壇〕

○政府委員(小松謙次郎君) 唯今大橋頼摸君カラ電氣事業ニ關スル數項ノ御質問ガアリマシタ、本來遞信大臣が答辯ヲサレル筈デアリマスガ、本日ハ齒痛ノタメ引籠ッテ療養シテ居ラレマスカラ、私カラ御答辯申上ケマス、此第一ノ御質問ハ電氣事業者ニ於テ主務大臣ノ指定セル期間内ニ或ル一部ノ事業ニハ著手シタガ、他ノ全部ノ事業ニ著手セズ、又ハ豫定ノ事業ヲ爲スコトノ出來ナイヤウナ場合ニ在テハ、其許可ヲ取消セヤ否ヤト云フ御質問デアリマス、是ハ斯様な場合ガ時々起リマス爲メニ政府ニ於テモ斯様ナル場合ニ處スル爲メニ、電氣事業ノ施行細則中ニ其箇條ヲ設ケテ置キマシタ、即チ電氣事業法施行細則ノ第七十一條ニ丁度此場合ニ相當スルヤウナ規定ガアリマス、ソレハ「電氣供給事業者ガ供給區域内ノ一部分ニ於ケル事業ヲ開始シタル後久シキニ瓦リ其殘餘部分ニ對シ正當ノ理由ナクシテ電線路其他供給上必要ナル設備ヲ爲ササルトキハ遞信大臣ハ許可ノ一部ヲ取消スコトアルヘシ」斯様ニ規定シテ居リマス次第デアリマス、ソレデ斯様ナ場合ニハ常ニ直ニ此許可ヲ取消スカ、ドウカト云フ點「ナリマス、ソレハ「電氣供給事業者ガ供給區域内ノ一部分ニ於ケル事業ヲ開始シタル後久シキニ瓦リ其殘餘部分ニ對シ正當ノ理由ナクシテ電線路其他供給上必要ナル設備ヲ爲ササルトキハ遞信大臣ハ許可ノ一部ヲ取消スコトアルヘシ」斯様ニ規定シテ居リマス次第ト、其地方ニ於ケル全般ノ狀況ヲ調查致シマシテ電線路其他供給上必要ナル設備ヲ爲ト考ヘマスレバ、取消ラ致シマス、併ナガラ又其工事ヲ爲スコトノ出來ナイ理由ガ十分疏明サレマシテ、サウシテ之ヲ督勵シテヤラセル方が宜シトイト見マス場合ニハ、督勵ヲシテ其事業ヲ完成セシムルコトニ務メマス、次第ニアリマス、故ニ斯様ナ場合ハ兩方ニアリマス、督勵シテヤラセマシタコトモアリマス、又其許可ヲ取消シテ他ノ者ニ許可ヲ致シタ例モアリマス、第一ニ電氣ノ燭光ニ付テノ御質問デアリマス、是モ電氣ノ燭光ハ需用者ト供給者ノ間ノ契約、單位ニ關スル問題デアリマスガタメニ、之ニ付テモヤハリ電氣事業取締規則中ニ其事柄ヲ規定致シテ置キマシタ、即チ第五十一條、第五十三條及第五十四條ニアリマス、第五十二條ハ電氣ノ燭光ノ定義ヲ下シマシタ、ソレカラ第五十四條ニハ電燈供給ニ使用スル電球ノコトヲ規定致シマシタ、ソレカラ第五十四條ニハ此電球ガ表示セラレタル光力ヨリハ百分ノ八十二減シマシタ場合ニハ電球ノ取換ヲ要求スルコトヲ規定致シテゴザイマス、近年此電氣事業取締ノ結果トシテ、電燈ノコトハ餘程改良セラレモノト認メテ居リマス、併ナガラ處ニ依リマシテ隨分電力ノ不足ノタメニ電燈ノ光ノ十分ナラサルモノガ無イデモナインデアリマス、是等ハ監査ノ結果、改修ヲ命ジ、或ハ其他ノ設備ヲ改良スルコトヲ常ニ命ズルコトヲ怠ラヌノアリマス、又已ニ五十四條ニ規定セラレタルガ如ク需用者ニ於テ自ラ監督スルコトモ出來ル規定モアリマスカラ、電球ノ光ノ不足ナルモノ、如キハ會社ニ要求シテ之ヲ取換セセルコトが出來ルコト、考ヘ居リマス、ソレカラ第二ニハ電燈會社ノ配當ヲ制限スル意思ガ無イカト云フ御尋ニアリマス、即チ一割以上ノ配當ヲ爲サンメザルコトニシテハドウカト云フ御尋ニアリマス、是ハ此電氣供給ノ料金ニ付テハ其會社ノ沿革、資本、經濟ノ關係、規模ノ大小、其供給地ノ狀況等ニ依ダ定マルモノニアリマシテ、一概ニ此配當率ヲ以テ制限ラスルト云フコトハ却テ不利益アルト考ヘテ居リマス、若シ或ル會社ナリ何ナリガ其地方ニ在テ不當ノ利益ヲ貪シテ、サウシテ十分ナル便益ヲ公衆ニ與ヘヌ場合ニ在リマシテハ、之ニ對シテ又相當ノ方法ガ無イテハナイノアリマス、免ニ角配當ヲ制限スルト云フコトハ政府ハ致サ考ニアリマス、次ニ第四ニハ電氣事業ノ出願者ニ於テ河川中ニ電柱等ヲ立テル場合ニ在テハ治水ニ關係アル官署ノ意見ヲ徵スルヤ否ヤト云フ御尋ニアリマス、是ハ電氣事業法、第九條ニ此事ハ規定シテアリマス、即チ河川橋梁等公用ニ供セラレタ土地ヲ使⽤スル場合ニハ其管理者ニ承認ヲ經ルコトニナツテ居リマス、其第九條ヲ承ケマシテ電氣

事業法施行ノ際ニ昨年即チ明治四十四年ノ九月ニ一ノ省令ヲ發シテ居リマス、ソレハ此管理者ノ承認ヲ求メマス手續アリマス、即チ遞信省令第二十九號ニ其事ハ規定シテアリマス、此省令ナリ法律ナリノ規定ニ依リマシテ治水當局者ノ承諾ヲ經ルコトニナツテ居リマス、又其承諾ヲ經ルコトが出來ヌ場合ニ在テハ、内務、遞信兩大臣ニ是ガ審査ヲ要求スル手續モ規定シテアリマス、第五ノ御尋ハ市町村法人團體等ニ電氣事業ノ許可ヲ許ス方針アルカドウアルカト云フ御尋ニアリマス、是ハ成ベク市町村法人團體等ニ於テ經營ヲ致ス場合ニハ之ヲ保護シテ、サウシテ之ヲ行ハシタイト云フコトハ政府ノ考ニアリマス、已ニ許シマシタ例モ大分アリマス、又電氣事業ヲ許可スル命令書中ニモスカト云フ問題ニナリマスト、常ニ必ズ之ヲ許スコト云フコトハ明言ハ出スカ、是ハ唯今申述ベマシタ如クニ成ベク市町村營ハ獎勵シタイ考テ居ルノアリマス、ソレデアリマスカラ已ニ市町村營ニ許シタル以上、再ヒ他ノ出願ニ許スコト云フコトハ成ベク已ニ其理由ヲ以テ許サレナカズ場合モ今マテノ中ニアルノアリマス、第六ハ電氣事業ヲ市町村營ニ許可シタキニハ他ヨリ出願ガアシテモ、之ヲ許可セヌカト云フ御尋ニアリマスカ、是ハ唯今申述ベマシタ如クニ成ベク市町村營ハ獎勵シタイ考テ居ルノアリマス、ソレデアリマスカラ已ニ市町村營ニ許シタル以上、再ヒ他ノ出願ニ許スコト云フコトハ成ベクシタクナイト云フ考ニアリマス、併ナガラ絕對ニ許サスカト申シマスレバ、ソレハ隨分時ト場合ニ依リマシテハ必ズ許サメト申ス譯ニハ參ラスト考ヘマス、大體ハ許サヌコトヲ以テ方針トシテ居リマス、ソレカラ第七ハ市街又ハ町村部落ニ於テ相當ノ點燈石數ヲ有スル場合ニハ、二箇以上ノ電氣事業ヲ許スカト云フ御尋ニアリマス、是ハ一概ニ戸敷其他ノ標準ヲ以テ茲ニ許スコト云フコトヲ明言スルコトハ出來ナイノアリマス、併ナガラ是マテ同一ノ市等ニ於キマシテ一箇以上ノ電氣事業ヲ許シタ場合ハ隨分澤山アルノアリマス、要スルニ其地方ニ於ケル需用供給ノ狀態ヲ考ヘテ、サウシテ適當ニ其場合々々ノ事情ヲ斟酌シテ裁定ヲ致ス外ハナイト考ヘテ居リマス、御質問ノ點ニ付キマシテハ是ケテ宣シト考ヘマス

○大橋頼摸君 尚簡單ニ質問致シマス、唯今ノ第一ニ對スル御答ハ規則ノ五十三條五十四條ニソレく規定シテアルト申スケレドモ、規則ニ書イテアツテモ之ヲ厲行シナケレバ所謂徒法、徒文アル、現在ニ於テ此電燈ノ光燭が各地方區々ニナツテ居ルト云フコトハ政府ハ御認メニナツテ居ルカ、之ヲ御認メニナツテ居レバ、何が故ニ之ヲ厲行シナインデアルカ、要スルニ本員ノ質問ハ是が厲行ヲ希望スルノアリマス、現ニ會社ニソレダケノ動力ガナクシテ之ヲ許スカラ實際十六燭ナル光燭が十燭ニモ及バナイト云フコトハ之ヲ地方ノ實況ニ徴スレバ分ノアレ、ソレガ電球ガドウトカ、規則ガドウトカ縦シテ居ルモノト同一ナノアリマス、是ハ自分ガ言フマテモナク地方ノ電燈會社ノ光燭ヲ比較シテ見レバ、十分分ルノアリケレバ、マサカニ遞信省ガ之ヲ廉イノアリケレドモ、假ニ光燭ノ價ハ五十錢アルト云フト、比較的唯料金ノ上カラ廉イノアリケレドモ、假ニ五十錢アルテモ、其光燭ガ五燭ノ用ヲナサナケレバ、ソレニ對シテ五十錢ノ料金ヲ拂ッテ居ルモノト同一ナノアリマス、是ハ自分ガ言フマテモナク地方ノ電燈會社ノ光燭ヲ比較シテ見レバ、十分分ルノアリケレバ、マサカニ遞信省ガ之ヲ廉イノアリケレドモ、假ニカラウト思フノ、何故ニ之ヲ厲行シナインデアルカ、知ツテ之ヲ厲行シナケレバ、ヤハリ政府モ亦竊盜、詐欺ヲ獎勵シテ居ルト同様アル思フノアリ、第三ニ付テチヨット質問シタインデアル、第三ニ會社ガ一割以上ノ配當ヲスルノハ資本ガドウアルトカ、或ハ其規模ガドウアルカト云フコトノ御話ガアリマシタが、自分ノ問ハント欲スルトコロハ會社ノ資本金ノ多寡ヲ問ウタノアリ、規模ノ大小ヲ問ウタノアリ、種々ナル名義ノ下ニ其獨占ヲ奇貨トシテ、會社自ラガ暴利ヲ貪リ、一割以上ノ配當ヲスルシテ居レバ配當

ニ制限ヲ付ケナケレバナラヌ、電燈料ノ十光燭が八十錢ナラバ、八十錢ハ高イカラクヲ六十五錢ニセヨ、或ハ五十錢ニ引下ケロ、斯ウ云フコトノ命令ハ出來ナイモノデアルカ、既ニ其許可ヲ受ケテ居レバ會社ガ之ヲ取り放題取リマシテ、所謂需用者ト云フモノハ取ラレ放題取ラレルト云フコトニナルカラ、斯ウ云フコトハ詰リ一方ノ電燈料ニソレダケノ制限ヲ加ヘレバ、會社ノ配當額ハ六朱若クハ七朱ノ配當額ガアツタナラバ、是ハ結構ナル、若シソレガイカナイト云フナラバ、他ノ會社ヲ御許シニナレバ、他ノ會社ハ續々出來ルノデアル、サウ云フ場合デモ默許シテ會社が電燈料ヲ極メタ以上ハ取り放題幾ラデモ取シテ宜シト、斯ウ云フノデアルカ、ソレカラモウ一ツ最後ニ御尋ラシタノハ、第七ノ問題ノ市町村營ニシテ許可シタキニハ必ズ許可ヲスルト云フコトノ明言ハ出來ヌト申サレルガ、現ニ戸敷ガ一万戸以上乃至五六千戸、唯其町營ナリ市營ノミテ之ヲ獨占シテ、唯今申ス如ク不當ノ電燈料ヲ定メテ之ヲ取ルトキニハ、其需用者ハ非常ナ迷惑ヲスルノデアルカラ、斯様な場合ニ於テハ無論ニ一箇以上アツモ雙方ノ營業ハ立ツノデアル、唯市町村ガ自己ノ經營ヲ主トシテ電燈料ヲ貪ルト云ウテハ語弊ガアルガ、事實ソレハ市町村ノ負擔ヲ輕カラシメルト云フ趣意ニ於テ市町村ハ電燈料ヲ高價ニ規定シテ居ルノデアル故ニ、其モニ向ツテ一方ニ會社ヲ御許シニナレバ、自然是等ノ制裁ガ出來ルガ、其獨占ヲ奇貨ト致シマシテ之ヲ許サナイ場合ニハ、市營若クハ町營トナツタルコロノ人民ハイ電燈料ヲ拂ツテ非常ニ迷惑デアルケレドモ、政府ハ之ヲ認メラレルカ、然ラザルカト云フコトヲ御問申シタ、ニアル

(政府委員小松謙次郎君登壇)

○政府委員(小松謙次郎君) 唯今再び御尋不ニナリマシタコトニ付キマシテハ先程既ニ答辯ヲ致シタヤウニ心得テ居リマス、即チ燭光ノ問題ニ付テハ、其電力ノ不足ナルモノニ對シテハ監査ヲ怠ラヌヤウニ命ジテ居リマス次第ゴザイマス、ソレカラ又電球ノ關係ニ付テハ先程申述ベマシタ通りアリマス、ソレカラ一割以上ノ配當ヲナスモノニ對シテ之ヲ制限スルト云フコトハ政府ハ致サヌト云フ考テアリマス、ソレカラ第七問ニ付キマシテモ一定ノ戸數其他ノ關係ヲ標準トシテ、サウシテ一箇以上必ズ許スト云フコトハ明言スル譯ニハ參ラヌ、其場合々々ノ狀況ニ依リマシテ、是が取捨ヲ決スル次第アリマス

○議長(大岡育造君) 物價騰貴ニ關スル質問、早速整爾君

### (早速整爾君登壇)

○早速整爾君 諸君、私ハ先キニ提出致シ置キマシタル物價騰貴ニ關スル質問ニ付テ聊其理由ヲ陳述致シタ、伊豆思ヒマス、過日本會ニ於テ米價騰貴ニ關スル質問ヲ提出セラレタルニ對シマシテ、農商務大臣ハ誠ニ責切ヌ答辯ヲ與ヘラレタノデアリマス、本會並ニ豫算委員會等ニ於ケル大藏大臣ノ御意見ノ如キモ、頗る曖昧ニシテ其要領ヲ得ザルモ亦甚シキモノデアル、去月十二日豫算本會議ノ當時、本員が物價騰貴ニ關スル質問ヲ致シマシタルニ對シテ、藏大臣ハ斯様三答ヘラレテ居ル「今日物價が騰貴スルガ、是は又意外千萬ナル御答ナノデアル、此大藏大臣ノ意見ニ依リマシタガ、是ハ又意外ナ御尋デアリシテ、此商賣上ノ物價ノ高低ナルモノハ自然ニ來ルモノデアリマシテ、唯之ヲ徒ニ大藏大臣或ハ政府ノ役人ト云フモノガ之ヲ爲テ彼此スルト云フコトハ考ベキモノデアリマス、是ハ又意外千萬ナル御答ナノデアル、此大藏大臣ノ意見ニ依リマシタガ、是ハ又意外ナ御尋デアリシテ、此商賣上ノ物價ノ高低ナルモノハ自然ニ來ルモノデアリマシテ、誠ニ驚入ルヨリ外ナイト私ハ思フ、抑我國近時ニ於ケル物價ノ騰貴ハ誠ニ著シキ勢ヲ以テ進シテ參リマシテ、十年間ニ於テ平均四割ノ騰貴ヲ示シテ居、日用ノ消費品ハ二割八歩餘ノ騰貴、其他ノ重要輸出品ハ一割八歩ノ騰貴、重要輸入品ハ三割二步餘ノ騰貴ニ相成シテ居ル、特ニ食料品ノ如キハ此最近十年ノ間

ニ於テ二倍若クハ三倍ノ騰貴ヲ示シテ居ルモノモアル、砂糖ノ二十一割ヤ食鹽ノ二十割ナドト云フモノハ、普ク一般ニ知ラレテ居ル、騰貴ノ程度ノモノデアリマス、是ハ實ニ世界無類ノ大騰貴ノ仕方デアル、英國ヤ、獨逸ヤ、亞米利加ニ於テモ、何レモ物價ノ騰貴ニ苦メラレテ居ルノハ事實デゴザイマスガ、最近十年間ノ平均ヲ申シマスレバ、約一割乃至一割七歩ノ騰貴ニ過ギナ、我國ノ物價ハ平均四割ノ騰貴ヲ示シテ居ルト云フ比例ニ對シテハ、殆ド足下ニモ寄付コトが出來ナイノテアル、而シテ我國ノ現在ノ食料品ノ價ノ如キハ絕對ニ歐米諸國ノ食料品ヨリモ高イト云フ實況ヲ示シテ居ルノデアリマス、マスガ、近頃物價ハ非常ニ騰貴致シマシタメニ、第一ニ國民ノ生活ト云フモノが非常ニ困難ヲ來シ、從ツテ生産發達ノ能力ヲ減殺シ、國民經濟ノ上ニハ幾多ノ不利益ナル影響ヲ及ボシツ、アルノガ、今日ノ事實デアリマス、生計ノ困難ナルガタメニハ犯罪人モ増加スル、病人モ增加スル、高等遊民ノ數モ多クナル、實ニ大ナル社會問題デゴザイマシテ、寧ロ人道ニ關スル重大ナル問題デアルト本員ハ考ヘテ居ル、而シテ此物價騰貴ノダメニハ生産費ノ增加ト云フコトハ固ヨリ免カルベカラザル結果デゴザイマス、所謂我經濟社會ノ特徵ト云フモノハ、根柢ヨリ破壊セラレテ、產業上由々シキ惡影響ヲ及ボスコトハ免レザル今日ノ狀態デアル、而シテ又我財政上ニ於テモ是カタメニハ歲出ノ增加ト云フコトモ免レナイ、物價騰貴ノタメニハ財政モ極メテ大ナル煩ヒヲ受ケシ、アルノデアル、本員ハ一々茲ニ其事實ヲ陳述致シマスル暇ヲ有シナイノデゴザイマシテ、特ニ大ニ憂慮ニ堪ヘマセヌノハ、貿易上輸入超過ノ勢ヲ激成スルノカ、此物價騰貴デアル、正貨ノ流出ヲ促スノモ、此物價騰貴デアルト云フ此一事デアリマス、諸君、我國ノ貿易ハ年ヲ逐ウテ增進シツ、アルト云フコトハ是ハ勿論ノコトデゴザイマスガ、常ニ此輸入超過ノ繰返シテ居ルト云フコトハ、如何ニモ歎息ノ至リテハゴザイマセヌカ、試ニ近時ノ狀態ヲ見マスルニ、明治三十三年ヨリ四十二年ニ至ル十一箇年間(三十九年ト四十一年ト二箇年ヲ除クノ外、他ノ九年ハ毎年輸入超過ナル、少キハ三四百萬圓、多キハ一億七千万圓ト云フ輸入超過ヲシタル年ガアル、昨年ノ貿易ノ如キハ九億八千万圓ト云フ多額ニ上シテ居ルヤウテアリマスガ、是ハ主トシテ輸入ノ増進デアル、尤モ關稅改正當時ニ於テ見越ノ輸入が増加シタト云フ現象モアルノデゴザイマセウケレドモ、兎ニ角多年ノ實狀ニ於テ年々歲々此輸入超過ノ勢ヲ益、激成セラレツ、アルト云フコトハ今日ニ於テ疑フベカラザル事實デアル、是ハ實ニ經驗上疑フベカラザル問題デアルト私ハ思フノデゴザイマス、此輸入超過ノタメニハ正貨が流出スルコトハ何人ト雖モ、之ヲ疑フコトハ出來ナイ、正貨ノ流出ト云フ一點ニ至リマシテハ誠ニ將來國家ノクメニ本員ハ之ヲ慮フズニハ居ラレヌノデアリマス、歐米ニ於テ常ニ見ルコトヲ得マスル如ク、外ニ對シテ債權ヲ有シテ居リマス國柄ハ、固ヨリ此輸入超過ト云フコトハ意ニ介スルニハ足ラナイガ、我國ノ如キシテ、此債務ヲ拂出スト云フコトヲ爲シ得ナインミナラズ、更ニ貿易上輸入ヲ超過セシメテ、此債務ヲ拂出スト云フコトヲ爲シ得ナインミナラズ、更ニ貿易上輸入ヲ超過セシメテ云フ義務ヲ有シテ居ルノデゴザイマスカラ、此債務ヲ決済ヘルニ當リマシテハ、ドウシテモ貿易ノ差額ニ依ツテ、輸出ヲ超過セシメテ、此債務ヲ決済スルヨリ外ニ途ハナイ、然ルニ此債務ヲ拂出スト云フコトヲ爲シ得ナインミナラズ、更ニ貿易上輸入ヲ超過セシメテ益、正貨ノ流出ヲ甚シクスルト云フコトニ相成リマシテ、而シテ此事實が年々歲々繰返サレ、何處マテモ繼續ラシテ行クモノト致シマシタナラバ、私ハ實ニ國家ノタメニ眞ニ寒心ニ堪ヘザルモノデアルト思フノデアリマス、而シテ此輸入超過ノ重ナル原因ハ言フマテモナク

ル、而シテ一方ニ於テハ此物價騰貴ノタメニ生産力ノ減退ヲ來ベト同時ニ、輸入ト云フモノヲ増進スルト云フ結果ニ相成リマシテ、茲ニ正貨流出ト言ヘル一ノ事實ヲ繼續シナケレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居ル、實ニ國家ノ一大事アルト言ハナケレバナラヌト私ハ思フ、大藏大臣ハ先日豫算委員會ニ於テ此正貨ノ維持策ニ關シテハ免ニ角輸出貿易ヲ獎勵スル、戊申詔勅ヲ奉シテ勤儉力行ヲ旨トシテ、產業ノ發達ヲ圖ラナケレバナラメト云フコトヲ申サレマシタ、又大藏次官ノ如キハ輸入防遏スルタメニハ國民が覺悟ヲシテ、成ベク外國ノ品物ヲ用井ナイヤウニシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ申サレタノヲ私ハ承之テ居ルノデゴザイマス、今日ノ此輸入超過ノ防遏スルタメニ此ノ如キ下ラヌコトヲヤダ居シタトコロガ、根本ニ於テ政策ヲ改ムニアラズンハ、此輸入超過ノ勢上云フモノハ斷ジテ之ヲ防ぐコトハ出來ナイト私ハ思フノアル、貿易振興策ノ中ニハイロ／＼ゴザイマセウケレドモ、今日ノ此輸入超過ノ趨勢ヲ防グト云フ場合ニ當リマシテ、大藏大臣ヤ大藏次官ガ云フが如キ、平凡ナ考テ以テ、下ラナイ計算ヲ立ツテ居ルガ如キハ、私ハ我政府ノ所見如何ヲ疑ハザルヲ得ナイノアリマス、要スル此輸入超過ノ原因ハ主トシテ物價ノ非常騰貴ニアルコトハ明カゴザイマスカラ、今日ニ於ケル此物價騰貴ト云ヘルコトハ、財政上ニ於キマシテモ、經濟上ニ於キマシテモ、輕々ニ看過スルコトノ出來ナイ問題デアル、抑、此物價騰貴ハ果シテ何ニ原由スルモノデゴザイマセウカ、近頃之ニ關シマシテハ、イロ／＼ノ議論ヲ立テル者ガアル、種々ノ議論が多くノ人ニ依シテ行ハレテ居ルノデゴザイマス、或ハ云フ、金ノ產額ノ增加ハ物價騰貴ノ原因デアル、或ハ人口ノ增加ヲ見テ、物價騰貴ノ原因ナリト唱へ、或ハ生活程度ノ上進ヲ以テ物價騰貴ノ原因ナリト唱へ、或ハ人口ノ都會集注ヲ以テ物價騰貴ノ原因ナリト唱へ、其外生産費ノ增加ヲ口唱スル者アリ、分配費ノ增加ヲ口ニスル者アリ、信用制度ノ發達ヲ唱フル者アリ、關稅ノ增加、土地產物ノ供給減少、或ハ政費、或ハ登記、或ハ課稅ト云フ如キモノヲ舉ゲテ、イロ／＼ニ物價騰貴ノ原因ヲ議論シテ居ル者ガ澤山ニアルノデゴザイマスル、勿論物價騰貴ノ原因ハ固ヨリニシテ足ラナイコトデゴザイマシテ、種々原因ガ錯綜シテ、物價騰貴ヲ來シタモノニハ相違ナインデアリマス、而シテ其一般世界的ノ原因ニ付キマシテハ、例ヘバ金ノ產額ノ增加デアル、或ハ人口ノ增加デアルト云フガ如キ、自然的ノ原因ニ基ケル物價騰貴ニ付キマシテハ、何人ト雖モ之ヲ否認スルコトハ出來ナイ、是ハ必然ノ結果ニアリマスカラ、實ハ已ム得ザル結果ト斷定ラスルノ外ニ仕方がナイノアル、唯不自然ノ原因、寧ロ人爲的ノ原因ニ基ケル物價騰貴ト云フコトニ付キマシテハ、斷ジテ之ヲ是トシテ認メルコトハ出來マセス、若シ之ヲ是認シ、自然ニ之ヲ放任スルコトニアリマスレバ、前ニ申述ベマシタル如ク國家經濟ノ上ニ非常ナル惡影響ヲ及ボスコトニ相成ナルノデゴザイマスル、吾輩ハ實ニ此物價騰貴ノ原因ニ付ケ、重要ナル問題トシテ朝野ノ研究ヲ煩ハスベキ必要アリ思ウテ居ルノデアリマス、諸君、近時ニ於ケル我國物價ノ騰貴ノ原因ニ付キマシテハ、是ハ實ニ一種特別ノ原因ヲ有シテ居ルノデゴザイマスマシカザイマスル、私ハ茲ニ特別ノ原因ニ付テ陳述ヲ致シタトイ思フノデゴザイマスルが、主タル原因デアルト断ジテ差支アルマイト思以テ之ヲ蔽ヘバ、財政ノ壓迫ト云ヘルコトガ、主タル原因デアルト断ジテ差支アルマイト思フ(「ロヤ／＼」)幾多ノ增稅ヲ行ヒタル結果、即チ稅制紊亂ノ結果、如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、又保護主義ニ偏シテ關稅ヲ增徵致シタル結果、如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、又徒ニ官業ヲ龐大ナシメテ、資金ノ需用ヲ多クシタルガダメニ如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、而シテ又財政ノ遺緑リノタメニ、徒ニ兌換券ヲ增發シ

テ通貨膨脹ノタメニ如何ニ物價ヲ騰貴セシメタカ、凡ソ是ハ何レモ財政ノ遺緑リノタメニ、財政ノ彌縫ノタメニ、政府が執來リタル結果、茲ニ至ツタモノデゴザイマス、本員ハ實ニレバナラヌト云フコトニ相成ツテ居ル、實ニ國家ノ一大事アルト言ハナケレバナラヌト私ハ思フ、大藏大臣ハ先日豫算委員會ニ於テ此正貨ノ維持策ニ關シテハ免ニ角輸出貿易ヲ獎勵スルコトヲ繼續致シテ居ルノデゴザイマス、日本銀行ハ中央銀行タルノ勤務ナラヌ、一年ヲ通ジテ殆ド此制限外ノ發行ヲシナイトキハナイ、始終此制限外發行ト云フコトヲ繼續致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ全ク政府が財政上ノ彌縫ノタメニ日本即チ自然的ノ原因、一般的ノ原因ノ外ニ特ニ重大ナル原因が存在シテ居ルノデハゴザイマスマシカ、大藏大臣ハ物價騰貴ハ自然ノ結果デアルが如ク陳述サレタノデゴザイマスル、實際ニ於テ私ハ茲ニ輕視スベカラザル重大ナル原因アリト認メテ居ルノデゴザイマスル、私ハ茲ニ特別ノ原因ニ付テ陳述ヲ致シタトイ思フノデゴザイマスマシカ、一言以テ之ヲ蔽ヘバ、財政ノ壓迫ト云ヘルコトガ、主タル原因デアルト断ジテ差支アルマイト思フ(「ロヤ／＼」)幾多ノ增稅ヲ行ヒタル結果、即チ稅制紊亂ノ結果、如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、又保護主義ニ偏シテ關稅ヲ增徵致シタル結果、如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、又徒ニ官業ヲ龐大ナシメテ、資金ノ需用ヲ多クシタルガダメニ如何ニ我國ノ物價ヲ騰貴セシメタカ、而シテ又財政ノ遺緑リノタメニ、徒ニ兌換券ヲ增發シ

テ通貨膨脹ノタメニ如何ニ物價ヲ騰貴セシメタカ、凡ソ是ハ何レモ財政ノ遺緑リノタメニ、財政ノ彌縫ノタメニ、政府が執來リタル結果、茲ニ至ツタモノデゴザイマス、本員ハ實ニ我國ノ物價騰貴ノ此特別ノ原因、不自然的ノ原因ニ付テ大ニ將來ヲ慮シテ居ル者デゴザイマスル、今其主ナル點ニ付テ私ノ所見ヲ一言シタトイ思フノデアリマス、租稅ノ增收ト申シマスルコトガ、物價ニ影響致シテ居ル所以ハ固ヨリ明カデゴザイマス、一體政府——私ハ現内閣ノミトハ申シマセヌが、政府ハ苛酷ナル租稅ヲ課シテ、直接ニ我國民ヲ苦シメ、アルノデゴザイマスルガ、特ニ抵抗力ノ微弱ナル徵收シ易キモノニ向シテ、此增收が突進シタト云フ一事ハ、最モ著シク物價ヲ騰貴セシメタル一原因デアラウト私ハ思フ(「ヒヤ／＼」)統計ニ徵シテ見マスルニ、概々此直接稅ト稱シテ、差支ナキ營利課稅ト云フモノハ、明治一十九年ニハ二千九百四十五万圓ニアツタモノガ四十四年ニハ一億三千九百八十万圓ニ増加ヲ示シテ居ルノデアリマス、是ハ約三倍バカリノ増加ニ相成ツテ居ル、然ルニ一方ノ消費課稅ハ關稅ヲモ是ハ含シテ居ルノデゴザイマスル、一二九年ニハ一千六百二十万圓ニアツタモノガ、四十四年ニハ二億七千六十萬圓ニ増加シタノデアリマス、是ハ殆ド十倍ノ増加ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、此租稅ノ賦課ノ割合ニ見マシテモ、著シク消費稅が増加シテ居ルト云フコトハ固ヨリ事實デゴザイマスルガ、此消費稅ノ増加ノタメニ我國民が如何ニ苦シツ、アルカト云フコトハ、本員唯今之ヲ辯ズルマテノ必要モゴザイマセス、私ハ政府ノ稅制整理ニ關シテ、茲ニ其根本ノ方針ヲ承リタイト思フノデゴザイマス、大藏大臣ハ稅制整理ヲ行フ減稅ノ意味ニ於テ、稅制整理ヲ行フト云フコトダケハ御辯明ニ相成ツタノデゴザイマスル、併シ此消費稅ノ非常ニ増加シタルコトニ付テハ、如何ナル見解ヲ有シテ居ラレルカ、物價ヲシテ非常ニ騰貴セシメ、國民ヲシテ非常ニ困難セシメ、對外貿易ノ上ニ非常ナル不利益ノ影響ヲ起サシメツ、アル、此消費稅ノ増加ト云フコトニ關シテハ、如何ナル見解ヲ有シテ居ラレルカ、將來ノ稅制整理ニ付、是等ニ付テハ如何ナル整理ヲ遂ケント欲セラル、ノアルカト云フコトヲ大藏大臣ニ向シテ御尋教サナケレバナラヌノデゴザイマス、次ニ私が特ニ此政府ノ警醒ヲ求メナケレバナラヌ點ハ實ニ通貨ノ膨脹ノ問題デゴザイマス、私ハ政府が是モ現内閣ノミトハ申シマセス、近頃此財政ノ彌縫ノタメ二人爲のニ通貨ヲ膨脹セシメテ、經濟上ノ必要ニ基ケル理由以外ニ財政上ノ必要、即チ遣緑手段ノタメニ大ニ通貨ヲ膨脹セシメタルノ事實アルコトヲ否定スルコトハ出來ナインデアリマス、諸君、最近十年間ノ總計ニ據シテ見マシテモ、明治三十四年ニハ我邦ノ兌換券發行高ハ一億三千二百萬圓ニアツテ、四十四年ニハ四億三千三百萬圓トナツテ居ル、十年間に殆ド一倍ト云ヘル增加ヲ示シテ居ルノデアリマス、而シテ此所謂制限外ノ發行ハ二十四年ニハ一千二百七十萬圓ニアツタモノガ、十四年ニハ八千四百万圓ト算セラレテ居ル、是ハ殆ド四倍ノ増加ヲ示シテ居ルノデゴザイマスル、一年ヲ通ジテ殆ド此制限外ノ發行ヲシナイトキハナイ、始終此制限外發行ト云フコトヲ繼續致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ全ク政府が財政上ノ彌縫ノタメニ日本銀行ヲシテ、寧ロ日本銀行ヲ虐使シテ、此ノ如キ事實ヲ生セシタルモノト断定ナケレバナラヌ、一二曰ク、借上、二二曰ク借上、三二曰ク借上、四二曰ク借上、イロ／＼ノ形式ノ下ニ兌換券ヲ増發シテ財政ノ遺緑リノタメニ使シテ居ルノデゴザイマス、日本銀行ハ中央銀行タルノ勤務ヲ爲サズシテ、全ク政府ノ御用機關トナツテ、經濟上ノ理由ニ基クニアラズシテ、唯財政ノ彌縫遺緑リノタメニ利用セラレテ居ルノデゴザイマスルガ、即チ兌換券増發、通貨膨脹ト云ヘルコトハ全ク政府ノ人爲的ノ政策ニ原因シテ居ルモノアル、唯一ノ此大藏省券ヲ日本銀行ニ引請ケシムルト云フ事實ノミニ付テ考ヘテ見マシテモ、此點ハ誠ニ明カルコトデアラウト私ハ思フ、而シテ此事タルヤ實ニ此物價ニ大影響ヲ及ボスト同時ニ、我經濟界ニハ一大憂患ヲ遺スノデアル、國家經濟ノタメニ危険此上ナキ事實

デアルト本員ハ考ヘテ居ルモノニアリマス、(「餘り長イト君ノ演説が下落スルヨ」ト呼フ者アリ)抑、此兌換券ノ特色ハ通貨ノ伸縮ヲ自在ニスルト云フ機能ヲ有スルノ一事ニアル、此伸縮ト云フモノガ自由ニナラナイト云フコトニ相成リマスレバ、兌換ノ制度ハ全ク有名無實ニ陷ルモノアル、軽テ又兌換券制度ノ基礎ヲ危クスル所以ナリト断ゼザルヲ得ナイ、(「ヒヤー」)我日本銀行ノ今日ノ實情三照シテ見マスレバ、全ク通貨伸縮ノ機能ト云フモノヲ失シテ居ルノデゴザイマスルカラ、兌換券ノ制度ト云フモノハ自ラ有名無實ニ陷入從ツテ、兌換券ノ制度ノ基礎ト云フモノハ頗ル危険ニ瀕シテ居ルト私ハ思フ、我政府ハ兌換券制度ヲ擁護ヲ必要ナリトシテ正貨準備ヲ増スコトノミニ熱中シテ、常ニ外債借入ニ依ツテ正貨ノ多カフンコトヲ努メテ居ルノデゴザイマスルカラ、我邦ノ正貨ハ概ね在外正貨デゴザイマスルガ、今日ニ於キマシテニ四億圓ト稱セラレルノデゴザイマスルカラ、是ガ又兌換券ノ制度ヲ擁護スル所以トハナラズシテ、却テ兌換券制度ノ基礎ヲ危クスル所以ト相成ツテ居ル、畢竟政府ノ正貨準備ナルモノハ唯此外債ニ據レル人工的ノモノアゴザイマス、謂ハハ特別ニ製造セラレテ居ルノデアル、即チ貿易上ノ消長ニ依ツテ正貨準備が増スノテモナイ、國際貨借ノ關係ニ依ツテ正貨準備が増スノテモナイ、即チ我邦ノ正貨ハ唯外債借入ト云フコトニ依ツテ年々特別ニ製造セラレテ居ルモノデゴザイマスルカラ、所謂人工的ノ製造ニ基イテ居ルモノデゴザイマスルカラ、此正貨ト云ヘルモノガ兌換券ノ伸縮ヲ自由ニスルト云フ機能ヲ缺クト云フコトハ、是ハ蓋シ偶然ノ結果デハナリ、凡ソ正貨ノ増加ハ或ハ金產額ノ増加、或ハ輸出ノ増加ナル、若クハ此外ニ對スル債權ノ取立アルトカ、斯ウ云フモノニ原因スベキコトハ勿論デゴザイマスルニ拘ラズ、我邦ノハ全クソレ等ノ結果ニアラズシテ、唯外債ニ俟テ此正貨ヲ製造スルト云フコトニ相成ツテ居ルノテゴザイマスカラ、此正貨準備ト兌換券ト相伴ウテ伸縮スルト云フ機能ヲ缺イテ、却テ此正貨準備ノタメニ倍ノ貿易ヲ逆潮ニ陥レテ輸入超過ノ結果ト云フ事實ヲ激成スルコトニ相成ツテ居ル、即チ正貨が多ケレバ多イ程、愈、兌換ノ基礎ハ鞏固ニナラズシテ、転て將來ニ於テハ此兌換ノ基礎ト云フモノヲ危クスルト云フ結果ヲ免レナイト云フ今日ノ現状ニ相成ツテ居ルノアリマス、此ノ如クシテ一面ニハ此財政ノ遺締リノダメニ徒ニ兌換券ヲ膨脹セシメ、一面ニハ正貨ノ準備ニ汲々トシテ徒ニ此外債政策ヲ繼續ラシテ、此窮策ト窮策トノ結合ニ依ツテ此ニ通貨ハ愈、膨脹スルト云フ結果ト相成ツテ、其伸縮自在ノ機能ヲ缺クガタメニ遂ニ兌換券制度ノ基礎ヲ危クスルト云フコトニ陥ツテ居ルノアリマス、而シテ此人爲的ノ通貨膨脹ト云フコトハ、物價ノ騰貴ノ大勢ヲ激成セシメルト云フコトハ勿論デゴザイマス、近頃は三關シテ奇ナル説ヲ立テルモノガアル、通貨ノ膨脹ハ物價ニ影響ナシト唱ヘ、何ダ政府ノ財政ノ遺締リヲ辯解スルモノ如ク聞カル、ノデゴザイマス、現時ノ我邦ノ通貨ノ膨脹ハ全ク物價ニ影響ナシト云ヘル云フコトハ勿論争ラ要シナイ問題ニアラウト私ハ思ウテ居ル、數量ハ價格變化ノ一大原因タルコトが明白ナル以上ハ、通貨ノ膨脹ガマルデ物價ニ影響ナシトイト云フコトハ受取レナリ、説アル、特ニ我日本ノ今日ノ通貨ノ膨脹ハ前申シマス如ク、經濟上ノ理由ニ依ツテ通貨が膨脹シタモノハナリ、財政上ノ理由、所謂遺締政策ノタメニ、彌縫手段ノタメニ、特別ノ原因ニ依ツテ膨脹シタル通貨デゴザイマスルカラ、(モウヨセヨ)ト呼フ者アリ)此キ詭説ヲ弄スルトコロノ論者ハ通貨ニハ不用ナ通貨ハナリ、通貨ハ需用供給ノ理ニ依ツ

テ增減スルモノデアルト云フ説ヲ弄スルノニアリマスガ、勿論通貨ハアルベキ筈ハナリ、唯經濟上ノ必要ニ依ツテ増加シタモノデアル、或ハ其他ノ理由ニ依ツテ増加シタモノデアルカト云フコトヲ推究スレバ足ルノデゴザイマス、即チ我國ノ通貨膨脹ガ特ニ從ツテ、兌換券ノ制度ノ基礎ト云フモノハ頗ル危険ニ瀕シテ居ルト私ハ思フ、我政府ハ兌換券制度ヲ擁護スル所以ナリト断ゼザルヲ得ナリト云コトハ洵ニ無外債借入ニ依ツテ正貨ノ多カフンコトヲ努メテ居ルノデゴザイマスルカラ、我邦ノ正貨ハ概ね在外正貨デゴザイマスルガ、今日ニ於キマシテニ四億圓ト稱セラレルノデゴザイマスルカラ、是ガ又兌換券ノ制度ヲ擁護スル所以トハナラズシテ、却テ兌換券制度ノ基礎ヲ危クスル所以ト相成ツテ居ル、畢竟政府ノ正貨準備ナルモノハ唯此外債ニ據レル人工的ノモノアゴザイマス、謂ハハ特別ニ製造セラレテ居ルノデアル、即チ貿易上ノ消長ニ依ツテ正貨準備が増スノテモナイ、國際貨借ノ關係ニ依ツテ正貨準備が増スノテモナイ、即チ我邦ノ正貨ハ唯外債借入ト云フコトニ依ツテ年々特別ニ製造セラレテ居ルモノデゴザイマスルカラ、此正貨ト云ヘルモノガ兌換券ノ伸縮ヲ自由ニスルト云フ機能ヲ缺クト云フコトハ、是ハ蓋シ偶然ノ結果デハナリ、凡ソ正貨ノ増加ハ或ハ金產額ノ増加、或ハ輸出ノ増加ナル、若クハ此外ニ對スル債權ノ取立アルトカ、斯ウ云フモノニ原因スベキコトハ勿論デゴザイマスルニ拘ラズ、我邦ノハ全クソレ等ノ結果ニアラズシテ、唯外債ニ俟テ此正貨ヲ製造スルト云フコトニ相成ツテ居ルノテゴザイマスカラ、此正貨準備ト兌換券ト相伴ウテ伸縮スルト云フ機能ヲ缺イテ、却テ此正貨準備ノタメニ倍ノ貿易ヲ逆潮ニ陥レテ輸入超過ノ結果ト云フ事實ヲ激成スルコトニ相成ツテ居ル、即チ正貨が多ケレバ多イ程、愈、兌換ノ基礎ハ鞏固ニナラズシテ、転て將來ニ於テハ此兌換ノ基礎ト云フモノヲ危クスルト云フ結果ヲ免レナイト云フ今日ノ現状ニ相成ツテ居ルノアリマス、此ノ如クシテ一面ニハ此財政ノ遺締リノダメニ徒ニ兌換券ヲ膨脹セシメ、一面ニハ正貨ノ準備ニ汲々トシテ徒ニ此外債政策ヲ繼續ラシテ、此窮策ト窮策トノ結合ニ依ツテ此ニ通貨ハ愈、膨脹スルト云フ結果ト相成ツテ、其伸縮自在ノ機能ヲ缺クガタメニ遂ニ兌換券制度ノ基礎ヲ危クスルト云フコトニ陥ツテ居ルノアリマス、而シテ此人爲的ノ通貨膨脹ト云フコトハ、物價ノ騰貴ノ大勢ヲ激成セシメルト云フコトハ勿論デゴザイマス、近頃は三關シテ奇ナル説ヲ立テルモノガアル、通貨ノ膨脹ハ物價ニ影響ナシト唱ヘ、何ダ政府ノ財政ノ遺締リヲ辯解スルモノ如ク聞カル、ノデゴザイマス、現時ノ我邦ノ通貨ノ膨脹ハ全ク物價ニ影響ナシト云ヘル云フコトハ勿論争ラ要シナイ問題ニアラウト私ハ思ウテ居ル、數量ハ價格變化ノ一大原因タルコトが明白ナル以上ハ、通貨ノ膨脹ガマルデ物價ニ影響ナシトイト云フコトハ受取レナリ、説アル、特ニ我日本ノ今日ノ通貨ノ膨脹ハ前申シマス如ク、經濟上ノ理由ニ依ツテ通貨が膨脹シタモノハナリ、財政上ノ理由、所謂遺締政策ノタメニ、彌縫手段ノタメニ、特別ノ原因ニ依ツテ膨脹シタル通貨デゴザイマスルカラ、(モウヨセヨ)ト呼フ者アリ)此キ詭説ヲ弄スルトコロノ論者ハ通貨ニハ不用ナ通貨ハナリ、通貨ハ需用供給ノ理ニ依ツ

## 第二條 行政官廳ハ前條ノ規定ニ依ル採掘ノ許可ニ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ノ條件ニ依リテ生スル鑛業權者ノ義務ハ鑛業權ト共ニ移轉ス  
第三條 鑛業權者採掘料ヲ完納セス又ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキハ行政官廳ハ其ノ鑛業權ヲ取消スコトヲ得

第四條 採掘料ノ徵收ニ關シテハ國稅徵收法及明治四十年法律第二十四號ヲ準用ス但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

## 附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本法施行ノ際第一條ノ區域内ニ於ケル國ノ石炭採掘區域ニ付テハ國ハ其ノ鑛業權ヲ有ス

## (政府委員宮尾舜治君登壇)

○政府委員(宮尾舜治君) 横太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ説明申上ゲマス、横太ニ於キマシテハ石炭ハ此全島三分布致シテ居リマシテ含有炭量モ餘り少ナクナインデアリマスガ、現今ノトコロニ於キマシテハ是等ノ炭山ハ一部ハ出願ニ依リマシテ、採掘ノ區域ヲ許シテアリマス、又一面ハ封鎖ヲ致シマシテ此部分ニ付テハ競賣ニ依リマシテ詰リ山ヲ賣ルト云フ主義ニ今日ハナツテ居リマス、此封鎖區域ニ於キマシテハ可ナリ大キナル炭田 大キナル炭田ハ二ツアリマスルガ、之ヲ名ツケテ南浦炭田、中部炭田、北部炭田ト稱シテ居リマスガ、此二大炭田共ニ今日テハ封鎖區域ノ中ニ含マレテ居ルノアリマス、然ルニ横太ニ於ケル此石炭ノ採掘又此封鎖炭田ノ開封ト云フコトハ、横太ノ拓殖ニ向ヒマシテハ多少必要ナ制度デアリマシテ、今日ニ於テハ島内ノ石炭ノ消費量モ漸次増加致ス次第アリマス、故ニ此大炭田ノ利用上即ち礦利ヲ保存スルト云フコトハ最モ注意致シマシテ、大炭田ノ開掘ニ付キマシテハ從來内地ノ此石炭ノ關係其他ノ事情ニ鑑ミマシテ將來ニ於テ最新式ノ機械ニ依テ最モ經濟的ノ採掘ヲ致シマスマデハ先づ其大部分ハ從來ノ通り封鎖ノ儘置キマスルが、目下ノ横太ノ此拓殖上、開發上必要ナル程度ニ於キマシテ、其炭田ノ小部分ヲ事情モアルノアリマス、寧口採掘料ヲ徵シマシテ即チ此採炭ノ高ニ從ヒマシテ幾分ノ採掘料ヲ取テ、此山ヲ開クト云フコトが趣意デアリマス、其採掘料ヲ取りマスルニハ競爭ニ付シマシテ而シテ此較的多額ノ採掘料ヲ納メタル者ニ此山ヲ——即チ其開ク部分ノ採掘ヲ許可シヤウト云フ次第アリマス、ドウ云フ譯テ此ノ如キコトニナリマシタコト云フニ(委員會デヤレ)ト呼フ者アリ)此炭田ハ多少由來ノアルコトアリマシテ、他ノ出願ニ依テ許可サレテ居ル所ハ大部分ハ各ノ發見ニ基イタモノアリマスルが、今日封鎖シテ居ルトコロノ區域ト云フモノハ大部分ハ政府ノ發見ニ係ルモノアリマシテ、政府が費用ヲ掛ケテヤリマシタ、ソレ故ニ今日發見ニ依チテ與ヘルトコロノ制度ノ普通ノ出願ノ方法ヲ採ルコトが出來マセヌガ故ニ、此ノ如ク採掘料ヲ——競争ニ付シマシテ其採掘料ヲ納メタ者ニ許スト云フ制度ニ致シタイノアリマス、又其外ニ此ノ如ク許シタ以上ハ之ヲ許サレタカラト云ヅテ、又採掘ヲセヌテ置カレマシテハ折角横太ノ開發ノタメニ資ヘルコトガ無用ニ歸シマスカラ、著手ノ年限及最少限ノ炭量ニ付テモ、多少ノ制限ヲ付スル即チ件ヲ付シタイト云フ趣旨アリマス、是ガ本案提出ノ要旨アリマス

## ○議長(大岡育造君) 第二ノ日程ニ移リマス

○第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恒松隆慶君 (賛成々々) 聲起ル 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレタルコトヲ宣告致シマス、日程第三、煙草專賣法中改正指名九名ノ委員ニ付託セラレタルコトヲ宣告致シマス、日程第三、煙草專賣法中改正法律案、武満義雄君

## 第三 煙草專賣法中改正法律案(請願委員長提出)

## 第一讀會

## 煙草專賣法中左ノ通改正ス

第十二條第一項及第三項中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

第十七條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

## (武満義雄君登壇)

第十一條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ヲ削ル

煙草專賣法中改正法律案ノ理由ニ付キマシテ、其概要ヲ申述べ、蒲場諸君ノ御贊成ヲ得ヤウト思ヒマス、私ハ請願委員ノ方デアリマシテ、委員長カラ是ハ其説明ヲナカル苦テアリマシタガ、都合アツテ私ガ代ツテ説明スルコトニナツタノアリマス、左様御諒承置ヲ願ヒマス、本案ノ基キマストコロハ元ト請願ニ來テアツテ、請願人ハ德島縣煙草組合長大野協外一名ノ呈出アリマス、此請願ハ相當ナル請願トシ法律案ヲ作ルコトニ請願委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタノアリマス、ソレデ改正ノ要項ハ第十一條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ト云ノガアリマス、此文字ヲ削ル、第十二條第一項及第三項中「量目」ノ下「又ハ葉數」ト云ノガアリマス、此文字ヲ削ル、第十七條中「量目」ノ下「又ハ葉數」ト云ノガアリマスル「又ハ葉數」ト云ノ文字ヲ削ル、是ダケガ本案ノ改正ノ項目ニナツテ居ルノアリマス、要ハ葉數查定ヲ廢止スル、是ハ煙草ノ取締ノ上ニ於テ量目査定ニ止メテ、葉數査定ハ廢メルコトガ本案改正ノ眼目ニナツテ居ルノアリマス、御承知ノ通リ煙草取締ニ於テ葉數査定、量目査定ヲナシテ取締シテ居リマスガ、即チ是ニハ葉數査定カ若クハ量目査定ノ中其一ヲ行ハナケレバナラヌノアリ、其一ヲ行フコトニナツテ居ルノアリマスガ、併ナガラ實際ハ植付検査、或ハ收穫検査ニ當シテ、葉數査定モ其後ニスルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ當局者ハサウ云フコトハナイト云ヒマスガ、實際ハ雙方實行シテ居ルヤニ私共考ヘテ居ルノアリ、葉數査定ヲ一方アツテ居ルト致シマシテモ、植付検査ニ重キヲ置イテ居ルノアリ、而シテ植付検査ハ非常ニ手數テ、費用ヲ費スコトニナツテ、甚ダ面倒臭イ、曾アリ十三議會ニ於テ是ト同一ノ法律案ヲ出シテ、又依テ許可サレテ居ル所ハ大部分ハ各ノ發見ニ基イタモノアリマスルが、二十二議會ニ於キマシテノ下ニ形式ノ上ニ第二十三議會ニ於テモ本案ト同様ノ改正ノ法案ハ否決シタノアリマス、然ルニ第二十六議會ニ於テモ同一ノ改正案が議會へ出マシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタガ、不幸ニシテ貴族院ニ於テ握檻シノ運命ニナツタ、サウシテ今日ニ至リタメ、又此改正案ヲ請願委員會カラ提出スルコトニナツタノアリマス、政府ノ方デハ或

ル村ノ大字トカ、或ハ小字ニ於テ、反則者が一人モナカッタ場合ハ葉數査定ハ廢止ルト、  
斯ウ云フコトニナツテ居リマスケレドモ、甲村が其恩典ヲ受ケテ、乙村ガ葉數査定ヲ受  
ケルト云フ場合ハ、一方が宜イケレバ、又一方が惡リト云フコトニナリマシテ、多少ツ  
ツ葉數査定ヲ廢止ル區域ノ村ハ次クナツテ參リマセウケレドモ、吾ミガ希望スル如ク全般  
ノ耕作者ニ對シテ葉數査定ヲ廢止セラル、ト云フコトハ到底時期ガ到來セヌト考ヘテ  
居ルノデアリマス、ソレデ斷然葉數査定ヲ取上ゲタ方ガ非常ニ利益アルト云フ考ヲ  
持ツテ居ルノテ、茲ニ一ノ例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、煙草ヲ調製致シマシテ、納メニ往ク其  
場合ニ一枚カ一枚カ不足スル或ハ剩ダテ居ルト云フコトニアリマスレバ、更ニソレヲ持歸ラ  
シメテ、或ハ一里トカ或ハ一里半ト云フ所マテ持歸ラシメテ、更ニ再調製ヲサセテ納メシル  
ムト云フコトガアル、植付検査ニ葉數査定ヲシテ、收穫ノ前ニ當ツテ收穫検査ヲナスノデ  
アリマスガ、此收穫検査ニ當ツテ、其收穫検査以前ニ於テ一朝暴風テモ起リマスレバ、忽  
チ總テノ煙草ヲ奪去ラル、コトニナルカラ、損害ヲ招クト云フコトハ多イ、事實ノ上ニ免レ  
タノデアリマス、サウ云フコトハセナクテモ量目査定デ十分取締ノ上ニ不都合ガナイト吾  
吾ハ信ズルノデアル、萬一ソレガ不都合デアルト云フコトニアリマスレバ、葉煙草耕作者組  
合ヲ組織セシメ、其組合ニ責任ヲ負ハシムルコトニ致シタナラバ、決シテ不都合ハナカラウ  
ト吾ミハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナコトニアリマスカラ、此植付検査ノ場合ニ、或ハ  
收穫検査ノ場合ニ葉數査定ヲ廢止スルト云フコトハ實際ノ上ニ於テ最モ適當ナコトデ  
アリテ、官民共ニ多大ノ浪費ヲ省イテ、實際ノ上ニ毫毛不都合ハナイト云フコトハ確信  
致タシマス、此ノ如キ理由ヲ以テ本案ヲ提出シタ譯ニアリマスカラ、滿場一致ヲ以テ即  
決可決アランコトヲ切望致シテ止マヌトコロデアリマス

〔政府委員濱口雄幸君登壇〕

○政府委員（濱口雄幸君）本案ニ對スル政府ノ所見ヲ簡單ニ申上ゲタイト考ヘル、  
葉煙草ノ數量ヲ査定致シマスルコトハ、反則者ヲ未然ニ防遏致シマシテ、專賣制度ヲ  
鞏固ナラシムル上ニ於テ、最モ重要ナル事項ノ一デアリマス、而シテ是ガ査定ノ方法ハ  
最モ確實ナルモノヲ選バケレバナラヌノデアリマス、然ルニ從來ノ成績ニ依リマスレバ、葉  
數査定ノ方が量目査定ヨリ遙ニ正確デアルト云フコトハ實驗上争フベカラザル事實ニア  
リマス、若モ全國ノ反則者ノ風儀ガ悉ク善良ニ趣キマシテ、苟モ反則者ガナイト云フ理  
想ノ域ニ達シマスレバ兔ニ角デアリマスケレドモ、今日ノ實驗上ニ於キマシテハ全國ニ於  
テ反則ノ件數が一箇年万件ヲ下ラヌノデアリマス、又其罰金ノ高ニ於キマシテハ二十万  
圓ヲ内外シテ居ル、其現況ニ對シテ直ニ法律ヲ改正致シマシテ量目査定ノ一方ニ據ラ  
シムルト云フコトハ頗ル危險アルト考ヘマス、現行ノ制度ニ於キマシテハ法律上ニ於  
テ量目、葉數、兩方ノ制度ヲ存シテ居リマシテ、是ハ地方ノ狀況ガ耕作者ノ風儀ニ依  
リマシテ、運用其宜シキラ得ルコトニナツテ居リマス、是が現行ノ制度ニ於テハ最モ適當アル  
方策ト政府ハ考ヘテ居リマス、而シテ其方法ニ依シテ量目査定ノ適用ヲ受ケテ居リマス  
ノハ、年々增加ヲ致シマシテ、今日ニ於テハ總段別ノ約三分ノ一弱ハ量目ノ適用ヲ受  
ケテ居ルト云フ次第デアリマス、然ルニ今之ヲ法律ヲ改正シテ、葉數査定ヲ絶對ニ禁止  
シ、量目査定ノ一方ニ依ラシムルト云フコトハ、獨リ其必要ヲ認メナインノミナラズ、延イ  
テハ諸般ノ弊害ヲ起シマシテ、或ハ專賣制度ノ根柢ヲ動ク虞レガアリマス、因テ政府ハ  
本案ニハ同意が出来マセヌ

○日向輝武君 質問ガアリマス、唯今政府委員ノ御答辯ニ就リマスルト、葉數査定  
ハ誠ニ重要デアリマシテ、反則者ヲ未然ニ防止スルニ於テ重要缺クベカラザルモノデアリ  
マス、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、然ルニ其以前ニ武満君が請願委員會ヲ代表シテ  
ノ提出ノ理由ニ依リマスルト、第一十二議會ニ於テ政府委員ハ葉數査定ヲ廢止ルコト

ニ同意ヲ表シタノデアル、併ナガラ法文ヲ改正スルコトハ暫ク見合セテ實ヒタイ、事實ニ  
於テ必ズ葉數査定ヲ廢止スルコトニハ同意デアル、斯ウ云フコトヲ提案ノ理由ノ中ニ明  
白ニ御述ベニナツタノデアリマス、兩者ノ言全然茲ニ相背馳シテ居ル、何レヲ是トシ、何レ  
ヲ非トスベキヤ、之ヲ採ルニ甚ダ迷フノデアリマス、此點ニ付テ政府委員竝ニ本案ヲ提  
出サレタ武満君、御兩名ノ明確ナル御説明ヲ更ニ煩シタイノデアリマス  
○武満義雄君 私カラ御答シマス、阪谷大藏大臣ノトキデアリマス、改正ノ意思ニハ同意デアルケレドモ、俄ニ全部ヲ葉  
数査定ヲ止メルト云フコトニハ行兼ネルカラ、殆ド遂ニハ此改正ノ趣旨ヲ實行シテ法文ハ  
空文タラシメルヤウニスルカラ、先づ此法文ヲ取ツテ除ケル改正案ダケハ引込マシテ吳レト  
云フコトニアリテ、其事ガ雙方共ニ唯時期ノ問題ニナツタモノデスカラ、既ニ爭點ニ於テ  
一致スル以上ハ二一年若クハ三四四年ノ時期ヲ待ツト云フコトハ、ソレハ穩當テアラウト  
考ヘマシタ故ニ、向フノ申出ヲ諒トシテ吾ミハ其案ハ提出ノ上ニ於テ否決シタノデアリマ  
ス、所ガ其後今ノ現在ノ長官ニナラレテ、其精神ハヤハリ存續シテ居ルヤウデアリマスケ  
レドモ、其前ノ言明ト其實行ト餘リ其時期が遷延シテ長クナルヤウデアリマスカラ、全部  
此改正ノ精神が行ハレルト云フコトハ到底是ハ賴申斐ナイト云フコトヲ考ヘタメニ其  
後二十六議會ニ於テ更ニ同一ノ改正案ヲ出シタノデアリマス、此改正法律案ハ請願ヲ  
採擇シテ出シタ、斯ウ云フ歴史經過ヲ持ツテ居ルノデアル  
○日向輝武君 簡單ニ明白ニ御答辯聞ケハソレテ私ハ滿足スルノデアリマス、葉數査  
定ト云フモノヲ絕對必要、是非共シナケレバナラヌト云フコトヲ言ツテ以上、更ニソレヲ虛言ヲ言ツテ實行セザル  
議論ニ於テ之ヲ誓テ廢スルト云フコトヲ言ツテ以上、更ニソレヲ虚言ヲ言ツテ實行セザル  
ノミナラズ、年經ッテ今日ニ於テ全然葉數査定ハ廢スルコトニ反對テアルト云フヤウナ言  
ノ如キハ、責任上當然一言政府委員ノ御答辯ガアツテ然ルベキコトダラウ思フ、若シ  
此點が兩方ノ争トナルコトデアルナラバ、速記録ヲ取寄セテ——第二十二議會ノ速記  
録ヲ取寄セテ御調ヲ願ヒタ、專賣局長モ御列席ニナツテ居リマスカラ、此點ニ付テ更  
ニ御答辯ヲ願ヒマス

〔政府委員濱口雄幸君登壇〕

○政府委員（濱口雄幸君）日向君ニ御答シマス、前ノ議會ノトキニ於キマシテハ政府  
ハ決シテ年限ヲ切シテ葉數査定ノ撤廃ヲスルト云フ約束ヲシタコトハアリマセヌ、政府ノ希  
望スルトコロデハ耕作者ノ風儀が段々善良ニ趣イテ反則ヲスルノ恐モナクナリ、葉數ノ査  
定ヲ止メテモ大丈夫ト云フトキガ來レバ、自然ニ止マル結果ニナル、一日モ早ク其結果  
ニ到著セシコトヲ希望スル、斯ウ申シタノデアル、然ルニ今日ノ現狀ハ先刻申シマシタ通り、  
未ダ反則ハナカヽ、盛テアリマス、今ニ於テ此葉數査定ノ法ヲ廢スルト云フコトハ、頗ル  
危險デアリマスが故ニ、且下ノ現狀ニ於テハ最モ必要デアル、斯ウ申シマシタ  
○恵松隆慶君 本案ニ對シテハ政府委員カラ反對モゴザイマシタガ、ツマリ是ハ耕作者  
ニ對シテ幾分ノ苦痛ヲ感ズルト云フ法案デゴザイマスカラ、此場合ハ直ニ二讀會ヲ開キ、  
讀會ノ順序ヲ略シテ委員長報告通り確定アランコトヲ希望ミマス

○議長（大岡育造君）恵松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌ

〔異議ナシ」下呼フ者アリ〕

煙草專賣法中改正法律案

○議長（大岡育造君）御異議ナイト認メマス——御異議ナケレバ本案ハ讀會ヲ省略

確定議

シテ、原案ノ通リニ可決確定ヲ致シマシタ——日程第四、新聞紙法中改正法律案、提出者松田源治君

第四 新聞紙法中改正法律案（松田源治君外五名提） 第一讀會

出）

新聞紙法中改正法律案

新聞紙法中左ノ通改正ス

第九條第一號ヲ削ル

第十七條第一項中「全文」ヲ「要旨」ニ改メ第二項ヲ削ル

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審判事ノ差止メタル豫審廷

審問ノ内容又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス

第四十三條中「乃至」ヲ削ル

〔松田源治君登壇〕

○松田源治君 本案ハ各派聯合ノ提出デアリマシテ、殆ド全院ノ賛成シテ居ル案ナンデアリマス、現行法ハ明治四十二年ノ制定ニ係リマシテ今日改正スルコトモ如何カトハ考ヘマスケレドモ、其現行法が施行サレマシテ、實際ノ狀態ヲ見マスルト云フト、實際ノ狀態ニ適切ナラザルノミナラズ、時ニ言論ノ尊重ト云フコトニ向ツテモ甚ダ面白カラザルトコロノ事實ガアルノテゴザイマスカラシテ、已ムヲ得ス本改正案ヲ提出シタル所以デゴザイマス、第一ハ現行新聞紙法ノ九條ノ第一號ヲ削ルト云フコトデゴザイマス、是ハ現行新聞紙法第九條ノ一號ニハ編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者ト云フモノヲ編輯人ト同一ナル責任ヲ規定シテアルノテゴザイマス、然ルニ既ニ刑法ニ於テ共犯ノ規定ノアル以上ハ、敢テ編輯人以外ノモノデ實際ノ編輯ヲ擔當シテ居ルモノヲ摘發シテ處罰スル必要ハナカラウト思フ、若モ實際編輯ヲ擔當シタルモノニシテ編輯人ト共ニ共謀ノ事實ガアルナラバ、刑法ノ共犯ノ規定ヲ直ニ適用スルコトガ出來ルカラ、態ミ新聞紙法ニテ、第一ハ現行新聞紙法ノ九條ノ第一號ヲ削ルト云フコトデゴザイマス、是ハ正誤文トカ辯駁トカ云フモノ、申込ガアツタ時分ニ於テハ總テノ全文ヲ載セナケレバナラスト云フコトニナシテ居リマスケレドモ、今日ノ新聞ノ實際ニ依リマスレバ是マテ要旨ヲ記載シテ居ルノデアリマス、而シテ新聞ハ種々ノ報道ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、全文ヲ記載セシムルコトモ勢ヒ出來ナイ場合ヲ生ズルノデアリマスカラシテ、是ハ要旨ノミ記載スレバ、其事項ヲ明カニスルコトが出來ルノデアリマスカラ、是ハ「全文」ヲ「要旨」ト改メシテ、第二項ヲ削ルコトハ是ハ或ハ人ノ名譽ヲ毀損シタヤウナコトハ、或ハ新聞紙ニ事實正誤ヲスル時分ニ同一ナル號ノ活字ヲ用井ナケレバナラスト云フコトデゴザイマスガ、是亦餘リ必要ノナイ規定ト思ヒマスルカラシテ、如何ナル號ノ活字ヲ用井テモ差支ハナカ

ラウト思フノデゴザイマス、ソレカラ第十九條デアリマスルが、現行ノ第十九條ニ於キシテハ檢事が新聞ノ記事ヲ差止メルコトが出來ルノデゴザイマス、是ハ立憲治下ニ於テ餘程重大ナコトニアラウト思ヒマス、諸君モ御承知ノ通リ憲法ノ二十九條ニ於テ法律ノ範圍内ニ於テ日本ノ臣民ハ言論ト著作ノ自由ヲ有シテ居ルノテゴザイマス、成程法律ノ範圍デアリマスルケレドモ、成ベク言論ヲ尊重スルト云フコトハ、立憲治下ニ於テモ必要ナリト本員ハ考ヘルノテゴザイマス、然ルニ獨立ノ司法官ニアラザル、行政官タル檢事が、新聞ノ言論ニ干渉ヲ致シテ、其記事ヲ差止メルト云フコトハ、是レ憲法言論

尊重ノ精神ニモ適バナイコト、本員ハ考ヘルノデゴザイマスル、而シテ又現行法ノ第十九條ニハ斯ウ云フコトガ書イテアルノテス、豫審ノ内容ト云フコトハ頗ル曖昧ナ字アル、狄義ニ解釋スレバ此豫審廷デ審問ノ内容、斯ウ前ニ於テ豫審ノ内容、此豫審ノ内容ト云フコトハ頗ル曖昧ナ字アル、狄義ニ解释スレバ廣義ニモ解釋スルコトが出來ル、狄義ニ解释スレバ此豫審廷デ審問ノ内容、斯ウシテ字ノ如ク、豫審ノ内容ニアラウト思ヒマス、併シ廣義ニ解释スル人ハ讀ンテ字ノ如ク、豫審ノ内容ニアラウト思ヒマス、併シ廣義ニ解释スル人ハ官モアルノデアリマス、之ニ付テハ現行法制定ノ場合ニ此豫審ノ内容ト云フコトが問題ニナリマシテ、第二十五議會ノ速記ノ五百四十七頁ニアリマスルガ、元田肇君ガ斯ウ云フコトヲ政府ニ質問致シテ居ル

此改正案ノ第十九條ヲ見マスルト、豫審ノ内容ニ關スル云々ト書イテアリマス、所ガ此豫審ノ内容ニ關スルト云フコトヲ廣義ニ解釋シマスレバ、一度豫審ニ附セラレタ人ノコトハ、總テ書ケヌト云フコトニナシテ、新聞社ハ全ク筆ヲ執ルコトハ出來ヌト云フコトニナリマス、併シ法律ハ此ノ如ク極端ニ走ルモノデハナイト信シマスカラ、亂暴ノ解釋ハ執ラヌト考ヘマスガ、念ノタメニ尋ねテ置キマス、現ニ豫審ニナシテ居ツテ豫審廷デ取調中ノ内容ニ關スルト云フ意味ニ於テ、政府モヤハリ原案ヲ賛成サレテ居ルノデアリマスカラ、其點ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

政府委員法學博士平沼駿一郎君 唯今元田サンカラノ御質問ハ結局唯合御述ベニナリマシタ通リノ意味ニ解セラル、コト、考ヘマス、即チ豫審ノ取調ノ内容ト云フコトニ相成ラウト思ヒマス

斯ウ答ヘテ居リマス、此時分ニモ豫審ノ内容ト云フコトハ豫審廷デ審問ノ内容ト政府モ解釋致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今日ノ多數ノ豫審判事ハ之ヲ豫審ノ内容ト云フモノハ豫審事件ノ總テヲ含ムト云フヤウナコトヲ解説シテ居ルコトモアリマスカラ、是亦解釋ヲ一定スル必要ガアリマスルカラ「豫審ノ内容」ト云フコトヲ改メタノデアリマス、ソレカラ第十九條ヲ改メタノデアリマス、是ハ即チ四十三條ノ「乃至」ヲ削リ三條ノ「乃至」ト云フ文字ヲ削シテアルノデアリマス、是ハ正誤文トカ辯駁トカ云フコトモスルト云フ、四十一條が入ラナイヤウニナル——新聞紙法ノ四十一條——四十一條ハ何カト申シマスレバ、安寧秩序ヲ紊シ、又風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタル場合、此場合ハ内務大臣が發賣及頒布ヲ禁止シマシテ、必要ナル場合ニテハ之ヲ差押ヘルコトが出來ル、又内務大臣ハ同一ノ趣旨ノ事項ヲ掲載ヲ差止メルコトモ出來ルノデアリマスカラシテ、是足レリアルト思ヒマス、即チ安寧秩序ヲ紊シ、風俗壞亂ヲシタル場合ニ發行禁止ヲナスト云フコトハ頗ル酷デアラウト思ヒマス、即チ憲法ノ言論尊重ノ趣意ニモ相適ハナイコトデアラウト思ヒマスカラシテ、安寧秩序ヲ紊シ、風俗壞亂ト云フヤウノ場合ニ於テハ六箇月以下ノ禁錮又ハ罰金ニ處スルコトが出來ル上ニ、今申シタルヤウニ新聞ヲ差押ヘルコトモ出來レバ、其風俗壞亂、安寧秩序ヲ害シタル記事ノ新聞ヲ發賣ヲ止メルコトモ出來ルノデアリマスカラシテ、是テ十分取締ガ付クト思フノデゴザイマス、而シテ發行禁止ヲ爲ス場合ハ、軍事、外交ニ關スル件、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、政體ヲ變改シ、朝憲ヲ紊亂スル、此場合ハ是ハ日本國ニ於キマシテハ新聞ノ發行ヲ禁止シテモ差支アリマセヌケレドモ、外交軍事、或ハ朝憲紊亂トカ、政體ノ變改トカ、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆セザル場合ニ於テハ、安寧秩序及風俗ヲ壞亂シタル場合ニ於テハ、是ハ嚴重ナル制限ヲ附加シ、併セテ其新聞紙ヲ發賣頒布ヲ差止メレバ、ソレテ十分デアラウト思

ヒマスカラ、是亦言論尊重ノ意味ヲ以テ「乃至」ト云フコトヲ削ルが相當ナリト考ヘタノ  
デアリマス、是レ新聞紙法ノ改正ノ大要デゴザイマス、ドウカ諸君ノ賛成ヲ求メントスル次  
第ニアリマス

○恆松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス  
○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニアリマシタ——日程第五、登記ニ關スル法律案、高木益太郎君

第五 登記ニ關スル法律案(關和知君外一名提出) 第一讀會

登記ニ關スル法律案

第一條 司法大臣ハ登記所ノ遠隔ナルカ若ハ交通不便ナルカ爲必要ト認ム  
ルトキハ不動產登記法ノ規定ニ依ル登記事務ノ取扱ヲ町村長ニ嘱託スル  
コトヲ得

第二條 司法大臣ハ土地ノ情況ニ依リ町村會ノ意見ヲ聽キ町村役場内ニ登  
記出張所ヲ設クルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ町村長ヲシテ登記官吏ノ事務ヲ取扱ハシム但シ其ノ  
經費ハ町村ノ負擔トス

○高木益太郎君 此席ニ於テ提案ノ説明ヲ御許シアランコトヲ御願シタイノデアリマ  
ス、登記所増設ノ件ニ付キマシテハ、目下司法省ニ對スル請願が二百余件以上ニモ及シテ  
居リマス、又本院ニ於テモ現ニ今日ノ議事日程ノ中ニ第三十九ヨリ第四十四マテハ、登  
記所増設ノ請願デアリマス、何分此寒村僻地ニ於キマシテ農民ヤ漁夫ガ其管轄ノ登  
記所ニ行キマスノニ土地ノ遠隔ナルガタメニ僅カノ事柄デ一泊ヲセネバ登記が出來ナイト  
カ、又ハ其間ニ山嶺、河川ノ介在スル等ノ交通上ノ不便ナル場合ニハ司法大臣ニ於テ  
登記事務ノ取扱ヲ其町村長ニ嘱託スルコトヲ得ルト云フ法律ヲ作り、以テ地方人民ノ  
利便ヲ計ルノ途ヲ開キタイト云フ趣旨ガ第一ニアリマス、又第二ニハ過日此點ニ付テ豫  
算委員會ニ於ケル平沼司法次官ノ御答辯ニ依ルト、固ヨリ司法省ニ於テモ關係人民  
ノ懇願ヲ容レテ、是非登記出張所ヲ増設シクト云フ考テアルケレドモ、何分財政ノ都  
合上、其運ビニ至ラヌノハ遺憾デアルト云フコトニアリマシタ、併ナガラ國ニ財源ノナイガタ  
メニ邊鄙ノ土地ノ人民ニ非常ナ不便ヲ感ゼシムルト云フコトハ、實ニ氣ノ毒デアリマス、  
ソレ故ニ司法大臣ハ土地ノ狀況ニ依テ町村會ノ意見ヲ聽キ町村役場内ニ登記出張所  
ヲ設クルコトヲ得此場合ニハ町村長ヲシテ登記官吏ノ事務ヲ取扱ハシム但シ其經費ハ  
町村ノ負擔トス」ト云フ規定ヲ設ケ、以テ此場合ニ於ケル登記事務ノ敏活ト其金融上ノ  
便利ヲ計ラシガタメニ此處ニ此本案ヲ提出致シマシタ、宜シク御贊成アランコトヲ願ヒマス  
○恆松隆慶君 本案ニ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成タキト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ニ付託スルコトニ決シマス——日程第六、災害地地租特別處分法案ノ第一讀會ヲ開キマス——國井庫君

第六 災害地地租特別處分法案(國井庫君外十名提) 第一讀會

災害地地租特別處分法案

災害地地租特別處分法案

第一條 災害又ハ天候不順ニ因リ府縣及北海道ノ全部又ハ一部ニ瓦リ收穫  
皆無ニ歸シタル田畠ノ地租ハ其ノ年分ニ限り之ヲ免除ス  
第二條 本法ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ被害現狀ノ存スル間ニ  
於テ其ノ事實ヲ證明シ主務官廳ニ申出ツヘシ  
第三條 本法ニ依リ被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫ス  
第四條 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セ  
ス

附則

本法ノ規定ハ之ヲ明治四十四年分田畠地租ニ準用シ免租申出期間ハ本法施行  
ノ日ヨリ三十日以内トス

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ許可シタルモノニシテ未タ徵收  
セサル分ハ之ヲ免除ス  
本法ニ依リ地租ノ免除セラルヘキ土地ニ付テハ既ニ徵收シタル地租ハ之ヲ  
還付ス

明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ之ヲ廢止ス

○齊藤字一郎君 私が代シテ説明致シマス  
(齊藤字一郎君登壇)

○齊藤字一郎君 唯今議題ニ上ツテ居リマス災害地地租特別處分法案ノ提出ノ理  
由ヲ簡單ニ述ベマス、本案ハ農業ノ上ニ慰安ヲ與ヘ、且獎勵シテ行ク上ニ於キマシテ最  
モ必要ナル案デアリマス、若シ此ノ如キ法律ヲ設ケマシテ此農業ノ慰安ヲ與ヘマセヌケ  
レバ……

○議長(大岡育造君) 静肅ニ願ヒマス

○齊藤字一郎君 農業ノ進歩發達ハ誠ニ遅タシテ進マヌノアリマス、ソレガタメニ  
曩ニ三十四年法律第二十七號ヲ以テ此天災ノ一タルトコロノ水害ノ免除法が出て居  
リマス、又續イテ三十六年法律第三號ヲ以テ灾害ノ場合ニ於ケル地租ノ延納法が  
テ居ルノアリマス、併ナガラ全體ノ災害又ハ天候不順ニ依シテ起ルトコロノ農業ノ大打  
撃ニ對スル救濟法ハ完備シテ居ラヌノアリマシテ、政府ハ曩ニ此等ヲ統一センガタメニ  
第二十六議會ニ於キマシテ地租延納ノ法案ヲ議會ニ提出致シタノアリマス、然ルニ衆  
議院ハ此延納法案ヲ修正致シマシテ、此免除法案トシテ滿場一致ヲ以テ可決シテ、貴  
族院ニ送ッタノアリマス、貴族院ハ委員會ニ於テ可決シマシタガ、本會ニ於テ可決シタ  
云フ歴史ヲ持テ居ルノアリマシテ、其二十六議會ニ於テ衆議院が修正シタルトコロノ  
災害地地租特別免除法ト云フノハ、即チ今回提出シタ此法案ニアリマス、爾來此法案  
ノ成立ハ見テ居リマセヌノデ、隨テ昨年山形、秋田及東京府等ニ起リマシタコロノ天  
災、又ハ天候不良ノタメニ被シタコロノ大打撃ニ對シテ救濟スベキ途ハナイゾ、其請  
願ノ如キハ續々出テ居ルノアリマス、故ニ此二十六議會ニ於キマシテ衆議院が満  
場一致ヲ以テ可決シタコロノ案ニ附則ノ第一項ヲ加ヘマシテ、本法ノ規定ハ之ヲ明治  
四十四年分田畠地租ニ準用ス免租申出期限ハ本法施行ノ日ヨリ二十日以内トス  
ト云フ一項ヲ加テ、昨年度分ニモ此恩典ヲ與ヘタイト云フダケハ違シテ居リマスケレドモ、

其他ハ全部裏ニ衆議院ヲ通過シトコロノ案ト同シモノニアリマスカラ、ドウカ委員付託トセラレシテ、十分ニ審議ノ上、通過アランコトヲ希望致シマス、其他被害ノ面積ノ如キ全體ノ細カイコトハ委員會ニ於テ詳シ説明致シタイト考ヘマス  
○恵松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望ミマス  
○議長(大岡育造君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望ミマス

(政府委員管原通敬君登壇)

○政府委員(管原通敬君) 本案ニ對シマシテ政府ハ絶対ニ反対ニアリマスカラ、其理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、抑、田畠ノ收穫ヲ検査致シマシテ、其検査ノ検見ニ依シテ地租ヲ課スルト云フ所謂從前ノ檢見法ヲ廢シマシテ、毎年定額ノ地租ヲ徵收致スルト云フコトハ即チ地租改正ノ根本的精神性アリマス、年ノ豐凶ヲ平均致シマシテ、地價ヲ定メ、其地價ニ依シテ地租ヲ賦課スルト云フ現行法ノ下ニ於キシテハ、偶々年ノ凶作ガアリマシテモ、ソレニ依シテ地租ヲ輕減シ、又ハ免除スベカラルト云フコトハ現行法制度其モノノ當然ノ結果アカルノアリマス、改租以來凶作ノ場合ニ於ケル救濟方法ト致シマシテハ、或ハ延納ノ方法ガ行ハレタコトモアルノアリマス、又ハ免除ノ方法ガ行ハレタコトモアルノアリマスガ、能ク施行ノ跡ニ就テ考ヘテ見マスノニ、此免稅ノ方法ト云フモノハ非常ニ弊害ノ多イモノアリ、延納ノ方法ガ相當ナルモノデアルト云フコトヲ示シテ居ルノアリマス、延納ノ方法ニ依リマスト延納ナルモノハ、唯義務ヲ後年ニ延バスト云フコトニ過ギナイノテ、延納ノ方法ガ行ハレタコトモアルノアリマス、殊ニ本案ニ依リマスト、殊ニ本案ニ於テ農事ヲ勵ムト云フコトニアルノアリマス、然ルニ免稅ノ方法ニ依リマスト、納稅ノ義務ヲバ全然免除スルト云フコトニアルモノデアリマスカ、若シ斯様ニナリマスト、既ニ納期が終ルモノ多カラニコトヲ冀フノアリマス、其結果ト致シマシテ種々ナル弊害ヲ生ズルニ至シテ、或ハ官民ノ紛争ヲ惹起シ、或ハ爲ニ意外ニ國家ノ損失ヲ來スト云フコトニナルノアリマス、殊ニ本案ニ依リマスト、四十一年度分ノ田畠ニモ準用スルト云フコトニナッテ居リマスガ、若シ斯様ニナリマスト、既ニ納稅ノ地租中、畠ノ地租ノ如キハ既ニ納期が終ルモノ多カラニコトヲ冀フノアリマス、其メモノハ延納ノ許可ヲ得、延納ヲ出願シナイモノハ凡テ納稅ヲ終ツテ居ルノアリマス、ソレカラ田租ノ如キニ致シマシテモ、ヤハリ同様ニ延納ノ許可ヲ受ケベキモノハ許可ヲ受ケテ、各處分ヲ終ツテ居ルノアリマス、地租ノ如キモ第一期、一期ハ既ニ納付ヲ終ツテ居ルノアリマスカラ、若シ今日ニ於テ之ヲ實行スルト云フコトニナリマスト、既ニ納稅ノ濟用畠ノ地租中、畠ノ地租ノ如キハ既ニ納期が終ルモノ多カラニコトヲ冀フノアリマス、此等ノ理由ヲ以チシテ反対致シマス

○議長(大岡育造君) 恵松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ本案を議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第七、刑事訴訟法中改正法律案(阿部德三郎君)

第七 名提出 刑事訴訟法中改正法律案(阿部德三郎君外二 第一讀會

刑事訴訟法中改正法律案

第一百三十六條第一項中「第百一十五條」ノ下「及ヒ」ヲ削リ「第百一十八條」ノ

下ニ「及ヒ第百三十二條」ヲ加フ

○阿部德三郎君 提出ノ理由ヲ本席カラ述ベルコトノ御許ヲ得タイ、案ノ内容ヲ簡單ニ申上ケマスト、現行ノ刑事訴訟法ニ於キマシテハ、區裁判所ニ於テ刑事案件ノ鑑定ヲ必要トスル場合ニ其裁判所ノ所在地ニ鑑定人ノアリマス場合ハ何モ差支アリマセヌガ、其所在地ニ鑑定人ノ無い場合、之ヲ他ノ裁判所ニ嘱託シテ鑑定人ヲ調ベヤウト致シマシテモ、現行ノ刑事訴訟法ニ於テハ其途ガ開カレテナインアリマス、故ニ非常ナル不便利ヲ得ア居ルノアリマスケレドモ、鑑定ノ事項ニ付テハ、唯今申上ゲルヤウニ其途ガ開イテ無イタメニ、之ガタメニ或ハ遠方カラ鑑定人ヲ喚出サヌケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマシテ、非常ナル費用ト、ソレガタメニ裁判事件ノ進行ニ非常ナル遲滞ヲ見テ居ルノアリマス、ドウカ其不便ヲ此場合此法律ヲ改正シテ、國家ノタメニモ經費ヲ省キ、被告人ノタメニモ便宜ヲ與ヘテヤリタイ、斯ウ云フノガ本案提出ノ理由ニアリマスカラ、御賛成ヲ願ヒタインアリマス

○恵松隆慶君 本案ハ極ク簡便ナ案アリ、即決モ宜シイノアリマスガ、併ナガラ刑事訴訟法律案アリマス、議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望ミマス

○議長(大岡育造君) 恵松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ  
○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ許可スルコトニナリマシテ、此場合ニ一言申決シマシテ、日程第八酒造税法中改正法律案ハ、委員長ヨリ本回一回延期ヲ申出テ、次回ノ日程ニ編入サレントコトヲ希望ムトノコトアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 「贊成」ト呼フ者アリ  
○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ許可スルコトニナリマシテ、此場合ニ一言申決シテ置キマスガ、マダ議案モ大分アリマス、追々議事モアリマスガ、今日ハ追々二會期モ切迫シマスルカラシテ、直ニ委員ノ指名ヲ此席ニ於テ行ヒマスカラ、今日散會後ニ委員長理事等ノ指名ヲ行ハレントコトヲ希望致シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 日程第九及第十八去ル九日ノ會議ニ於テ一括シテ議題ト爲シテ置キマスガ、マダ議案モ大分アリマス、追々議事モアリマスガ、今日ハ追々二會期モ切迫シマスルカラシテ、直ニ委員ノ指名ヲ此席ニ於テ行ヒマスカラ、既ニ納稅ノ濟用畠ノ地租中、畠ノ地租ノ如キハ既ニ納期が終ルモノ多カラニコトヲ冀フノアリマス、此等ノ理由ヲ以チシテ反対致シマス

○議長(大岡育造君) 第九 七尾灣築港ニ關スル建議案(戸水寬人君外五名提出) 會議ノ議員長ノ報告モ了ツテ居ルト云フコトニ茲ニ御注意申シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 第十 直江津開港ノ建議案(水品平右衛門君外四名提出) 會議ノ議員長ノ報告モ了ツテ居ルト云フコトニ茲ニ御注意申シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 此九、十八一括シテ委員長ノ報告通り確定アランコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ、鈴木君反対ノ通告ガアラタヤウデスガ……  
○鈴木力君 (鈴木力君登壇)  
○鈴木力君 アリマシタガ、何トカ議長カラ御指名ガアルコト、思シテ居リマシタ  
○議長(大岡育造君) マダ宣告ヲアリマセヌカラ……  
○鈴木力君 ソレデハ簡単ニ……

○鈴木力君 (鈴木力君登壇)  
○鈴木力君 既ニ通過同然ノトコロヘ出マシテ甚ダ——併シ多分ハ簡單ナコトデゴザイマセウ、幕外ノ引込ト云フモノハ餘り長イモノデゴザイマセヌカラ、サウニフ常識ニ於テ

豫メ御心配ノナイヤウニ願ヒマス、併シ私が此本案ニ特ニ反対致シマスル趣意ニ至リ  
シテハ篤ト御聽取ヲ願ヒタ、凡ソ本案ノ如キ種類ノ案ハ幾多出テ居リマシテ、敢テ此  
案ニ限リテ特ニ委員長ノ報告ニ反対スルト云フノモ異ナモノデゴザイマスガ、私ハ特ニ本案  
ニ反対致シタ、凡ソ建議案ナルモノ、性質ハ、今日ノ如キ場合ニ於テ斯ル案ハ成ベク  
出サヌ方ガ宜イノデアル、出スコトガ寧ロ蛇足デアルガ故ニ、所謂一隅ヲ擧ゲテ二隅ヲ知  
ラシムル趣意ニ於テ、本案ノ如キ案ハ將來ノ見セシメノタメヲ否決致シタ、ト云フ趣意  
デゴザイマス（「ソンナコトヲ云フナラ、ドンヽ出ス」ト呼フ者アリ）喧嘩ヲ致ス趣意デハア  
リマセス、何故カト云ヒマスルト建議案ノ本來性質ヨリ私ハ論ズルノデス、成程衆議院ハ政  
府ニ對シテ建議ヲ爲スコトヲ得ルト云フ、權利ハゴザイマスケレドモ、大凡建議案提出ノ權  
利ヲ衆議院ニ與フル所以ノ趣意ヲ誓ヘマスルト云フト、頗ル適切ナル必要ニ迫ラレテ出  
ス案デナケレバ、其案自身が位ガナクナルデス、惡案ハ善案ヲ驅逐スルコト議場ノ「グレシ  
ヤムロー」ト云フモノガ茲ニ生ジテ來ルデス、其必要ノ程度問題デス、必要ノ程度が極メ  
テ薄イト云フ證據ガゴザイマス、政府委員ハ先日港灣ニ關スル調査委員會ニ於テ答辯  
シテ曰ク、政府ハ七百四十一港トヤラノ調査ヲ詳シクシテ居ル、其中ニ主要港トモ自ス  
ベキモノ、即チ國家經營乃至ハ、國家ノ補助ヲ以テ經營スペキモノト目スベキ港灣八十  
四港アリマス、其中ニ此七尾灣築港ハ入シテ居ラスト云フ、確カナ説明ガアリマシク、之が  
時ト場合ノ問題デス、政府ハ既ニ行政整理ト云フコトニ付テ、殆ド總テノコトヲ次ノ議會  
マテ譲シテ居ル、行政整理ト云フ點ニ於テ、我ミハ強テ政府ニ突込ミモゼス居ル位デス、然  
ルニ其政府黨タル諸君ノ中ノ人、人ニモリケリ知名ノ士ガ前キニ立ツテ、世ニ所謂御土  
産案ノ先達ラナスト云フコトハ好マシクナイデス（拍手起ル）私ハ衆議院ノ速記録ヲ拜見  
致シマス毎ニ、衆議院ナドト云フモノハ人爵ナドハ餘リ尊バナイニモ拘ラズ、博士ト云ヘ  
特ニ「法學博士戸水寛人君」「何々君」ト速記録ニマテ詰ウテアル程、是レ即チ博士トモ  
云ハレル人ハ多少ヒラ普通ノ議員ヨリハ多少貴目ガアルトカ、識者ノ官許ヲ出テルト云  
フ意味ニモ解セラレルノデアリマス、斯ル御身分柄ニ對シテモ願クハ此法案ノ神聖ト云ヒ  
マスカ、價值三顧ミテ、建議案デス、法律案ノ例ヲ石ヒマスト、例ヘ少年禁酒法案ノ  
如キ、貴族院二回シテカラ、本院ヲ折角通過シテモ、貴族院ニ回シテ貴族院ノ老人連ノ曰  
ク、斯ル法律ヲ行フトキニ於テハ却テ少年ノ法ヲ輕ンズルノ弊ヲ生ジテハナラヌカラ否決シ  
ヤウト、否決サレテシマッタ、是等ハ或る意味ニ於テハ衆議院ノ不面目デゴザイマス、サウ云  
フ眼前ノ實例ヨアルコトアリマスルシ、殊ニ衆議院議員ナルモノ、定義如何ト云コト  
ガ、諸君ニ後學ノ一端ニモ相成ラバ結構アリマス、私ハ衆議院議員ナルモノヲ單ニ人  
民ノ代表者トバカリハ思シテ居ラヌ、衆議院議員ハ一面ニ於テハ治者列ノ大參加者タル  
ト同時ニ、被治者列ノ代表者デアル、人民ノ代表者デアシテ、而シテ政治ノ一部分ニ參  
加シテ居ルモノデアル、兩面合セタ資格ヲ持タナケレバ、衆議院議員ノ眞ノ資格ト云ヘ  
ナイト心得テ居ルテス、故ニ例ヘハ七尾灣築港モ宜カラウ、是ハ併シ地方ノ利害ヲ代表  
シテ茲ニ提出スルノデアルカラ、地方ノ代表者トシテハ一面ノ御用ニハ立ツテゴザルノデア  
ル、併ナガラ時ノ緩急ヲ顧ミナケレバナラス、今日國家ハ政費多端ニシテ、行政整理ヲ非  
常ニ必要ニ感シテ居ル、何分當面必要ノコトモ行フコトが出來ヌニ依シテ次ノ議會マテ行  
政整理ノ成ルコトヲ待テ云フ大藏大臣ノ初メノ懇タタル御話デアル、斯ル政府ヲ戴キ  
而シテ之ヲ信頼スルトコロノ諸君ガ財源ノ如何ヲ顧ミズシテ、財源ヲ要スル案ヲ  
以テ要求スルノハ矛盾ノ舉動デアル、故ニ諸君が唯人民ノ代表者トシテ是モヤシテ吳レ、ア  
レモヤシテ吳レト云フ註文ヲ持出スダケラ責任トスルナラバ、諸君ハ建議案ヲ出サズニ人民

- 議長（大岡育造君） 採決ヲ致シマス、本案即チ第九及第十二就テ賛成ノ諸君ノ  
 起立ヲ求メマス
- 議長（大岡育造君） 多數、日程第十一乃至第十八ハ同一委員ニ付託セル議案  
 ナルニ依リ、一括シテ議題ト爲スニ御異議ガアリマセスカ  
 ○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ以上一括シテ議ニ付シマス、委員長小池靖  
 一君
- |   |  |   |
|---|--|---|
| 第十一<br>三名提出）<br>鐵道建設ニ關スル建議案（齋藤一郎君外<br>（委員長報告） | 第十二<br>外二名提出）<br>鐵道速成ニ關スル建議案（大久保弁太郎<br>（委員長報告） | 第十三<br>五名提出）<br>鐵道急設ニ關スル建議案（町田旦龍君外<br>（委員長報告） |
| 第十四<br>二名提出）<br>鐵道建設ニ關スル建議案（伊東祐賢君外<br>（委員長報告） | 第十五<br>五名提出）<br>鐵道速成ニ關スル建議案（江原節君外三<br>（委員長報告）  | 第十六<br>一名提出）<br>鐵道建設ニ關スル建議案（根本正君外八<br>（委員長報告） |

第十八 飛驒鐵道建設ニ關スル建議案(古井由之) (委員長報告)  
 小池靖一君登壇)

○小池靖一君 委員會ノ報告ヲ申上ゲマスが、是ハ既ニ十一カラ十八マテノハ報告ヲ致シテ置キマシタ通り、ソレカラ又其提出ノ理由及政府委員ノ説明等ハ速記録ニ詳シク載セテ置キマシタ、諸君ノ御手許(同)テ居リマス皆デゴザイマス、御熟覽ニナツコト、考ヘマス(恵松隆慶君能ク見テ居リマス)ト呼フ)是ハ皆大抵二年モ出テ居ル建議案デゴザイマス、大抵皆同ジモノニアリマス、ドウゾ報告通りニ御可決ヲ願ヒタ、マダ一ツ残シテ居リマスルガ、是ハ委員會ヲ開ク暇がナ、近日委員會ヲ開イテ、是モ御報告スル、是ハ北海道拓殖ニ關スル建議案、是ハ追ツケ又御報告ヲ申上ゲマス

○恵松隆慶君 唯今小池君カラ八ツ程速ニ報告が出來マシテゴザイマス、是ハ一括シテヤハリ報告通りニ決定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恵松君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレハ恵松君ノ動議ノ通り一括可決致シマシタコトヲ報告致シマス、日程第十九、國稅徵收法中改正ニ關スル建議案、委員長渡邊修君

第十九 國稅徵收法中改正ニ關スル建議案(根岸) (委員長報告)

○渡邊修君 簡單デスカラ、此席カラ報告ヲ致シマス

○議長(大岡育造君) 大聲ニ願ヒマス

○渡邊修君 本案ハ國稅徵收法中第五條ヲ改正シタイト云フ案ニアリマス、御承知ノ通り所得稅營業稅其他ノ一二ノ國稅ニ付キマシテハ徵收手數料ト致シマシテ市町村

ニ、百分ノ四ノ手數料ヲ交付サレテ居ルノデアリマス、然ルニ最モ手數ノ掛リマスル地租ニ至リマシテハ昨年マテハ一文モ手數料ノ交付ハナカツタノデアリマス、昨年此地租ノ徵

收手數料ノコトニ付キマシテ本議會ノ問題ト相成リマシテ本年ヨリ即チ千分ノ七地租

ノ手數料ヲ交付サレルコトニナツタノデアリマス、併シ同じ國稅ニアリナガラ一百分ノ四、一八千分ノ七ト云フコトハ餘り懸隔ガアリ、不公平ナルガタニ、地租モ營業稅、所得

稅同様ニ、百分ノ四マテ交付サレタリト云フ本案ノ意味ニアリマス、此案ニ付キマシテ數回委員會ヲ開キマシテ、當局大臣及政府委員等ニ種々質問應答ヲ致シ、且本案ニ對

ス、ソレハ本案ニヤハリ關聯シテ居ルト云フ故ヲ以テ、委員會ニ於テ一ノ問題が出タノアリマス、之ニ對シテ政府ノ答辯ガゴザイマシタ、是ハ諸君ニ大ニ御参考ニナルコト、思ヒマスカラ一言附加テ置キマス、御承知ノ通り國庫出納上ニ於テ一錢未滿ノ端數ハ五厘ト計算スルコトニナツテ居リマス、所ガ地租ノミハ五厘ト云フ計算ガアルタメニ、市町村ニ於テ非常ナ手數が掛ル、御承知ノ通り今日ハ五厘錢ト云フモノハ甚ダ乏シイ、故ニ役場ニ於テ釣錢ガナイ故ニ、燐寸ヲ備ヘテ置クトカ、或ハ紙ヲ備ヘテ置イテ、其五厘ノ釣ヲ出スト云フトキニ燐寸一箱、紙何枚ト云フヤウナコトデ、市町村ニヤハリ居リマスノデ、大變手數が掛ルカラ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ考デアルカト云フ問が出来タノデアリマス、ソレニ對シテハ政府モ同感アル、段々近來ノ狀況ヲ見ルト地租ニ五厘ノ勘定ニアルタメニ非常ニ市町村役場ニ於テ手數が掛ルコトヲ認メテ居ルカラ、政府ハ之ヲ改正スル考デアル、併ナガラ今日制度調査局モ置カレテアルカラ、其制度調査局ノ是モ一ノ材料トシテ來年ハ適當ナ處置ヲ執ル積リデアルト云フコトノ政府ノ御答ニアリマシタ、故ニ御参考ノタメニ是モ附加ヘテ置キマス

○恵松隆慶君 委員長ノ報告通り決定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恵松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ一括シテ議題ニ供シマス、委員長報

告通り決定致シマシタ、日程第二十及二十一ハ同一委員ニ付託サレタルモノニアリマスカラ、一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ一括シテ議題ニ供シマス、委員長井上敏夫君

第二十 小名濱輕便鐵道敷設ニ關スル建議案(星) (委員長報告)

第二十一 小名濱港改良ニ關スル建議案(星一君) (委員長報告)

○星一君 井上委員長ニ代テ私カラ御報告ヲ申シマス、日程第二十ノ案ハ福島縣下湯本ヨリ分歧シテ同縣下小名濱ニ達スル五哩十七鎮ノ間ニ輕便鐵道ヲ敷設シテ貢ヒタイト云フ案ニアリマシテ、委員會ニ於テ審議ノ結果、右鐵道ハ地方局部線トシテ鐵道網ニモ編入シテアルノデ、小名濱附近ノ海產物及其附近ノ諸貨物ヲ考慮シテ岩越平郡ノ兩線ヲシテ完全ナル横斷線タラシム必要及一般交通上ニモ有用ナルモノト認メテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、尙日程二十一ノ小名濱港ハ太平洋岸銚子鹽龍トノ中間ニ位スル港ニシテ、一般公港トシテ東北ニ於テ重要ナルモノアツテ、近來ハ漁港トシテ重要地ヲ占メテ居ルカラ同港ヲ改良スルニ於テハ其海ト陸トノ運輸上利益アルモノト認メマシテ、政府ニ於テモ本建議ノ趣意ニ基イテ速ニ調査ヲ爲シ、相當ノ改良ヲ此港ニ施ス必要アリト認メテ、委員會ハ満場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマスカラ、恵松君ノ動議ノ如ク委員長

意向モ漏ラサレタノアリマスカ、委員會ニ於テハソレデハイカヌ、今マテノ分ヲ下ゲルノヲ止メテ、地租ヲ上セテ營業稅、所得稅ト同様ニシタイト云フ意味ヲ以テ、委員會ハ全會

一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ又茲ニ附加ヘテ一ツ報告ヲシテ置キタイコトガアリマス、租ノ方ヲ上ゲズシテ、所得稅、營業稅ノ方ヲ減シテ、近寄ラセルカモ知レヌト云フヤウナ意向モ漏ラサレタノアリマスカ、委員會ニ於テハソレデハイカヌ、今マテノ分ヲ下ゲルノヲ止メテ、地租ヲ上セテ營業稅、所得稅ト同様ニシタイト云フ意味ヲ以テ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ又茲ニ附加ヘテ一ツ報告ヲシテ置キタイコトガアリマス

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマスカラ、恵松君ノ動議ノ如ク委員長

報告通り可決致シマシタ、日程第一二十一、千葉縣立園藝専門學校ニ關スル建議案ヲ  
議題ト致シマス委員長吉植庄一郎君

第二十一 千葉縣立園藝専門學校ニ關スル建議案 (委員長報告)

○吉植庄一郎君 此席カラ御報告致シマス、一回委員會ヲ開いて政府ノ意見を聽キマシタが、政府モ大體ニ於テ異議ハナイト云フ答辯アリマス、此案ハ昨年モ當議會ヲ通過シテ居リマスノデ、委員會ハナラ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○恆松隆慶君 是モ唯今委員長報告通り決定セラレントヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恒松君動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ委員長ノ報告通り可決致シマシタ、日程第一二十二、酒造稅法改正ニ關スル建議案、委員長河上英君

第二十三 酒造稅法改正ニ關スル建議案(黄金井) (委員長報告)

○河上英君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、是ハ殊更ニ私が登壇シナクテモ宜シ

ノデアリマスガ、頗る重大問題デアリマシテ、今天下ノ耳目ヲ殆ド動かシテ居ルト云フク

ラボノ問題アル、ソレデ私が此處ニ登ツタノデアル、サウシテ是ハ委員會ヲ二回開キマシ

テ、最初質問ヲ致シ、一度目ニ愈々終了シタノデアリマスガ、第一此建議案ハ納期ヲ

改正シテ貰ヒタイ、御案内ノ如ク唯今デハ七月、十月ト翌年ノ一月、三月ト四期ニ此

酒造稅ヲ納メルノデアリマスガ、此一月、三月ハ連續シマスノデ、其當時ハ酒造ノ最モ

盛ナルトキアルカラ種々ノ方面ニ資金ヲ要スルノデ、ソレガ續クト甚ダ困ル、ソレデ二月

ノ納期ヲ五月ニ延バシテ貰ヒタイト云フノガ、此建議デアリマス、又實際ノ狀況カラ申ス

ト、今日ハ總テノ状態が向上シテ居リマスマタメニ酒ヲ造リマシテ其酒ヲ飲ム者モ新酒ヲ

好ム時代ハ既ニ去ッテ、今日ハ古酒ノ方が餘程賣方モ増シテ來タノデアリマス、又人ノ

嗜好モサウ云フ風ニ向ッテ居リマスノデ、其一月、二月ニ製造シタ酒ハ其實方が先キニ

ナリマスカラ金ヲ出スニモ甚ダ困ル、ドウカノ五月ニ延べテ貰ヒタイト云フノデ、續々建

議者カラ其事ヲ御述ベニナックノデアリマス、所が政府ハ之ニ向ッテ同意スルコトガ出來ヌ  
ト云フ、其理由ハ之ヲ五月ニ延ベルト一千萬圓バカリノ金ガ要ルノデアリマス、其一千  
萬圓ノ金ヲ出ス途ガナイ、ソレニ對シテヨロシク剩餘金ヲ以テ一時補ヲシテハドウデアラ  
ウト云フヤウナ熟談的ノ質問モアツタノデアリマスガ、政府ハ剩餘金ハアルカモ知レナイケ  
レドモ、確乎タル引當ニナルトコロノ財源ト見ルコトハ出來ヌ、斯ウ云フノデアリマス、然  
ラバ大藏證券モ融通シテ、サウシテ其途ヲ立ツテ貰ヒタイト云フ懇談シタノデアリマス  
ガ、是モ亦大藏證券ナルモハ其年度内ニ於キマシテ都合上補填ヲスルタメニハ、斯ウ  
云フ已ムヲ得ナイコトガ出來ルノデアルケレドモ、翌年度ニ越シマシテモ大藏證券ヲ利用ス  
ルコトハ出來ナイ事實アル、是ニ到底反對フルノデアル、種々應答モアリマシタガ、要  
スルニサウ云フノデアリマス、ソレデニシテ、然ラバ吾ノノ方デハ今日ノトコロ何分  
此納稅ヲ致シマスルニモ非常ニ差支ヘルノデアルカラ延ベテ貰ヒタイ、サウ云フ状態デ  
アルナラバ免ニ角政府ハ今日ハ制度整理局ヲ置イテ種々ナル方面デイロシナ調べラシ  
テ居ルノデアリマスカラ、此案モドウカサウ云フ状態アルニ依テ、政府ハ思切タル整  
理ヲセラル、デアリマセウカラ、其際ニ此案ノ希望ヲ達セシメヤウナ方法ヲ一ツ講シテ貰  
ヒタイト云フ趣意ニ於キマシテ、全會一致ヲ以チマシテ此案ハ可決シタノデアリマス、此

段經過ヲ報告致シマス  
○恒松隆慶君 本案ハ政府ハ困ルト申シマスガ、當業者ハ多年希望シタ問題デアリマス、建議案ノコトデアリマスカラ此場合委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス  
○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○武藤金吉君 請願委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本日マテ請願ヲ受理シタル總數

ハ六百三十二件デアリマス、其内テ採擇ノ上法律案ヲ具シテ議長ノ手許ニ報告ヲ致シマ

シタモノガ一件デアリマス、採擇スベキモノトシテ意見ヲ付シテ議長ニ報告ヲ致シタモノガ

百六十一件デアリマス、参考ノタメ政府ニ送付スベキモノト決シタモノガ九十一件デアリ

マス、参考ノタメ委員會ニ送付スベキモノト決シタモノガ七件デアリマス、院議ニ付スルヲ

要セズト決シタルモノガ十一件デアリマス、當時議案又ハ請願決議ノ結果、議決ヲ要セズト  
決シタルモノガ十一件デアリマス、未了件數ハ三百四十四件デアリマス、本日院議ニ附

シタモノガ在外國淫賣婦取締法制定ノ件外四十一件デアリマス、其中デ殊ニ請願委員會ニ於テ重々見ア居リマシタ請願ハ、此日程二十八ノ網走開港ノ件、是ハ白石義

郎君ノ紹介デ審議ヲ盡シマシタ結果、相當ト認メマシタ、又三十二ノ阿武隈川ノ河川

法第一期川ニ編入ノ件、是ハ齊藤二郎君外ノ紹介デアリマシテ、如何ニモ此河川ノ改修ヲ第一期川ニ編入スルト云フコトハ相當ト認メマシタ、審議ノ結果、採擇ヲ致シマ

シタ、尚三十七ノ信濃阿賀野兩川治水ノ件ハ山際敬雄君ノ御紹介デアリマシテ、審議ヲ盡シマシタ、相當ト認メテ照會ヲシマシタ、其他ハ悉ク分科委員會ニ於テハ採擇ト

決シタ次第デアリマス

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌケレバ、委員長報告通り決シマシタ

(参照)

第二十四 特別報告第百七號

第一百七十八號

在外國賣淫婦取締法制定ノ請願 東京市麹町區上二番町三十二番地平

在外國賣淫婦取締法制定ノ請願 東京市麹町區上二番町三十二番地平

右請願ノ要旨ハ今ヤ我カ國婦女ニシテ海外諸國ニ在リテ最嫌焉スヘキ賣淫ノ汚行

ヲ敢テ爲ス者愈々延シシアリト聞ク帝國ノ體面ヲ汚辱スル之ヨリ甚シキハナシ而シテ

此等婦女中ニハ適誘拐者ノ奸策ニ弄セラレ餘儀ナクセラレタル者アリト云フニ至リテ

ハ彼等ノ境遇實ニ愍然タルモノアリ是レ畢竟現今ノ取締法宜キヲ得サルニ基因スル

モノ多シ依テ速ニ適當ノ法律ヲ制定シ嚴重ナル取締アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ  
其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スベキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及御送付候也

## 第二十五 特別特告第百八號

第二百六十六號

民屬金下付ノ請願 大分縣豐後國直入郡久住村大字久住字久住町六十

五番地士族皆田仲喜外二名呈出(紹介議員三浦覺一君)

右請願ノ要旨ハ大分縣豐後國直入郡久住村大字久住字久住町ノ民有金十一萬七千五百六十八圓十一錢八厘ハ明治八年三月白川縣權令安岡貞亮氏が不法ニ大藏省ニ送納シタルモノナルカ度々下戻ノ請願ヲ爲スモ未タ何分ノ詮議ナシ依テ速ニ右金額ノ下戻アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

## 第二十六 特別報告第百九號

第二百五十六號

稅務署設置復舊ノ請願 秋田縣雄勝郡湯澤町字新丁十一番地士族町長

舟田達之助外二千六名呈出(紹介議員柳田清兵衛君)

右請願ノ要旨ハ湯澤稅務署ハ明治四十二年以來横手稅務署ニ併合セラレタルカ元來湯澤稅務署管内ニハ釀造家多ク其ノ造石高ノ如キハ秋田監督署管内ノ造石高ノ四分ノ一ヲ占ムル有様ニ在リ從テ其ノ事務ハ繁忙ヲ極メ當該官吏ノ湯澤町ニ出張滞在スルコト數日ニ及フモ尙且當業者ニ満足ヲ與フルコト難シ又直稅事務ノ如キモ從來取扱件數多大ナルヲ以テ當該官吏ノ出張屢ナルモ到底人民ノ不便ヲ免レス然リ而シテ如上官吏ノ出張旅費ヲ計算セハ稅務署設置當時ノ費用ニ比シテ大差ナカルヘシ果シテ然ラハ湯澤稅務署ノ廢止ハ經費節減上ノ目的ニ副ハサルノミナラス却テ人民ノ便益ヲ減殺スルモノト謂フニ依テ湯澤稅務署ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

## 第二十七 特別報告第百十號

第二百九十二號

酒造稅法及大藏省訓令改正ノ請願 宮崎縣宮崎郡清武村大字加納二百

三十六番戸平民酒造業岩切宗政呈出(紹介議員水間此農夫君)

右請願ノ要旨ハ現行法ニ據ルトキハ味淋原料トシテ精酒粕ヲ使用スルコト能ハス又酒粕ヲ燒酎製造原料トシテ他ノ原料ト併用シ得ル規定ナキヲ以テ不便少カラス依テ酒造稅法及大藏省訓令改正シ(一)味淋製造原料トシテ精酒粕粕ヲモ使用シ得ル規定ヲ設ケ(二)酒粕ヲ米製燒酎製造原料トシテ他ノ原料ト併用シ得ル規定ヲ設ケ(三)燒酎造石稅賦課度數標準ヲ改正セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

## 第二十八 特別報告第百十一號

第三百六十二號

網走開港ノ請願 北見國網走町大字北見町南通四丁目七番地平民牧畜

右請願ノ要旨ハ北見國網走港ハ「オコツク」海面シ北見沿岸中最樞要ノ位置ニ在

リ人煙稀薄ナリト雖其ノ勢力範圍ニ屬スル水陸物產極メテ饒多ナリ就中林產ニ至リテハ無盡ト稱セラレ丸太、角材、枕木、燐寸軸木及特產タル薄荷等年額約百二十

## 第二十九 特別報告第百十二號

第二百四十四號 復族ノ請願 宮城縣遠田郡涌谷町四百番地平民農長谷新一郎外三十三

百十五名呈出(紹介議員曾原傳君)

右請願ノ要旨ハ襄ニ仙臺藩版籍奉還ト同時三藩士中醫師、職人及手作前地ヲ以テ籍奉還朝裁迄ヲ限り之カ假處分ヲ爲シタルモノノ如ク從來自活自營ノ便アルモノヲ除キ扶助米ヲ給與シ以テ版籍奉還朝裁迄ヲ限り之カ假處分ヲ爲シタルモノハニ慶藩置縣ノ際此ノ趣旨ヲ無視シ此ノ恩典ヲ受ケタルモノノミヲ士族トシ否ラサルモノハ之ヲ庶民ニ編入セラレタリ是レ明カニ錯誤處分ニシテ元來除族ノ事タル當時國法ノ制裁或ハ法律ノ命令アルニ非サレハ之ヲ褫奪シ得ヘカラサルコトハ定論ナリ且明治二年六月行政官達ニ則リ士族籍簿及士族祿高調帳ヲ編成セシ時ニハ請願人等ハ何レモ士族トシテ登録セラレ現ニ同名簿ハ宮城縣廳ニ保存セラレアリ依テ舊仙臺藩卒及同藩管領支配ノ士卒タリシ者並其ノ子孫ヲ士族ニ編入セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

## 第二十 特別報告第百十三號

第二百六十四號 巡查看守退隱料及遺族扶助料法改正ノ請願 石川縣能登國羽咋郡南大

海村字瀬戸町十番地平民盛戸清次呈出(紹介議員米田穰君)

右請願ノ要旨ハ巡查看守退隱料法第二條ニ據ルトキハ甲縣ニ於テ三年、乙縣ニ於テ十年更ニ甲縣ニ於テ十年巡査ヲ奉職シタルモノト甲縣ニ於テ三年、乙縣ニ於テ五年、再甲縣ニ於テ五年、更ニ乙縣ニ於テ十年奉職セシモノトノ間ニ退隱料ノ額ニ相違ヲ來ス場合アリ同一年間奉職シ乍ラ前者ハ一時金ヲ受クルコトナク退隱料少ク後者ハ退職ノ都度一時金ヲ受ケ加之多額ノ退隱料ヲ受クルカ如キ結果ト爲リ權衡ヲ失ス依テ第三條ヲ改メ乙縣ニ於テ受ケタル年金ハ既得權トシテ保留シ更ニ甲縣ニ於テ退隱料ヲ給シ以テ全然甲乙兩縣ニ區別シ尙其ノ效力ハ該法發布ノ時即チ明治二十四年七月ニ遡及セシマラル様巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ改正アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

## 第三十一 特別報告第百十四號

第二百九十一號 郡界變更ノ請願

忠治君外一名) 福井縣丹生郡國見村長長谷川眞呈出(紹介議員名村

右請願ノ要旨ハ福井縣丹生郡國見村ヘ郡ノ北端ニ位シ南へ嶮坂嶺ヲ隔テ越  
酒殿下西安居ノ二村ニ界シ東北ハ平坦ナル道路ニ依リ村落接續シテ坂井郡ニ連レ  
從テ本村ノ主要物產魚類ノ如キ渾テ坂井郡ヲ經テ福井市及ニ國町ヘ出シ年年  
食用ニ供スル米穀約二千石以上ハ總テ坂井郡ニ國町其ノ他ノ村落ヨリ輸入スル  
状態ニ在リテ坂井郡トノ來往日ニ盛ナリ斯ノ如キ状態ナルカ故昔時ヨリ國見村ハ坂  
井郡ニ屬セシカ明治四年丹生郡ニ編入セラレタルヨリ管轄官廳タル丹生郡役所、警  
察署、稅務署所在地等ヘハ遠ク峻嶺阪ヲ攀チ殊ニ冬時ノ如キハ積雪ヲ踏ムテ往  
來セサルヘカラナルカ如キ不便アリ依リ村民ノ宿望ヲ容レ國見村一圓ヲ坂井郡ニ編  
入セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト  
議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十二 特別報告第百十五號

第二百四十三號

阿武隈川ヲ河川法第一期川ニ編入ノ請願 宮城縣刈田郡白石町大字白  
石字南寺前二十九番地平民農鈴木惣四郎外千百二十九名呈出(紹介  
議員首藤陸三君外五名)

右請願ノ要旨ハ阿武隈川ヘ其ノ流域北上川ト伯仲シ延長約ト七八十里ナラムトス  
然ルニ北上川ハ第一期川ニ編入セラレタルニ拘ラズ阿武隈川ハ第二期川ニ指定セ  
ラレタリ政府ハ彼ニ厚ク此ニ薄キノ憾ナ能ハス且昨年ノ大洪水ニ決済シタル箇所ハ  
一時ノ復舊工事ヲ施シタルニ過キサルカ故ニ何時出水ノ不幸ヲ招クヤモ測ルヘカラサ  
ル状況ニ在リ既往七八年凶荒頻次キ住民甚シク困難ヲ極メ或ハ他郷ニ趨クモノア  
リ真ニ憫ムニ堪ヘタリ依テ阿武隈川ヲ第一期川ニ編入セラレタシト謂フニ在リテ衆議  
院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五  
條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十三 特別報告第百十六號

第二百五十號

本坂崎開墾ノ請願 静岡縣引佐郡西濱名村長縣勇外六十一名呈出(紹  
介議員伊藤要藏君外一名)

右請願ノ要旨ハ靜岡縣濱松市ニ於テ東海道ヲ分岐シ愛知縣豐橋市ニ至リ本線ニ  
復スル姫街道ハ本線タル東海道カ中途今切ノ海路アルヨリ却テ此ノ道路カ交通上  
ノ本線一看做サルカ本道路ノ中途靜岡愛知兩縣界ニハ本坂崎ノ險険アリテ車輛  
ノ通過困難ヲ極メ交通上不便尠カラス軍事上亦看過スヘカラサルコトト思惟ス依テ  
之ヲ開墾ノ爲明治四十五年度ニ於テ適當ノ補助ヲ下付セラレタシト謂フニ在リテ衆  
議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十  
五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十四 特別報告第百十七號

第二百六十九號

官有堀敷民有復舊ノ請願 福岡縣三瀬郡城島町大字城島二百四十二番  
地ノ一平民間荒巻貞次郎外三千五百二名呈出(紹介議員熊本壽人君)  
右請願ノ要旨ハ福岡縣三瀬郡城島町ニ在ル堀敷ヘ本地所有者ノ附屬堀敷トシテ  
使用收益處分ノ權利ヲ有シ同時ニ納稅土房ノ義務ヲ負擔セシカ地租改正ノ際堀  
ノ產物ハ依然取得ヲ妨ゲストノ縣官ノ説議ニ服シ官有トセシ以來堀ニ關スル習慣ハ

次第ニ消滅シ侵害ノ事實續々起り官有堀產物負請又ハ區割漁業等ノ方法ニ據り  
テ權利ノ保護ニ力ムト雖到底完全ニ目的ヲ達スルコト能ハス思フニ昔時通水ノ便ヲ  
碍ケシテ產物ノ増殖ヲ計リ公益私利之ヲ完ブセシ美風ハ一朝所有名義ノ變化ニ  
依リ破壊セラレタルモノニシテ再民有ト爲スハ良策ナリト信ス依テ民有ニ復舊セラレ  
タシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セ  
リ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十五 特別報告第百十八號

矢作川河身改修工事國庫支辨ノ請願 愛知縣碧海郡矢作町長勝田常二  
郎外十三名呈出(紹介議員福岡精一君)

右請願ノ要旨ハ矢作川ヘ三河國ニ一大河中最大ナルモノニシテ東加茂外四郡ノ地ヲ  
流レ灌漑ノ利、運輸ノ便他川ノ比ニ非ス然ルニ毎年秋霖ノ候ニハ洪水汎濫シ五郡  
住民ノ損害莫大ニシテ慘状ヲ極ム其ノ都度局部ノ彌縫工事ヲ施スモ一地方ノ經濟  
到底完全ナル施設ヲ許サルカ故ニ常ニ慘禍ヲ免レス五郡ノ住民爲ニ寢食ヲ安ムセ  
サルノ状態ニ在リ依テ國庫支辨ヲ以テ矢作川河身改修工事ヲ施行セラレタシト謂フ  
ニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院  
法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十六 特別報告第百十九號

第三百十四號

安倍川改修工事ノ請願 静岡縣靜岡市長長島弘裕外二十一名呈出(紹  
介議員大橋頼摸君)

右請願ノ要旨ハ安倍川ハ水源ノ山岳ニ六百餘箇所ノ崩壊地アリ強雨洪水毎ニ土  
砂ヲ押出シ河床ヲ昂ムコト數尺餘ニ上リ勾配愈急峻水勢益激甚ト爲ルニ幕府  
當時ノ築造三繫ル舊式ノ堤塘大部ヲ占メ保護修繕ニ力ヲ悉スト雖將來根本的完全  
ナル改修堤ヲ築造スルニ非スムヘ到底安ハスルコト能ハサルナリ昨年ノ洪水ニモ決済  
又ハ破損ノ箇所所歟カラス日夜水防ニ努力シ辛シテ危害ヲ免ルルヲ得タリト雖住民皆  
憂慮措ク所ヲ知ラサル有様ニ在リ依テ國費ヲ以テ改修工事ヲ施行セラレタシト謂フ  
ニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院  
法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十七 特別報告第百二十號

第三百五十三號

信濃阿賀野兩川治水ノ請願 新潟市旭町通一番町九十六番地平民新潟  
縣治水會幹事吉田良治郎外三十八名呈出(紹介議員山際敬雄君外二  
名)

右請願ノ要旨ハ災害連年相次キ地方民ノ窮憊實ニ名狀スヘカラサルモノアルヲ以テ  
(一)信濃川改修即チ大河津分水及新潟河口修築工事ノ繼續年限ヲ適度ニ短縮  
スルコト(二)信濃川ノ上流古志郡、三島郡、南蒲原郡一部ノ堤防ヲ改修シ其ノ流  
域ニ係ル邊海川黒川、猿橋川、刈谷田川、五十嵐川、加茂川等ヲ修築スルコト  
(三)阿賀野川改修事業ヲ急施シ其ノ流域ニ係ル小阿賀野川、早出川、能代川等  
ヲ修築スルコト(四)信濃川ノ發源地タル長野縣ニ完全ナル砂防工事ヲ施シ併セテ  
將來森林ノ濫伐開墾等ニ付テ適應ノ方案ヲ企畫シ以テ水源ヲ涵養セラレタシト謂

フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第三十八 特別報告第百二十一號

第二百五十五號

湯澤區裁判所ニ判檢事常置ノ請願 秋田縣雄勝郡湯澤町字新丁十一番  
 地士族町長舟田達之助外二十九名呈出（紹介議員柳田清兵衛君）  
 右請願ノ要旨ハ湯澤區裁判所ハ民刑事事取扱件數多ク秋田地方裁判所管内ニ於テ一三位ニ在リ然ルニ他ノ取扱件數少キ區裁判所ニ於テサヘ常任判檢事ヲ置カルルニ拘ラス右區裁判所ニハ明治四十一年以來兼任判事ヲ存スルノミニテ檢事ノ如キハ絕對ニ定員ヲ削除セラレタル爲管轄區内ノ人民ハ非常ノ不利益ヲ被リツツアリ依テ速ニ常任判檢事ヲ赴任セシメラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

右請願ノ要旨ハ德島縣板野郡撫養町ハ縣下第二ノ般賑地ニシテ戸數四千人口二萬餘將ニ市タラムトル勢アリ且板野郡ハ十郡中第一位ニ居リ人口十二萬九千ニ餘レリ然ルニ德島市トノ間ニ三大川アリ年數次洪水ノ爲交通ヲ杜絶スルコトアリ殊ニ邊陬ノ村落ニ在リテハ十餘里ヲ隔テ交通ノ機關不備ニシテ舟車ノ便アルノミ故ニ明治二十三年區裁判所ヲ撫養町ニ置カレシカ明治三十五年ニ至リ其ノ裁判事務ヲ停止シ之ヲ德島區裁判所ニ移セリ是レ全ヶ財政上一時ノ事ニ屬スト思惟セシニ十箇年ノ歲月ヲ閱スルモ未タ復舊セラレス其ノ間ニ於テ撫養町ノ發達ハ著シキモノアリ人口ハ激増シ會社ノ數ハ二十餘ニ上リ其ノ他產業組合ノ增加等ニ依リ民事商事ノ關係前日三倍スルニ至リ依テ撫養區裁判所ノ裁判事務ヲ復舊セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十九 特別報告第百二十二號

第二百八十一號

區裁判所出張所設置ノ請願 長野縣北安曇郡神城村長太田文五郎呈出  
 （紹介議員翠川鐵三君）  
 右請願ノ要旨ハ長野縣北安曇郡神城村ハ北城村ト共ニ四ヶ城ト總稱セラレ土地概ネ平坦ニシテ警察分署銀行會社アリ米麻蘭等ヲ產シ商業盛ナリ然ルニ兩村ハ大町區裁判所千國出張所ノ登記管轄ニ屬シ其ノ距離五里餘ニ涉リ交通不便ニシテ普通往復ニ二日ヲ要シ降雨雪ノ期ニ在リテハ交通極メテ危險ナリ從テ住民ノ不便謂フヘカラサルモノアリ而シテ千國出張所ノ事件中神城北城兩村ノ登記件數ハ三分ノ二ヲ占メ神城村第一位ヲ占ム依テ神城村中樞要ノ部落ニシテ北城村ノ境ニ近キ飯森區ニ出張所ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十 特別報告第百二十三號

第二百九十五號

登記所設置ノ請願 兵庫縣揖保郡新宮村長田峰喜美外三名呈出（紹介議員肥塚龍君外一名）  
 右請願ノ要旨ハ兵庫縣揖保郡ハ龍野區裁判所ノ管轄ニ屬シ其ノ登記所ハ龍野町及郡内南部ニ位セル斑鳩、網干ノ二箇所ニ設置シアルモ新宮村外四箇村ハ郡ノ北端ニ在リ繞ラスニ山岳ヲ以テ斯特ニ栗柄村ノ如キハ龍野町ヲ去ル五里餘ノ距離ニ在リ道路嶮惡ニシテ往復ニハ一泊ヲ要ス加之龍野區裁判所ノ登記管轄廣キニ過クル爲事務多忙ニシテ單純ナル一二件ニ數日ヲ費スカ如キ場合アリ不便實ニ妙少ナラス依テ揖保郡新宮村ニ登記所ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十一 特別報告第百二十二號

第三百一十八號

區裁判所出張所設置ノ請願 鹿兒島縣大島郡燒内村長豐島謙良呈出  
 （紹介議員武満義雄君）  
 右請願ノ要旨ハ鹿兒島縣大島郡燒内村ハ戸數二千餘人口一萬三千餘ヲ有シ大島本島ノ西端ニ位セル僻地ニシテ登記事務ハ古仁屋出張所ノ管轄ニ屬スルカ所在地トノ距離近キモニ二里餘遠キハ十里餘ノ山河ヲ隔テ往復ニ數日ノ日子ト費用トヲ要シ不便甚シ今ヤ時世ノ進歩ニ伴ヒ登記事務益々增加ス依テ本村ニ區裁判所出張所ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十二 特別報告第百二十五號

第三百一十七號

區裁判所出張所設置ノ請願 山町長市來圭一外三十八名呈出（紹介議員井上角五郎君外二名）  
 右請願ノ要旨ハ福山町ハ廣島縣下ノ樞要地ニシテ山陽鐵道開通以來長足ノ進歩ヲ爲シ今ヤ人口二萬ニ垂ムトシ行政ノ施設、實業ノ機關整備シ歩兵第四十一聯隊ヲ設置セラレ將來ノ發展大ニ期待スヘキモノアリ然ルニ區裁判所ノ設置アレトモ地方裁判所支部ノ設ケナキヲ以テ重要事件ハ尾道支部ニ於テ取扱ハル而シテ福山區裁判所ト尾道區裁判所トノ區域戸數人口等ヲ比較スルニ福山ノ方遙ニ優レリ支部ノ事件數亦然リ尙比婆郡東城町竝附近村落ハ地理上、交通上ヨリ見テ福山區裁判所ノ所管ニ屬スヘキモノナリ依テ福山町ニ地方裁判所支部ヲ設置シ併セテ管轄域ヲ前記町村ニ擴張セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十三 特別報告第百二十六號

第三百一十八號

區裁判所管轄區域擴張並地方裁判所支部設置ノ請願 廣島縣深安郡福山町長市來圭一外三十八名呈出（紹介議員井上角五郎君外二名）  
 右請願ノ要旨ハ福山町ハ廣島縣下ノ樞要地ニシテ山陽鐵道開通以來長足ノ進歩ヲ爲シ今ヤ人口二萬ニ垂ムトシ行政ノ施設、實業ノ機關整備シ歩兵第四十一聯隊ヲ設置セラレ將來ノ發展大ニ期待スヘキモノアリ然ルニ區裁判所ノ設置アレトモ地方裁判所支部ノ設ケナキヲ以テ重要事件ハ尾道支部ニ於テ取扱ハル而シテ福山區裁判所ト尾道區裁判所トノ區域戸數人口等ヲ比較スルニ福山ノ方遙ニ優レリ支部ノ事件數亦然リ尙比婆郡東城町竝附近村落ハ地理上、交通上ヨリ見テ福山區裁判所ノ所管ニ屬スヘキモノナリ依テ福山町ニ地方裁判所支部ヲ設置シ併セテ管轄域ヲ前記町村ニ擴張セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十四 特別報告第百二十七號

第三百六十一號

登記所設置ノ請願 大分縣大野郡犬飼町助役有松万八外二名呈出（紹介議員三浦覺一君）  
 右請願ノ要旨ハ大分縣大野郡長谷村ハ竹田區裁判所田中出張所ノ登記管轄ニ

第四十一 特別報告第百二十四號

第二百九十六號

區裁判所裁判事務復舊ノ請願 德島縣板野郡撫養町大字南濱村四十二

屬シ井田 柴原兩村ハ三重出張所ノ管轄ニ屬シ犬飼町ハ大分區裁判所中戸次

出張所ノ管轄ニ属スルカ何レモ所在地ニ遠ク殊ニ三重及中戸次出張所ノ如キハ大

野川ヲ隔テ交通常ニ杜絶シ不便妙カラス然ルニ犬飼町ト以上各町村トノ間ハ遠キ

モ二里餘ニシテ交通頗良好ナルヲ以テ地方民ノ利便甚大ナリ依テ大分縣大野郡犬飼町ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

#### 第四十五 特別報告第百二十八號

##### 第三百四十六號

右請願ノ要旨ハ政府ハ我カ畜産業ニ對シテハ種畜牧場ヲ増設シ種牛所ヲ創メ以テ畜産品研究所設置ノ請願 東京市京橋區新富町一丁目二番地平民畜產業木村專太郎外七名呈出(紹介議員黃金井爲造君外一名)見ス爲ニ今尙供給ヲ輸入ニ仰クモノ多シ斯ノ如キハ時運ノ要求ニ應セサルモノナルヲ以テ政府ニ於テ畜産品研究ノ爲適當ノ機關ヲ設ケ各種ノ乳製品及罐詰等ノ製造練習ノ法ヲ授ケ技術者ノ養成ニ努メラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第四十六 特別報告第百二十九號

##### 第二百四十九號

右請願ノ要旨ハ神奈川縣津久井郡串川村青山二千二百六十四番地郵便局設置ノ請願 神奈川縣津久井郡串川村青山二千二百六十四番地郵便局設置ノ請願 黑川太郎外三十四名呈出(紹介議員黃金井爲造君)右請願ノ要旨ハ神奈川縣津久井郡串川村ハ戸數七百餘人口四千四百餘ニシテ津久井郡中比較的交通便利ノ地ニ在リ商工業盛ニシテ糸織物市場株式會社、同盟貿易購買組合等アリ就中通稱關宮ノ前ハ商家軒ヲ並ヘ殆ト一小市街ヲ形成ス從テ本村發著郵便物ノ數ハ年十万戸ヲ過ス然ルニ郵便局ニ遠ク配達局タル中野局モ一里以上ノ距離ニ在リ諸般ノ通信其ノ機ヲ失シ不便妙カラス貯金ニ付テモ局ノ遠隔ナル爲不知不識等閑ニ付スルノ結果ヲ來セリ依テ串川村青山ヘ郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第四十七 特別報告第百三十號

##### 第二百五十三號

右請願ノ要旨ハ靜岡縣安倍郡不二見村駒越百五十番地平民農齋藤榮吉外十六名呈出(紹介議員大橋賴摸君)右請願ノ要旨ハ靜岡縣安倍郡不二見村地方ハ近時世運ノ發展ニ伴ヒ諸般業務ノ發達ヲ來シ海外渡航者ノ數モ本縣第一ニ居ル從テ郵便物ハ日ニ其ノ數ヲ增加スル有様ニ在リ然ルニ郵便局ニ遠ク最近ノ清水局ト今回設置セラルコトヲ希望ス域トス無集配局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第五十一 特別報告第百三十四號

##### 第二百五十九號

右請願ノ要旨ハ岡山縣御津郡福山村 大字加茂市場六百三十一番地郵便局設置ノ請願 岡山縣御津郡福山村 大字加茂市場六百三十一番地村東片山農夫男外五十六名呈出(紹介議員福井三郎君)右請願ノ要旨ハ岡山縣御津郡福山村ハ交通ノ要衝ニシテ戸數千餘、人口六千三百九十九餘ニ達シ米麥煙草薪炭材木ヲ產シ殊ニ大字加茂市場ハ戸數八十餘戸ヲ有シ有名ナル加茂總社アリ近來交通ノ便開ケ車馬ノ往來益頻繁ナリ加フルニ加茂

#### 第四十八 特別報告第百三十一號

##### 第二百五十四號

右請願ノ要旨ハ富山縣水見郡窪村外三箇村ハ藩政時代ニ於テ南條組ト稱シ本郡六組ノ一ニ居リ地勢生業全ノ同關係ヲ有スル一區域ナリ民業ハ米作ヲ第一シ養蠶業等之ニ次キ製塗ノ如キハ郡產ノ過半ヲ占メ郡輸出品中重要ナルモノナリ從テ縣外トノ取引日ヲ逐ノテ頻繁ヲ加フルニ拘ラズ郵便局ニ遠ク不便甚シ且藩制六區ノ中他ノ五區ニハ已ニ其ノ設備アリテ本地方獨リ備ハラサルハ頗權衡ヲ失ス依テ窪村、十二町村、宮田村、太田村ヲ一區域トシテ窪村ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第四十九 特別報告第百三十二號

##### 第二百五十七號

右請願ノ要旨ハ愛知縣中島郡明治村地方ハ近時戸數增加シ諸般ノ事業大ニ發展シ祖父江町大字森上ニハ尾西鐵道ノ停車場存スル爲貨物輻輳シ人馬ノ交通頻繁ナリ從テ信書ノ發受頗多シ然ルニ所轄郵便局タル稻澤局トハ一里有半ノ距離ニ在ルカ爲不便甚シ依テ明治村、祖父江町大字森上及平和村大字新開ノ一箇村二大字ヲ一區域トシ明治村大字片原一色ノ縣道郡道ノ交叉地ニ郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第五十 特別報告第百三十三號

##### 第二百五十八號

右請願ノ要旨ハ和歌山縣東牟婁郡高田村長玉置藤太郎呈出(紹介議員山口熊野君)右請願ノ要旨ハ和歌山縣東牟婁郡高田村ハ山間僻険ノ一部落ナルカ戸數三百戸千五百餘ニシテ土地頗廣ク種々ノ山產物事業行ハレ斯業ニ從事スル他町村ノ者常ニ數百人來往シ交通漸次頻繁ニシテ近時道路ノ開通ニ努メ益開發ニ赴クノ兆アリ然ルニ所轄局タル新宮郵便局ニ遠ク最遠キハ四里餘ニ達シ不便謂フヘカラス依テ速ニ郵便局ヲ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

##### 第五十一 特別報告第百三十四號

##### 第二百五十九號

市場ヲ通シテ集散スル產物夥多ナルヲ以テ取引業者ノ往來尠カラス然ルニ附近郵便局ニ至ル何レモ一里乃至三里ノ行程ニシテ不便甚シ依テ御津郡加茂村、福山村、長田村、吉備郡菅谷村、上房郡下竹莊村大字湯山ヲ集配區域トシテ加茂市場ニ郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第五十二 特別報告第百三十五號

#### 第二百六十一號

無集配郵便局設置ノ請願 奈良縣北葛城郡瀬南村長住友德藏外二百六十八名呈出(紹介議員森正君)

右請願ノ要旨ハ奈良縣北葛城郡瀬南村ハ交通ノ要衝ニ當リ戸數四百餘人口三千餘大和國平坦部ノ中心ニ位シ商取引甚活潑ニシテ旅館、病院、染物工場等ノ設アリ米穀、種物類、木綿、人造肥料等ノ產出額モ頗多額ニ達ス從テ住民ノ生活概シテ豐カニシテ銀行預金郵便貯金ノ如キ其ノ額甚多シ然ルニ郵便局ノ設置ナク南方三十丁ヲ距ル高田郵便局ニ依ラサルヘカラサルカ故不便甚シ依テ瀬南村ノ内安部、新田、磯城郡平野村ノ内大綱、佐味、満田、飯高等ノ爲ニ瀬南村大字南郷ニ無集配三等郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第五十三 特別報告第百三十六號

#### 第二百六十五號

郵便局設置ノ請願 群馬縣新田郡生品村大字村田村八十九番地平民農永田信太郎外四十九名呈出(紹介議員武藤金吉君)

右請願ノ要旨ハ群馬縣新田郡生品村ハ新田郡ノ中央ニ位シ戸數八百人口五千餘シテ大字村田新道ハ太田伊勢崎間古河街道ノ要衝ニ當リ殆ト其ノ中央ニ位セル小市街ニシテ年々人口繁殖シ交通愈頻繁ヲ加フ然ルニ管轄局タル本町郵便局ヲ距ルコト一里二十町ニシテ山林ヲ隔テ交通不便ナリ他ノ各局ハ更ニ遠距離ニ在リテ人民ノ不便名狀スヘカラサルモノアリ依テ村田新道ハ郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊

### 第五十四 特別報告第百三十七號

#### 第二百六十八號

板倉郵便局ニ電信架設ノ請願 群馬縣邑樂郡伊奈村大字内藏新田二十

八番地平民農山岸淳二郎外百十九名呈出(紹介議員武藤金吉君)右請願ノ要旨ハ群馬縣邑樂郡板倉ハ郡ノ東端ニ位シ館林古河間ニ有名ノ驛次ナルカ明治九年始メテ郵便取扱所ヲ設ケラレテ以來今日ニ至リシカ電信ノ取扱ヲ爲サルカ三里ノ道程ヲ館林ニ馳セ河川ヲ渡リテ古河藤岡ニ至リ用ヲ辨セサルヘカラサルノ不便アリ近キ將來ニ於テ利根渡良瀬ノ河川改修ト共ニ事業ノ發展、生產力ノ増進亦目曉ノ間ニ追リツツアル今日通信機關ノ設備ハ一層急ヲ要ヘルモノト思惟ス依

テ板倉郵便局ニ電信ヲ架設セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第五十五 特別報告第百三十八號

#### 第三百三號

匹見郵便局ニ電信架設ノ請願 島根縣美濃郡匹見上村平民農齋藤富作

右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡高城村ハ郡ノ西南部ニ位シ戸數四百人口千八百人ロ六千餘戸算シ區裁判所出張所、村役場等ノ官公衙アリ神社寺院多ク山林ニ富ミ伐木製材等ノ事業アリテ爲ニ商工業殷盛ナルカ故ニ電信ノ必要極メテ多キモ取扱局ニ遠キ爲關係村民就中商工業者ノ不便甚シ依テ匹見郵便局ニ電信ノ創設アリタシト云フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第五十六 特別報告第百三十九號

#### 第三百九號

郵便局設置ノ請願 島根縣那賀郡高城村長三浦佐市呈出(紹介議員河上英君)

右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡高城村ハ郡ノ西南部ニ位シ戸數四百人口千八百人ロ六千餘戸算シ區裁判所出張所、村役場等ノ官公衙アリ神社寺院多ク山林ニ富ミ伐木製材、薪炭業盛ナリ殊ニ大字柄木部落ハ交通自在ニシテ四方ノ咽喉ニ當リ昔ヨリ牛馬賣買市場ト定メラレ昨年周布川ノ上流ニ發電所ヲ設置セラルヤ製糸、製材、製米所近クニ設ケラレ旅客ノ往復愈頻繁ナルニ至レリ然ルニ本村ニハ通信機關ノ設備ナク杵東局ノ配達區内ニシテ往復ニハ半日ヲ費シ甚シキハ一日ヲ費スニ非サレハ用務ヲ辨スル能ハサルカ如キ有様ニシテ其ノ不便名狀スヘカラサル依テ本村大字柄木ニ郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

### 第五十七 特別報告第百四十號

#### 第二百五十七號

郵便局設置ノ請願 上整安太郎君

富山縣射水郡守山村長岡畠佐平次呈出(紹介議員

右請願ノ要旨ハ富山縣射水郡守山村ハ四百ノ戸數一千ノ人口ト有シ大字守山町ハ其ノ中央ニ位シ縣下唯一ノ仲買廻米商アリ物産ノ集散スル権要ノ地タリ然ルニ郵便局ノ設備ナク一里ヲ隔ツル高岡局ヲ經サレハ通信ヲ爲ス能ハサル狀態ニ在リ不便少カラス且本村ニ接スル西條村大字長慶寺村、一上村大字二上村、氷見郡宮田村大字小竹村及神代村大字堀田村ノ如キ孰レモ郵便局ニ遠キ爲不便ヲ感シツアリ依テ本村ニ郵便局ヲ設ケ本村近村民ニ便利ヲ與ヘラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メテ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第五十八 特別報告第百四十一號

第三百十六號 郵便局設置ノ請願 德島縣海部郡川東村長池内 德藏呈出（紹介議員板東勘五郎君）

右請願ノ要旨ハ德島縣海部郡川東村ハ戸數五百七十餘人口三千二百餘ニシテ郡内主要ノ位置ヲ占メ郷社八幡神社アリテ參詣人多數ナルノミナラス海岸ノ松原ハ自然ノ公園トシテ郡民多數ノ集合ハ總テ此ノ處ニ舉行セラル其ノ他病院、三組合小學校、劇場アリ然ニ通信機器タル郵便局ノ設備ナク山坂ヲ超エテ一里餘ノ淺川局ニ赴カサルヘカラサルカ故不便甚シ依テ本村ニ郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第五十九 特別報告第百四十二號

第三百五十六號 三等郵便局設置ノ請願 山口縣豐浦郡豐田中村大字浮石十七番屋敷平民農木村民治外二十五名呈出（紹介議員松隆慶君）

右請願ノ要旨ハ山口縣豐浦郡豐田中村ハ西市、殿居間沿道ノ村落ニシテ戸口廣袤郡内第三位ヲ占ム從テ通信ノ發受尠カラス然ニ其ノ機關ノ設ケナキ爲不便甚シ依テ本村ニ三等郵便局ヲ設置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十 特別報告第百四十三號

第三百五十七號 静岡縣賀茂郡南上村長高橋傳之助呈出（紹介議員大野久次君）

右請願ノ要旨ハ静岡縣賀茂郡南上村ハ近來生産ノ發達顯著ニシテ一箇年ノ產額生糞三千五百貫、木炭二十萬貫、鑛石六十萬貫ニ上り之カ生産ニ從事スル職工勞役者亦尠ガス通信ノ發受頻繁ナリ然ニ其ノ設備ナキ爲不便甚シ依テ本村ニ郵便局ヲ設ラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十一 特別報告第百四十四號

第三百六十五號 長崎縣北松浦郡前方村長近藤爲門呈出（紹介議員中倉万次郎君外一名）

右請願ノ要旨ハ長崎縣北松浦郡前方村ハ戸數四百餘人口三千二百餘ヲ有シ麥大豆ヲ始メ鯛鱈等豊富ナル漁獲アリ且有名ナル小植賀牛ノ原產地タリ又出稼人ヲ出スコト多ク清國臺灣等へ航行ノ船舶、艦艇ノ遭難スルモノ年中幾十隻ナルヤ知ルヘカラサルカ故不便甚シ依テ本村ニ三等郵便局ノ設置アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十二 特別報告第百四十五號

第三百六十六號 郵便局設置ノ請願 長崎縣北松浦郡調川村長北川辨太郎呈出（紹介議員中倉万次郎君外一名）

右請願ノ要旨ハ長崎縣北松浦郡調川村ハ郡ノ北端ニ位スル小部落ナルカ漁獲其ノ他ノ海產物ニ富ミ加之炭層豐富ニシテ現ニ八箇所ノ炭坑ヲ經營シ京阪地方及四國、中國、北國ノ各要港ニ販出シ時トシテハ南清北清地方ニ輸出シツツアリ之ニ伴フテ各坂引先トノ信書電報爲替等ノ往復頻繁ナルニ拘ラス管轄郵便局タル志佐局トノ距離一里餘ニシテ不便渺カラス依テ本村ノ権要地タル江口驛ニ郵便局ヲ設置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十三 特別報告第百四十六號

第二百六十一號 停車場設置ノ請願 埼玉縣北足立郡大砂土村長小島善作外四名呈出（紹介議員坂泰碩君）

右請願ノ要旨ハ埼玉縣北足立郡大砂土村地方ハ米穀甘諸等ノ特產地ナルカ停車場ニ遠ク大宮驛ニ至ルニハ見沼水田ヲ迂回セサルヘカラス蓮田驛ニ赴クニハ道路不備ニシテ車馬ヲ通スル能ハサル状態ニ在リ從テ停車場ノ設置ハ積年ノ希望ニ屬ス現ニ昨年洪水ノ際ニハ砂信號所ヲ假設停車場ニ充テタル例モアリヨニ信號所ノ設置アリテ之ヲ停車場ト爲サムハ一步ノ擴張ニ過キサルナリ尙大宮蓮田間ハ類例ナリ傍ノ諸町村亦設置ヲ希望シツツアリ依テ大宮蓮田ノ中間大砂土村大字砂ニ於ケル信號地附近ニ一停車場ヲ設置セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十四 特別報告第百四十八號

第二百九十九號 鐵道線路起工ノ請願 釧路國阿寒郡飽別村字シアンヌ番外士族農牧業前田政八外三百十三名呈出（紹介議員白石義郎君）

右請願ノ要旨ハ釧路國釧路港ヨリ起り北見國美幌村ニ至ル阿寒鐵道カ富源開發上、交通運輸上、國防上其ノ他釧路築港助成機關竝該港營養線トシテ且ハ阿寒湖畔ノ開發利用上必要缺クヘカラサルモノナルコトハ輿論ノ一致スル所ナリ依テ明治四十五年度ニ於テ起工セラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第六十五 特別報告第百四十九號

第二百十號 鐵道速成ノ請願 北海道北見國枝幸郡枝幸村百七十三番地平民漁業廣告季太郎外六名呈出（紹介議員淺羽靖君）

右請願ノ要旨ハ北海道ノ北部ナル枝幸宗谷兩郡ハ五萬餘町歩ノ農耕指定地ト

一萬七千餘町歩ノ農耕適地ト有シ地味氣溫佳良、將來大ニ農業ノ發達スヘキ

地ニシテ又數十里ニ瓦ル石炭礦區ヲ有シ蒼然タル密林數十里ヲ蔽フモノアリ牧場

適地トシテ指定セラレタルモノニ萬五千餘町歩、將來編入セラルヘキモノニ萬七千

餘町歩、現在起業シツアルモノニ萬七千餘町歩ニ達ス且沿岸四十三里ハ鯨鮀  
鱈等アラユル海外輸出品ニ富メリ然ルニ交通機關ノ絕無ナルカ爲著シキ發展ヲ爲  
スクト能ハサル有様ニ在リ政府モ已ニ之ヲ認メ北見線ノ敷設ハ最早議論ナキ處ナル  
カ特ニ北見沿岸一帶ハ冬期ニ箇月間航海杜絶シ糧食ニ缺乏ヲ來シ殆ト瀕死ニ屬  
スルコト屢ナリ依テ速ニ北見線ノ敷設アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至  
當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御  
送付候也

### 第六十六 特別報告第百五十號

#### 第三百二十一號

鐵道敷設ノ請願

秋田縣北秋田郡大館町東大館二百十六番地士族公吏  
中田直哉外千八百三十七名呈出(紹介議員荒谷桂吉君外二名)

右請願ノ要旨ハ秋田縣下大館ヨリ扇田、十二所、花輪、湯瀬ヲ經テ巖手縣下盛岡  
ニ至ル鐵道ハ政府調査ノ豫想線ニシテ僅々六十三哩工費約一千萬圓ヲ支出テス而シ  
テ小坂、尾去澤、不老倉鑛山ノ如キ皆本線路ノ經過スル處ニシテ其ノ他尙採掘セ  
ラルヘキ鑛山百餘ノ多キニ達シ帝國三大美林ノ一タル長木澤ノ國有林ノ如キモ該  
線路ニ近接シ富源ノ開發上並軍事上利益頗多シ且大館驛ハ貨物ノ取扱秋田  
ノ二倍半弘前ノ約二倍ニ居ル依テ速ニ本鐵道ノ敷設アリタシト謂フニ在リテ衆議院  
ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條  
ニ依リ別冊及御送付候也

○議長(大岡育造君)

此場合委員ヲ指名致シマス

(書記朗讀)

樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案

井上角五郎君 古賀庸藏君 柏原左源太君  
高橋直治君 關信之介君 澤來太郎君  
守屋此助君 小橋榮太郎君 大竹貫一君

新聞紙法中改正法律案

松田源治君 鶴澤總明君 川村曠君  
吉植庄一郎君 齋藤二郎君 松恆一郎君  
富田幸次郎君 山田珠一君 加治壽吉君

登記ニ關スル法律案

板倉中君 吉野正巳君 景山甚右衛門君  
有本國藏君 高濱與七君 加瀬和知君  
水野正巳君 阪本彌一郎君 加治壽吉君

災害地地租特別處分法案

河野郁太郎君 長野晴登君 稲村辰次郎君 才賀藤吉君  
高木正年君 笠川繼孝君 河上英君

刑事訴訟法中改正法律案

阿部徳三郎君

佐々木文一君  
川島龜夫君  
花井卓藏君

中村啓次郎君  
豊増龍次郎君  
高木益太郎君

安東敏之君

○議長(大岡育造君)  
(書記朗讀)

委員室指定

樺太ニ於ケル石炭ノ採掘ニ關スル法律案委員長及理事互選

第三委員室 新聞紙法中改正法律案委員長及理事互選

登記ニ關スル法律案委員長及理事互選

災害地地租特別處分法律案委員長及理事互選

○議長(大岡育造君)  
(書記朗讀)

刑事訴訟法中改正法律案委員長及理事互選

新報紙法中改正法律案委員長及理事互選

登記ニ關スル法律案委員長及理事互選

知致シマス

○議長(大岡育造君) 是ニテ本日ハ散會致シマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通

知致シマス

午後四時四十七分散會

衆議院議事速記録第十八號正誤

貢段行誤

正

二九一	下	一六	需要
二九四	三二	散會致シマス	重要
		散會致シマス	次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

第六委員室 第七委員室  
第五委員室 第四委員室  
第六委員室 第三委員室  
第七委員室 第二委員室